

# 釧路労災病院 2020年 年報

やちぼうず 第25号





## 目次

I. 事業報告	3	III. 委員会報告	55
(1) 巻頭言	5	(1) 委員会一覧	57
(2) 理念・方針・患者さんの権利、責務	6	(2) 委員会活動報告	
(3) 病院概要	7	・倫理委員会	58
(4) 医療機関の承認・指定状況	8	・地域医療支援病院運営委員会	59
(5) 医科・歯科点数表	9	・院内研修委員会	60
II. 診療科及び部門報告	13	・院内感染対策委員会	61
(1) 診療部門		・化学療法委員会	63
・内科	15	・臨床研修管理委員会	64
・精神科	18	・医師研修プログラム委員会	65
・神経内科	19	・薬事／臨床研究審査委員会	67
・循環器内科	20	・DPC／クリニカルパス委員会	72
・緩和ケア内科	21	・地域医療連携総合センター運営委員会	74
・外科	22	・HIV運営委員会	76
・整形外科	24	・診療医事業務／査定減対策委員会	77
・脳神経外科	27	・診療情報／個人情報管理委員会	79
・泌尿器科	29	・医療安全推進委員会	81
・眼科	31	・医療情報システム委員会	83
・耳鼻咽喉科	32	・機器等整備委員会	85
・放射線科	34	・救急診療運営委員会	87
・麻酔科	35	・緩和医療委員会	89
・歯科口腔外科	36	・臓器提供委員会	91
・健康診断部	38	・禁煙実行委員会	92
・病理診断科	39	・がん診療連携拠点病院運営委員会	93
・栄養管理部	40	・診療材料等検討委員会	94
(2) 中央診療部門		・血液浄化室安全管理委員会	95
・中央リハビリテーション部	41	・在宅医療運営委員会	96
・中央放射線部	43	・公舎管理委員会	97
・中央検査部	45	・栄養管理／NST委員会	98
(3) 診療支援部		・図書委員会	100
・臨床工学部	47	・脳死判定委員会	101
(4) 薬剤部	49	・省エネルギー推進委員会	102
(5) 看護部	51	・防災委員会	103
		・手術部運営委員会	104
		・輸血療法委員会	105
		・医療ガス安全管理委員会	106
		・褥瘡対策委員会	107
		・診療用放射線／放射線安全運営委員会	109
		・中央検査部管理運営委員会	110
		・保育委員会	112
		・健診業務体制整備委員会	113
		・広報編集委員会	114
		・病院誌「やちぼうず」編集委員会	116
		・衛生委員会	117

• 患者サービス向上委員会	119
• 病院機能評価委員会	121
• ドクターズクランク運営委員会	122
• 勤務医／看護職員等負担軽減対策委員会	123
• 医学系研究利益相反管理委員会	124
<b>IV. 医療統計</b>	127
患者数の推移（入院・外来）	129
診療科別入院患者数の推移	130
診療科別外来患者数（令和元年度）	131
診療科別入院単価の推移	132
診療科別外来単価の推移	132
紹介率・逆紹介率の推移	133
病床利用率の推移	133
平均在院日数の推移	134
時間外取扱患者数 総数と1日平均の推移	135
救急車受入件数（総数と1日平均）	136
手術件数の推移（手術室内）	136
全身麻酔件数の推移	137
化学療法件数の推移（入院・外来）	137
透析件数の推移（入院・外来）	138
内視鏡件数の推移（上部・下部）	138
放射線治療件数の推移	139
解剖件数の推移	139
2020年度後発医薬品指数	140
D P C 14桁 診断群分類上位頻度表(全科共通)	140
D P C M D C 6桁 診療科別上位頻度表	141
K c o d e 診療科別上位頻度表	144
<b>V. 講演会等活動実績報告</b>	147
学術講演会	149
学術研究会	150
<b>VI. 業績目録</b>	153
原著・論文	155
学会報告	157
編集後記	163

# I. 事業報告

(1) 巻頭言	5
(2) 理念・方針・患者さんの権利、責務	6
(3) 病院概要	7
(4) 医療機関の承認・指定状況	8
(5) 医科・歯科点数表	9





## 巻頭言



独立行政法人 労働者健康安全機構  
 釧路労災病院 院長

高橋 弘 昌

本誌をご覧の皆様、こんにちは。

2020年1月16日国内初の新型コロナウイルス感染症患者の発症以来、いわゆる「三つの密」防止が叫ばれ、Social distance、マスク着用、十分な換気、外出自粛、宴会自粛、自宅外での飲酒制限などが徹底されてきました。数度にわたる国の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の全国的な施行にも関わらず、解除後にはリバウンドを繰り返し、4波にわたる感染ピークが認められました。2021年7月1日現在まで累計感染者数801,742、死亡者14,807を数えており、東京オリンピック・パラリンピック開催直前の時点で第5波の感染リバウンドが危惧されています。

日本では、2021年2月14日にファイザー製のワクチンが承認され、2月17日より医療従事者への先行接種が開始されています。4月12日からは高齢者への優先接種が行われ、随時接種適応対象が広がられてきましたが、6月末現在、ワクチンの1回目の接種が終了した方が、22.2%、2回目終了した方が10.9%にすぎません。今後もワクチン接種が急速に広範囲に進められることが期待されますが、海外製ワクチンの供給量不足の問題もあり、国産ワクチンの製造認可が緊急の課題となっています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催については、昨年1年延期とされましたが、その再度の開催の可否についても多くの議論がなされました。医療従事者や世論調査では、反対論が過半数以上見られ、政府専門家会議でも開催の慎重論がありましたが、オリンピックは7月23日に、パラリンピックは8月24日に開催されることが決定されました。参加者はオリンピック選手11,000人、パラリンピック選手4,400人、大会関係者53,000人の計68,000人が予定されており、来日時防疫、感染予防処置などの多くの課題が指摘されています。

本稿を書いている現在（2021年7月1日）、Jリーグ、プロ野球、大相撲などでは、上限はありますが、観客が認められています。これまで観客の存在に伴った明らかなクラスター発生の報告はありませんが、これまでの繰り返す感染リバウンドの一因となっている可能性は否定しきれません。現在の新型コロナウイルスは、感染力の強い「デルタ株」が主流となっており、今後も変異を繰り返し、さらに感染力が増すことが予想されています。報道によれば今後の感染状況次第では、政府も無観客での開催を模索しているようです。

東京オリンピック・パラリンピックは、世界的行事であり、我々国民も楽しみにしています。私は、前回1964年の東京オリンピックを中学1年生時に経験していますが、学校、町、国全体が大変な興奮・躁状態であったことを今でも熱く思い出します。観客として現場で観戦するのが理想ですが、デジタル放送、4K/8KテレビなどAV機器の発達した現在、新型コロナ感染症にかからない/移さないことを第一義に考え、ご家庭で観戦されるが一番と考えますが、如何でしょうか。

当院は、がん診療連携拠点病院であり、消化器内科、血液内科、消化器外科、乳腺外科を中心にがんの専門病院としての機能を果たしています。釧路根室管内は31万人をこえる人口を有しており、また高齢者率の高い地域でもあります。2016年の人口動態統計では、釧路根室管内で3,000の方が死亡され、その死因の1/3が癌と報告されています。癌の治療は、治療中や終末期において良性疾患とは異なる専門スタッフによる治療、看護すなわち「緩和ケア」が必要とされますが、釧路根室管内にはこれまで専門施設がなく、その地域的なニーズは大きいと考えられます。

当院では、2019年8月1日から「緩和ケア内科外来」を開設し、「緩和ケア病棟」の設置の準備をしてきました。今後は、「人生の最終段階だけでなく、がんと診断された時から緩和ケアを行う必要がある」との課題を踏まえ、2022年4月を目途に「緩和ケア病棟」の運用を開始する予定です。

今後とも道東地区になくてはならない病院として最新の知識と技術に基づき、勤労者医療はもちろんのこと、全ての地域住民を視野に、透明性の高い、良質で信頼される医療を実施続ける所存ですので、引き続き皆様の一層のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

# 理念・方針・患者さんの権利、責務

## 理 念

- ・最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

## 基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

## 臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守して診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報保護を徹底します。

## 患者さんの権利

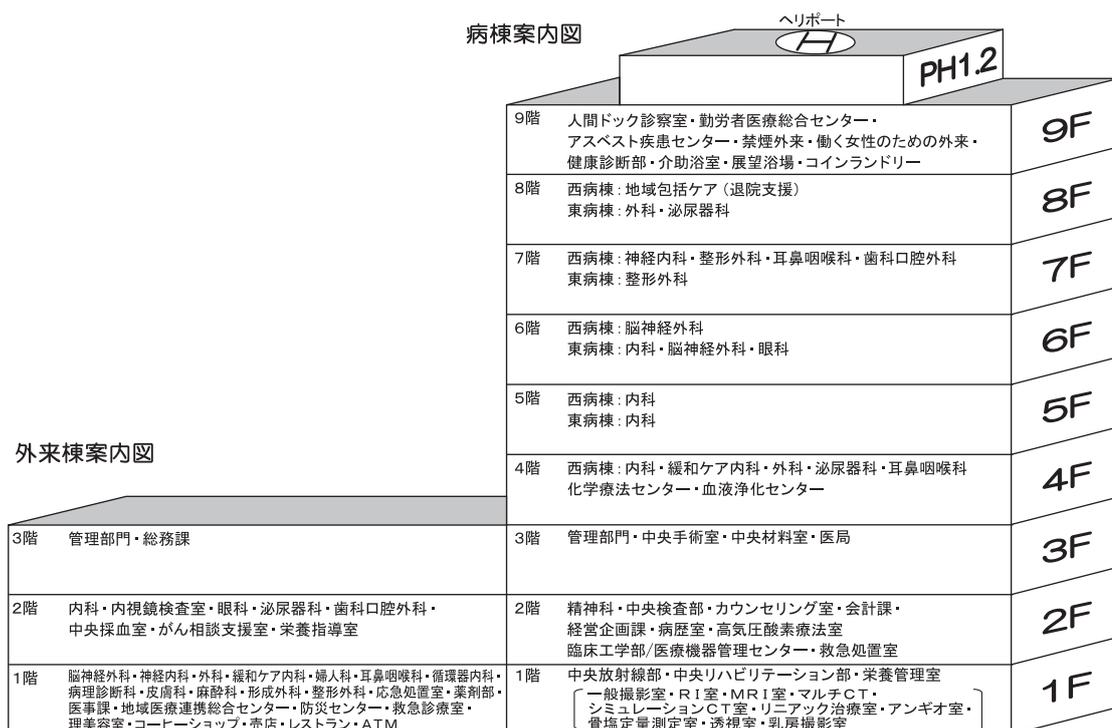
1. 患者さんは、人格を尊重した良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さんは、診療上の個人のプライバシーを守られる権利があります。
3. 患者さんは、自らの診療記録の開示を求め、情報を得る権利があります。
4. 患者さんは、自らの意思で医療に同意・選択・決定する権利があります。
5. 患者さんは、診断や治療などについて、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

## 患者さんの責務

1. 患者さんには、自身に関する正確な情報の提供をお願いします。
2. 院内の取り決めを守り、他の患者さんの療養生活や病院職員の医療提供に支障を与えないようお願いします。

## 病院概要 (2021年4月1日現在)

開設者	独立行政法人 労働者健康安全機構 理事長 有賀 徹
管理者	院長 高橋 弘昌
所在地	郵便番号 085-8533 住所 北海道釧路市中園町13-23 電話番号 0154-22-7191(代) FAX番号 0154-25-7308
開院	昭和35年1月22日
病床数	450床
手術室	10室
標榜診療科 (23診療科)	内科／消化器内科／緩和ケア内科／循環器内科／神経内科／外科／消化器外科／ 整形外科／形成外科／脳神経外科／精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／ 眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／病理診断科／麻酔科／歯科／歯科口腔外科
院内標榜科 専門センター等	腫瘍内科／血液内科／乳腺外科／心療内科 勤労者医療総合センター／アスベスト疾患センター／消化器病センター／ 勤労者リハビリテーションセンター／勤労者メンタルヘルスセンター／ 脊椎外科センター／化学療法センター／血液浄化センター／ 地域医療連携総合センター／医療機器管理センター
特殊外来	禁煙外来／ストーマケア外来／フットケア外来／睡眠時無呼吸外来／ 働く女性のための外来／セカンドオピニオン外来
主な特色	(1) 地域医療支援病院 (2) 地域がん診療連携拠点病院 (3) エイズ治療中核拠点病院 (4) 日本医療機能評価認定施設 (一般病院2 3rdG: Ver.1.1) (5) 治療就労両立支援モデル事業
その他の施設	釧路労災看護専門学校
敷地面積	39,684.55㎡
建物延面積	41,630.5㎡ 地上9階 屋上ヘリポート有



# 医療機関の承認・指定状況

## 1. 病院開設承認等

区分

独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院

承認年月日

昭和35年1月22日

## 2. 法令による医療機関の指定等

法令等の名称

保健医療機関

(健康保険法、国民健康保険法、労災保険法)

生活保護法指定医療機関

身体障害者福祉法指定医療機関

法令等の名称

母子保護法指定医療機関

結核予防法指定医療機関

原子爆弾被爆者に係る指定医療機関

## 3. 政策医療等の対応状況

区分

厚生労働省指定臨床研修病院（医科・歯科）

釧路圏二次救急医療機関

日本医療機能評価機構認定

地域がん診療連携拠点指定病院

区分

臓器提供施設

エイズ治療中核拠点指定病院

地域医療支援承認病院

メディネットたんちょうネットワーク加盟施設

## 4. 学会認定施設等の対応状況

区分

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

日本消化器病学会認定施設

日本血液学会血液研修施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設

日本肝臓学会関連施設

日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設

日本神経学会専門医制度准教育関連施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本乳癌学会認定施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

乳房再建用エキスパンダー実施施設

乳房再建用インプラント実施施設

日本整形外科学会認定医制度研修施設

日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設

日本脳卒中学会一次脳卒中センター

日本脳卒中学会認定研修教育施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本口腔外科学会専門医制度准研修施設

日本核医学会専門医教育病院

日本病理学会研修登録施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本病院薬剤師会H I V感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設

日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設

日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設

日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設

日臨技精度保証施設

N C D施設会員

脊椎椎髄外科専門医基幹研修施設

## 医科・歯科点数表

### 基本診療料

令和3年3月31日現在

承認事項	項承認年月日
1 入院時食事療養（Ⅰ）・ 入院時生活療養（Ⅰ）	昭和58年6月1日
2 臨床研修病院入院診療加算 （基幹型）	平成19年4月1日
3 医療安全対策加算	平成30年4月1日
4 歯科外来診療環境体制加算	平成30年10月1日
5 がん診療連携拠点病院加算	平成21年4月1日
6 救急医療管理加算	令和2年4月1日
7 地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成31年4月1日
8 栄養サポートチーム加算	平成23年4月1日
9 患者サポート体制充実加算	平成24年4月1日
10 データ提出加算	平成24年10月1日
11 無菌治療室管理加算1	令和1年8月1日
12 一般病棟入院基本料 （急性期一般入院料2）	令和2年10月1日
13 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成27年4月1日
14 感染防止対策加算1	平成30年4月1日
15 療養環境加算	令和1年8月1日
16 診療録管理体制加算1	平成27年9月1日
17 医師事務作業補助体制加算1 （15対1補助体制加算）	平成30年4月1日

### 特掲診療料

令和3年3月31日現在

承認事項	項承認年月日
1 クラウン・ブリッジ維持管理料	平成29年4月1日
2 造血器腫瘍遺伝子検査	平成12年4月1日
3 高エネルギー放射線療法	平成14年4月1日
4 放射線治療専任加算	平成15年4月1日
5 直線加速器による定位放射線治療	平成16年4月1日
6 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療 管理加算及び歯科治療時医療管理料	平成18年9月1日
7 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込 術を含む。）及び脳刺激装置交換術	平成18年10月1日
8 医療機器安全管理料1	平成20年4月1日
9 医療機器安全管理料2	平成20年4月1日
10 外来化学療法加算1	平成20年4月1日
11 無菌製剤処理料	平成20年4月1日

承認事項	項承認年月日
18 歯科診療特別対応連携加算	平成28年4月1日
19 地域歯科診療支援病院入院加算	平成28年4月1日
20 25対1急性期看護補助体制加算	令和2年10月1日
21 重症者等療養環境特別加算	令和2年11月1日
22 病棟薬剤業務実施加算1	平成28年9月1日
23 入退院支援加算	平成30年4月1日
24 認知症ケア加算	平成31年4月1日
25 精神疾患診療体制加算	平成29年6月1日
26 看護職員夜間配置加算	平成31年2月1日
27 地域包括ケア病棟入院料2	令和2年10月1日
28 超急性期脳卒中加算	平成30年6月1日
29 後発医薬品使用体制加算1	平成30年4月1日
30 緩和ケア診療加算	令和1年9月1日
31 16対1看護職員夜間配置加算	令和2年10月1日
32 せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和2年6月1日
33 排尿自立支援加算	令和2年4月1日
34 地域医療体制確保加算	令和2年4月1日

承認事項	項承認年月日
12 集団コミュニケーション療法料	平成20年4月1日
13 外来放射線治療加算	平成20年4月1日
14 医科点数表第2章第10部手術の通則5（歯科点数表 第2章第9部の通則4を含む。）及び6に掲げる手術	平成20年4月1日
15 歯周組織再生誘導手術	平成29年4月1日
16 糖尿病合併症管理料	平成20年10月1日
17 ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	平成21年12月1日
18 大動脈バルーンポンピング法 （IABP法）	平成21年12月1日
19 医療機器安全管理料（歯科）	平成22年2月1日
20 検体検査管理加算Ⅳ	平成22年4月1日
21 乳がんセンチネルリンパ節 加算1及び2	平成22年4月1日
22 肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年4月1日

	承認事項	項承認年月日
23	センチネルリンパ節生検併用及び単独	平成22年4月1日
24	透析液水質確保加算Ⅰ	平成30年6月1日
25	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年4月1日
26	薬剤管理指導料	平成22年4月1日
27	膀胱水圧拡張術	平成22年4月1日
28	輸血管管理料Ⅱ	平成22年11月1日
29	がん治療連携計画策定料	平成30年1月1日
30	脊髄刺激装置埋込術及び脊髄刺激装置交換術	平成29年10月1日
31	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	令和2年4月1日
32	外来リハビリテーション診療料	平成24年4月1日
33	がん治療連携管理料	平成24年4月1日
34	在宅患者訪問看護・指導料	平成24年4月1日
35	同一建物居住者訪問看護・指導料	平成24年4月1日
36	時間内歩行試験	平成24年4月1日
37	ヘッドアップテイルド試験	平成24年4月1日
38	CT撮影（16列以上64列未満のマルチスライスCT）	令和1年10月1日
39	MRⅠ撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）	令和3年3月1日
40	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成31年2月1日
41	輸血適正使用加算	平成24年4月1日
42	人工肛門・人口膀胱増設術前処理加算	平成24年4月1日
43	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成29年4月1日
44	院内トリアージ実施料	平成24年5月1日
45	画像誘導放射線治療（IGRT）	平成30年10月1日
46	開放型病院共同指導料	平成24年11月1日
47	画像診断管理加算1	平成30年4月1日
48	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成25年6月1日
49	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	平成31年2月1日
50	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成31年2月1日
51	糖尿病透析予防指導管理料	平成26年4月1日
52	持続血糖測定器加算	平成26年4月1日
53	1回線量増加加算	平成26年4月1日
54	歯科口腔リハビリテーション料2	平成26年4月1日
55	外来放射線照射診療料	平成27年3月1日

	承認事項	項承認年月日
56	麻酔管理料Ⅰ	平成31年2月1日
57	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成27年4月1日
58	がん患者指導管理料ハ	令和3年3月1日
59	がん患者指導管理料イ	令和3年3月1日
60	がん患者指導管理料ロ	令和3年3月1日
61	がん患者リハビリテーション料（Ⅰ）	平成31年2月1日
62	がん性疼痛緩和指導管理料	令和3年3月1日
63	神経学的検査	平成27年9月1日
64	組織拡張期による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）	平成28年2月1日
65	ゲル充填人口乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成28年2月1日
66	ニコチン依存症管理料	平成29年7月1日
68	遺伝学的検査	平成28年4月1日
69	コンタクトレンズ検査料1	平成29年4月1日
70	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	平成28年8月1日
71	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成27年4月1日
72	療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	令和2年4月1日
73	外来排尿自立指導料	令和2年4月1日
74	人工腎臓	平成30年4月1日
75	導入期加算1	平成30年4月1日
76	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）等	平成30年11月1日
77	外来緩和ケア管理料	令和1年8月1日
78	ウイルス疾患指導料	令和2年4月1日
79	がん患者指導管理料ニ	令和2年4月1日
80	骨髄微小残存病変量測定	令和2年6月1日
81	B R C A 1 / 2 遺伝子検査	令和3年2月1日
82	先天性代謝異常症検査	令和3年2月1日
83	C A D / C A M 冠	令和2年3月1日
84	椎間板内酵素注入法	令和2年4月1日
85	腹腔鏡下肝切除術	令和2年4月1日
86	病理診断管理加算1	令和2年4月1日
87	悪性腫瘍病理組織標本加算	令和2年4月1日
88	口腔病理診断管理加算1	令和2年4月1日

医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術

#### 区分1に分類される手術

頭蓋内腫瘍摘出術等  
 黄班下手術等  
 鼓膜形成手術等  
 肺悪性腫瘍手術等  
 経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術

#### 区分3に分類される手術

上顎骨形成術等  
 上顎骨悪性腫瘍手術等  
 バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）  
 母指化手術等  
 内反足手術等  
 食道切除再建術等  
 同種死体腎移植術等

#### 区分2に分類される手術

靭帯断裂形成手術等  
 水頭症手術等  
 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等  
 尿道形成手術等  
 角膜移植術  
 肝切除術  
 子宮附属器悪性腫瘍手術等

#### その他の区分に分類される手術

人工関節置換術  
 乳児外科施設基準対象手術  
 ペースメーカー移植術及び  
 ペースメーカー交換術（電池交換を含む）  
 冠動脈、大動脈バイパス移植術及び  
 体外循環を要する手術  
 経皮的冠動脈形成術  
 経皮的冠動脈血栓切除術及び  
 経皮的冠動脈ステント留置術

医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

胃瘻造設術



## II. 診療科及び部門報告

### (1) 診療部門

・内 科	15
・精 神 科	18
・神 経 内 科	19
・循 環 器 内 科	20
・緩 和 ケ ア 内 科	21
・外 科	22
・整 形 外 科	24
・脳 神 経 外 科	27
・泌 尿 器 科	29
・眼 科	31
・耳 鼻 咽 喉 科	32
・放 射 線 科	34
・麻 酔 科	35
・歯 科 口 腔 外 科	36
・健 康 診 断 部	38
・病 理 診 断 科	39
・栄 養 管 理 部	40

### (2) 中央診療部門

・中央リハビリテーション部	41
・中央放射線部	43
・中央検査部	45

### (3) 診療支援部

・臨床工学部	47
--------	----

### (4) 薬 剤 部

### (5) 看 護 部





# 内科

副院長 宮城島 拓 人

## 2021年度の目標および方針

2013年度から、内科という大きな括りの中に、消化器内科、血液内科、腫瘍内科を院内標榜し、それぞれの専門性を生かした内科を構築している。これをさらに発展させ、それぞれの専門分野のレベルを上げ、医療の均てん化を目指すことで地域医療にさらに貢献することを目標とする。

消化器内科分野では、消化管、胆膵、肝臓、炎症性腸疾患（IBD）の各専門医が配置され指導體制も整い、消化器悪性腫瘍の診断と内視鏡的治療をさらに発展させる。また月に二回北大消化器内科肝臓グループより肝臓専門医による肝臓外来を新たに設置し地域医療に貢献する。また、腫瘍内科との連携により、消化器癌の最新治療を担保し、臨床治験にも積極的に参入しながら、地域での最先端の治療を目指す。さらに経鼻内視鏡を充足させ、内視鏡検診の拡大を図る。

血液内科は根拠地区唯一の専門施設として、地域の血液疾患の診断治療に主導的役割を果たすとともに、特に移植分野では大学と連携を強固にしていくとともに、同種幹細胞移植をも視野に入れた移植体制の充実を図る。今年度から人員がひとり増えさらに診療の幅が広がる事が期待される。

また、内科という大きな括りはそのままとし、三つの専門分野以外の疾患についても、地域医療を担う責任として関わっていく体制を維持することにより、地域貢献はもとより、研修医の懐の深い（守備範囲の広い）人材育成に寄与する。

釧路労災病院内科の伝統的な『広く深く』を合言葉にした診療体制を今年度も維持発展していく。

## 2021年度の具体的な重点項目

1. ESD（内視鏡的粘膜下層分離術）による食道、胃、大腸早期がんの切除数150件、および、若手の育成。
2. 上部内視鏡6,000件、下部内視鏡4,000件。検診での内視鏡件数の増加。
3. 化学療法外来、肝臓外来、IBD外来、血液専門外来などの充足。
4. 外来化学療法センターの一日利用者数25件。
5. 移植患者の長期フォローアップ体制の確立。
6. 各種学会発表、論文化の推進。
7. 新型コロナ感染症の終息にむけた、医療体制の維持。

## 2020年度診療実績

(件)

### (1) 入院患者疾患分類集計

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	4,292	4,237	4,040
結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物	674	649	513
胆石症	244	214	179
胃の悪性新生物	227	260	205
膵の悪性新生物	210	193	176
びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	158	144	172
結腸の悪性新生物	157	202	220
その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	126	145	110
その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	124	131	85
気管支及び肺の悪性新生物	116	125	162
肝及び肝内胆管の悪性新生物	108	123	105
その他	2,148	2,051	2,113

### (2) 侵襲的治療、検査実績

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
上部消化管内視鏡	5,378	5,304	5,227
下部消化管内視鏡	3,752	3,610	3,357
食道ESD	62	10	8
胃ESD	88	84	53
十二指腸ESD			0
大腸EMR	623	759	466
大腸ESD	163	71	46
小腸鏡（ダブルバルーン）	19	20	7
内視鏡的止血術	18	68	33
食道静脈結紮術・内視鏡的硬化療法	29	18	1
異物除去	15	27	27
イレウス管	85	68	65
食道拡張術	25	15	30
胃瘻造設術	11	24	17
気管支鏡/経気管支気管生検	9	9	44
ERCP	536	623	541
経動脈塞栓術・動注療法（TACE/TAI）	9	23	33
超音波内視鏡	405	429	386
EUS（FNA）	57	96	97

## 2020年度の評価

コロナ禍にありながらも、感染対策を十分配慮したうえで、診療の質と量は担保された。少なくとも、上下部内視鏡診断治療、および胆膵領域の診断治療の地域中核病院として十分機能したと考える。内視鏡件数としては上部5,378件、下部3,752件と昨年度に比べて

上下部とも増加しており、十分パフォーマンスを発揮出来たと思われる。ESDを始めとする内視鏡治療も順調に伸びており、また胆膵系の処置も年々増加傾向を示しており地域のニーズに答えている結果と理解している。しかしそのため、昼夜を問わず増加する胆膵疾患の診断治療のため、透視室で夜遅くまで治療に当たるのが、日常茶飯事になっており、医師の負担のみならず、介助にあたる看護師やME（臨床工学士）の負担は相当なものだったと思われる。看護師の事情で内視鏡看護師の待機制が望めない状況であり、なんらかの体制変化は必須と考える。

化学療法センターが一新され治療環境が格段に良くなったことで、患者の評判はすこぶる良好であるとともに、今年増加数は16床という規定ベッドでは到底足りない状況をもたらした。2020年度中盤から18床に増えることが決定したが、化学療法担当看護師の従属も必要である。

学問的などころでは、国内全国学会（総会）7題、地方会10題を発表した。また英語論文は4本が掲載された。

最後に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、発熱外来での診療過多、新型コロナ患者の対応、ワクチン接種対応など、従来とは違う仕事が増え、相当の業務量であったことは特筆すべきで、そのなかでも、本来の日常業務をきっちりとこなしたことは評価に値する。ただし働き方改革には結びつかなかったことは反省すべきことである。

## 2020年度スタッフ構成

### 副院長

宮城島 拓 人

- 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 指導医
- 日本消化器病学会 消化器病専門医 指導医
- 日本肝臓学会 認定肝臓専門医
- 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医
- 日本エイズ学会 認定指導医
- 日本血液学会 血液専門医 血液指導医
- 日本感染症学会推薦インフェクションコントロールドクター（ICD）
- 日本内科学会 認定内科医 認定総合内科専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本医師会 認定産業医

### 消化器内科部長

小 田 寿

- 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医

- 日本消化器病学会 消化器病専門医
- 日本内科学会 総合内科専門医

### 血液内科部長

重 松 明 男

- 日本内科学会 認定内科医 総合内科専門医
- 日本血液学会 血液専門医 血液指導医
- 日本造血細胞移植学会 造血細胞移植認定医
- 日本輸血細胞治療学会 認定医

### 消化器内科部長

佐 野 逸 紀

- 日本内科学会 認定内科医

### 消化器内科部長

川 岸 直 樹

- 日本消化器学会 消化器病専門医
- 日本肝臓学会 認定肝臓専門医
- 日本内科学会 認定内科医

### 腫瘍内科部長

澤 田 憲 太 郎

- 日本内科学会 認定内科医
- 日本消化器学会 消化器病専門医
- 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

### 消化器内科部長

石 川 麻 倫

- 日本内科学会 認定内科医
- 日本消化器病学会 消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- 日本病理学会 病理専門医
- 死体解剖資格認定

### 内科医師

吉 河 歩

吉 田 苑 永

小 田 総 一 郎

横 山 慶 人

横 山 大 輔

横 山 達 也

田 中 崇 倫

### 臨床研修医

野 島 慎 吾

船 橋 咲 乃

## 主な対象疾患

消化器癌（食道癌、胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆管癌、胆嚢癌、膵癌、その他）

肺癌、血液悪性腫瘍（リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、MDS、その他）

他の血液疾患（貧血、多血症、血小板減少症、凝固異常）

常症、その他)

炎症性疾患（炎症性腸疾患（IBD）、肝炎、膵炎、胆管炎、胆石症、肺炎、胸膜炎、その他）  
気胸、糖尿病、他の代謝性疾患、自己免疫性疾患、腎不全 など。

## ■ 特色

消化器領域、血液領域、癌化学療法の専門領域の疾患については全国レベルを維持し、均てん化に寄与している。それ以外の領域疾患についても、地域の実情を鑑み積極的に対応している。また、専門性を生かしてセカンドオピニオンの提供も積極的に行っている。

## ■ 臨床研修教育内容

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本肝臓学会関連施設、日本血液学会血液研修施設などの多彩な教育施設となっており、それぞれの専門医・指導医を持つ部長が、On jobで指導し、専門医を育成する環境が整っている。また、各種学会へも積極的に参加することで知識技術のブラッシュアップを図っている。

完全主治医制で、研修医でも責任を持って患者、家族と対応することになるが、一人で抱え込まないように、全員参加のカンファレンスを充実している。

週二回の病棟カンファレンスでは、研修医が主治医として受け持ち患者をプレゼンし、指導医から指摘や教育を受ける。これにより主治医として関わらなくても、多岐にわたる多くの疾患を経験することができ、疾患の偏りが無い経験値が格段に向上する。少なくとも新しい内科専攻医研修制度で求められる疾患のほとんどを網羅できる。

## 2021年度目標及び方針

初診患者さんの総数に対して再来継続となる患者さんの割合が引き続き昨年よりも増加している。これは当科初診患者さんの占める割合が当院入院中の患者さんと比較して院内他科外来および他院からの紹介が多くなってきていることによると思われる。また他都府県からの紹介(必ずしも当院が指定されてはいないが)も増えてきているが入院が必要と思われる場合には他院精神科にお願いすることもある。入院中初診患者さんが再来に移行しにくい面(当院他科入院中で一過性に精神症状が悪化した場合に対応し退院後は地元他院へ通院する、本人が退院後当科通院に同意しない等)もあるがそれ以外の紹介患者さんは比較的多くが再来に移行している。しかし通院が必要であるにもかかわらず不規則通院であったり自己中断で悪化するまで再来受診しない患者さんも散見される。その結果、その時の精神症状によっては医療保護入院などが必要になる場合もあり注意すべきところである。患者さんの規則的通院が昨年に引き続き今年度も当科の目標、方針となる。初診申し込みから受診までの日数は昨年と比較して殆ど変化はない。

## 2021年度の具体的な重点事項

入院患者さんに対して当院退院後も継続的な対応ができるようにすることが重点目標となるが居住地の関係から近隣市町村へも適宜紹介して患者さんの通院距離負担を軽減する必要がある。これにより不規則通院を可能な限り是正することも目標とする。当院には精神科病棟がないため精神症状から明らかに入院治療が必要な場合には精神科病棟のある病院に対応をお願いすることになるが釧路では対応して戴ける病院を探すことは相当困難な状況である。さらに今後釧路日赤病院精神神経科の業務縮小によりさらに困難になることは必至であると思われる。何らかの対策が必要ではあり時に釧路周辺地域の精神科にも入院をお願いすることもあるが、やはり地元優先とのことで受け入れて戴くことが難しい。

## 2020年度の評価

昨年度は精神科外来再開後7年目であったが外来患者数は引き続き増加しており、特に神経発達障害と診断される患者さんの増加が昨年同様に目立っている。初診患者さんの受診依頼から初診までの待ち時間は昨

年と比較しても変化なく長くはないと思われる。他県からの初診患者さんも増加傾向にある。ただし当科は入院病棟がなく救急対応はできないため全ての患者さんを引き受けることは困難である。

## 2020年度スタッフ構成

### 精神科医師

村田 佳 應

- 日本精神神経科学会 精神科専門医
- 日本医師会 認定産業医
- 精神保健指定医の証

## 主な対象疾患

当院には入院病棟がないこと、精神保健指定医が1名であることから措置入院(緊急措置入院を含む)、医療保護入院、応急入院、任意入院のいずれもができない。また精神科救急医療にも対応できない。中心となる疾患は精神病圏ではなく神経症圏である。最初から入院が必要と判断される患者さんは入院病棟を保有する病院にお願いすることになる。最近では神経発達障害と思われる患者さんが増加しており年齢によっては小児科にお願いすることもある。認知症患者さんの新患数も昨年に比較して若干であるが増加傾向にあると思われる。

## 特 色

当科では新患、再来とも全予約制となっている。外来での対応が可能であれば比較的早く対応できるよう時間調整に努力している。また患者さんから曜日、時間指定の希望がある場合、最近はその希望日時に対応することが難しくなっている。当科では公認心理師が常勤しているので必要と判断されれば精神科カウンセリング、各種心理検査が可能である。最近は成人の発達障害に関する心理検査が多くなり、その他の心理検査も増加してきている。

## 臨床研修医教育内容

当院は精神科臨床研修施設ではないので精神科臨床研修はできません。

# 神経内科

部長 津坂和文

## 2021年度の目標および方針

当院の神経内科は帯広以東の唯一の、神経内科専門医による科である。広範囲の地域のニーズに応えるべく、ほぼすべての神経疾患について、全国的に見ても遜色のないスタンダードな医療を目指している。

競合施設が近隣にないため、数値目標は設定せずに、依頼のある患者を可能な限り受け入れて、地域医療への貢献をしていきたい。

当科は神経学会准教育施設であり、研修医への教育指導にも力を入れている。

## 2021年度の具体的な重点目標

1. 地域からの受け入れをいとわない。たとえ休日でも、できる限り患者の受け入れをして、地域医療機関に貢献していく。
2. 学会発表をとおして、研修医、若手医師の教育、指導をしていく。
3. 保健師と連携し、難病患者の在宅医療、地域での療養を支援していく。(難病患者在宅ケア連絡会議が年4回。難病対策地域協議会にも参加。)
4. 訪問診療の継続

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	256	200	195
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	71	22	16
パーキンソン<Parkinson>病	22	29	19
多発性硬化症	15	10	11
自律神経系の障害	14	5	16
脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	11	3	6
神経系のその他の変性疾患、他に分類されないもの	7	16	7
重症筋無力症及びその他の神経筋障害	6	7	7
皮膚(多発性)筋炎	6	3	4
基底核のその他の変性疾患	5	3	7
てんかん	5	5	7
その他	94	97	95

## 2020年度の評価

地域医療機関のニーズに応えることは、十分に達成できたと思っている。直接の依頼は基本的に断っていない。

入院患者は3人体制となり、増加したと考えている。2020年はcovid-19のために保健師が多忙となったために、保健師との連携は減ってしまったことは残念だったが、やむを得なかったと考えている。

## 2021年度スタッフ構成

### 部長

津坂和文

- 日本内科学会認定医
- 日本神経学会専門医

### 神経内科医師

岩見 昂 亮

瀬尾 祥

### 嘱託医

伊藤 芳子 (月3回 3日)

佐藤 翔紀 (月1回 2日)

## 主な対象疾患

神経疾患(脳・脊髄疾患)

神経筋疾患(末梢神経疾患、筋疾患) など

## 特色

神経疾患・神経筋疾患全般についての、診断、治療、療養の相談をおこない、これらの疾患の「医療空白地帯」とならないよう努力している。

## 臨床研修医教育内容

日本神経学会 准教育施設である。帯広以東の道東地区の神経疾患を一手に引き受けている当科は、症例も豊富であり、片寄りなく、広く症例を経験することが出来る。それらの症例の診断から、治療、さらには終末期まで当科で経験することが出来る。新外来患者のプレゼンテーション、入院患者の方針検討は毎日おこなっている。研修医にはトレーニングの機会が十分にあると思われる。神経学会北海道地方会には毎回演題を出しており、研修医にもその機会を提供している。

## 2021年度目標と方針

当科では現在、常勤1名、非常勤1名で（週2回勤務）、外来中心の診療活動を行っています。今年度も基本的には現行の態勢を継続する方針で、外来では主に慢性心不全、虚血性心疾患の慢性期、高血圧、不整脈の症例に加え、末梢血管疾患の状態評価、投薬管理などの経過follow、他科（外科系）の術前症例の心機能評価などを行っています。患者数はここ数年ほぼ同様ですが、予約枠は慢性的にオーバーブッキングとなることが多く、待ち時間が長くなり、患者様にはご迷惑をおかけすることが多々ある状況です。

入院診療としては、当科の自前の症例に関しては、心臓ペースメーカー植え込み症例の診療を行っています。そのほか、他科入院患者の循環器系合併疾患の状態評価、経過観察・加療を、関連各科にご協力いただき、行っています。外来患者の心不全憎悪例については、内科のご協力を頂き、入院での管理を行っていますが、状態に応じ、他施設でのご加療を依頼する場合があります。

新規症例についても、スクリーニングなど評価を積極的に行い、必要に応じて高度医療可能な施設への連携を保つよう努めています。

## 2020年度スタッフ構成

### 循環器内科部長

鮫 島 睦 生

・日本外科学会 認定医

## 主な対象疾患・特色

慢性心不全 高血圧 虚血性心疾患のスクリーニング 慢性期 follow

不整脈 大動脈瘤 末梢動脈疾患のスクリーニング 経過 follow

外科系手術症例の術前心機能・耐術能評価

静脈系疾患の状態評価 follow

## 2020年度診療実績

令和2年度 入院なし

### (1) 入院患者疾患分類集計

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	0	3	1
房室ブロック及び左脚ブロック	0	1	1
その他の不整脈	0	1	0
心臓及び血管のプロステーシス挿入物及び移植片の合併症	0	1	0

### (2) 手術実績

(件)

＜麻酔別＞		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計		0	3	1
局 所		0	3	1
＜疾患・術式別＞		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計		0	3	1
房室ブロック及び左脚ブロック		0	1	1
その他の不整脈		0	1	0
心房細動及び粗動		0	1	0

# 緩和ケア内科

部長 小田 浩之

## 2021年度の目標及び方針

主にがん患者さんのからだの痛みや気持ちのつらさ等に対して、主治医と協力して、薬物療法やケアなどに取り組みます。

緩和ケアというと、がん治療が終了した患者さんばかりが対象のように思われがちですが、今では、症状があればいつでも（がん治療中でも、治療が始まる前でも）受診することができ、早めに受診することががん治療そのものにも役立つと言われていています。したがって、患者・家族の方々が少しでも早く当科の診療を受けていただけるように、主治医や病棟スタッフ、地域連携医療機関の皆様働きかけてまいります。

また、全国ではがん死亡患者の6人に1人が緩和ケア病棟で手厚いケアを受けていますが、釧路・根室地域にはまだ緩和ケア病棟がありません。このため、2022年（令和4年）4月を目途に当院に緩和ケア病棟を設け、がん終末期患者の療養を支えます。

## 2021年度の具体的重点項目

### 1. 緩和ケア病棟開設の準備を進めます。

全国の緩和ケア病棟で行われるがん終末期患者に対する緩和ケアを院内一般病棟で試行的に実施し、病院スタッフの緩和ケアスキルの向上を図るとともに、地域医療機関・住民等に対する周知を図るなど、緩和ケア病棟開設の準備を進めます。

### 2. 緩和ケアチーム活動の充実に努めます。

多くのがん患者さんが早期から緩和ケアを受けられるように、入院患者のスクリーニング等に努めます。また、主治医の依頼に応じて、心不全などがん以外の重い病気に苦しむ多くの患者さんの症状緩和にも取り組みます。

### 3. 地域における緩和医療の普及に取り組みます。

釧路・根室地域の連携医療機関に対して、当院に設置される緩和ケア病棟の活用を促してまいります。また、地域のがん患者等に対する外来診療を行うとともに、地域の医療機関や自治体などの依頼に基づき無料出前講座を実施します。

## 2020年度診療実績

緩和ケアチーム介入患者数 442件

※うち緩和ケア病棟（試行的運用）に入院のあった患者 37名

緩和ケア内科外来受診患者数 650件

（件数は複数回の介入・診察を重複してカウントしています）

## 2020年度の評価

病床数あたりの緩和ケアチーム介入患者数は全国でもトップクラスであり、このことは、当院におけるがん治療がチーム医療として充実したものと評価できるものです。

## 2020年度スタッフ構成

緩和ケア内科部長

小田 浩之

・日本緩和医療学会 緩和医療専門医

## 主な対象疾患及び特色

現在は主に（すべての種類の）がんの患者さんへの緩和医療の提供を行っていますが、主治医からのご依頼に応じて、心不全患者その他のがん以外の患者さんの苦痛緩和にも取り組みます。

なお、緩和ケア病棟（現在の試行的な運用も含めて）は、院内がん患者さんの終末期療養のみならず、たとえば在宅療養を続けておられる患者さんの症状緩和のための一時的利用なども積極的に受け入れます。

## 特色

当科には道東で唯一の日本緩和医療学会緩和医療専門医が在籍しており、高度・専門的な緩和医療を提供しています。

## 臨床研修医研修方針

「研修医のうちに、せめて痛みには強くなろう」

「患者のつらさに寄り添えるようになろう」

「チーム医療ができるようになろう」

緩和ケアは、すべての医療分野に共通するスキルです。当科の門を叩く研修医には、好きなだけ症例にまみれることのできる濃密な時間を用意します。

2021年度の方針および目標

消化器外科、乳腺外科、緩和ケアを三本柱として地域医療へ貢献します。消化器外科分野では、鏡視下手術を中心に「患者さんにやさしい手術」を推進して参ります。内視鏡外科技術認定医ならびに肝胆膵高度技能専門医による全領域の手術に対応可能となりました。緩和ケア内科が開設されたことにより、外科医も診断から始まる緩和ケアをサポートいたします。がん治療および救急医療を通じて「地域に必要とされる」医療を提供することを目標とします。

2021年度の具体的重点項目

1. 腹腔鏡手術のさらなる推進

消化器外科の分野では、低侵襲手術としての腹腔鏡・胸腔鏡手術をさらに推進し、合併症の減少と合わせて早期社会復帰に努めます。肝胆膵領域の手術も推進し、全領域的な外科治療を提供します。

2. 乳がん治療の多様化に対応

癌の進行度と生物学的特徴に応じた最適な治療法を提案します。手術はもちろんのこと、薬物療法と放射線療法を駆使し、温存療法から乳房再建まで、多様なニーズに対応します。

3. 緩和ケア外来の強化

緩和ケア内科専門医との連携の下、緩和ケア病棟開設のサポートを進めます。がん看護専門看護師とのチーム連携による緩和ケア体制を維持しつつ、地域在宅医療システムとの連携を深めます。

4. 新たな専門医制度に対応する教育体制

多くの手術を経験できることはもちろん、大学や関連病院から技術認定医・指導医の応援を得て、高度な技術を持つ専門医を育成します。将来的にロボット手術による教育および遠隔医療の導入を図ります。

2020年度診療実績

(1) 入院患者疾患分類集計

(人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	980	961	875
乳房の悪性新生物	229	188	209
胆 石 症	115	97	101
結腸の悪性新生物	91	101	85
そけい<鼠径>ヘルニア	83	100	73
胃の悪性新生物	75	68	62
急性虫垂炎	49	46	37
その他の外因の作用	47	32	31
直腸の悪性新生物	38	39	33
直腸S状結腸移行部の悪性新生物	28	23	17
消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	25	37	38
そ の 他	200	230	189

(2) 手術実績

(件)

<麻 酔 別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	694	700	594
全 麻	655	663	564
脊 椎	1	2	3
局 麻	38	34	27
硬 膜 外	0	1	0

<疾患・術式別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	697	700	594
胆 石 症	115	97	107
結腸の悪性新生物	87	92	84
乳房の悪性新生物	81	81	86
そけい<鼠径>ヘルニア	80	100	70
胃の悪性新生物	71	63	54
直腸の悪性新生物(Rs含む)	63	60	45
急性虫垂炎	34	30	32
肝及び肝内胆管の悪性新生物	17	8	8
消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	14	15	15
乳房の良性新生物	11	10	6
そ の 他	124	144	87

## 2020年度の評価

手術適応領域の拡大により、入院患者数・手術件数ともに増加傾向で推移しました。COVID-19による影響を受けながらも、通常診療を維持することができました。救急診療とくに緊急手術にも積極的に対応し、さらにはがん検診・禁煙外来・緩和ケアチーム活動など、幅広い業務に力を発揮しました。

## 2021年度スタッフ構成

### 院長

高橋 弘 昌

- ・日本外科学会 外科専門医 指導医
- ・日本乳癌学会 乳腺専門医 指導医
- ・日本内分泌外科学会 内分泌専門医
- ・日本甲状腺外科学会 甲状腺外科専門医
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医

### 副院長

小笠原 和 宏

- ・日本外科感染症学会 インфекションコントロールドクター（ICD）
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本乳癌学会 乳腺専門医 乳腺指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科専門医 指導医
- ・日本外科学会 認定医 外科専門医 指導医
- ・日本職業 災害医学会 海外勤務健康管理指導者
- ・日本職業 災害医学会 労働災害補償指導医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本医師会 認定産業医
- ・社会医学系専門医協会 社会医学系指導医 専門医
- ・乳房再建エキスパンダー/インプラント基準医師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医

### 外科部長

中川 隆 公

- ・日本外科学会 認定 外科専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 認定医 消化器外科専門医 指導医
- ・日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能指導医
- ・日本がん治療認定医機構 認定医 暫定教育医

石 黒 友 唯

- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医

岡 田 尚 樹

- ・日本外科学会 外科専門医

沢 田 堯 史

- ・日本外科学会 外科専門医

### 副部長

杉 井 沙 織

- ・日本外科学会 外科専門医

### 医師

羽 田 光 輝

- ・日本外科学会 外科専門医

## 主な対象疾患および特色

- ・消化器がん（胃癌・大腸癌・肝胆膵癌・食道癌など）
- ・乳がん
- ・胆石症など消化器良性疾患
- ・急性虫垂炎など手術を必要とする感染性疾患
- ・鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアなど
- ・手術後の合併症や後遺障害など

## 臨床研修医教育内容

臨床研修指定病院であるとともに、日本外科学会修練指定施設、日本消化器外科学会認定施設、日本乳癌学会認定施設であり、豊富な手術経験を積んで早いタイミングで外科専門医を取得するための基礎を学ぶことができます。多数の消化器外科専門医のほか、内視鏡外科技術認定医や乳腺専門医を育成した実績があります。外科医の経験を基盤として緩和ケア専門医に転身した医師もいます。幅広い臨床経験を約束できる環境です。

## 2021年度の目標および方針

整形外科は運動器疾患を診断・治療する分野で、主にその疾病は変性疾患と外傷に大別されます。今年度は7名体制で診療活動を行っており、脊椎専門医（放生）と下肢専門医（加藤）、上肢専門医（倉茂）が常勤し、それぞれの分野で手術をはじめとした専門的な治療に当たると同時に、若手医師の育成を行っております。脊椎専門医は日本脊椎脊髄病学会指導医であり、脊椎疾患の治療はもちろんのこと、脊椎外科医の育成を行っております。その他、運動器疾患のあらゆる分野において専門性の高い高度な医療を提供しております。

釧路市内のみならず、道東全域および道北・十勝地区からも患者さんを紹介して頂き、地域の中核病院としての役割が強く求められております。その期待に応えるべく、高い医療水準を保ちながら、患者一人一人に合わせた柔軟な治療を心掛けています。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 脊椎外科専門治療の推進

当科脊椎専門医は日本脊椎脊髄病学会指導医です。脊椎外科治療には豊富な知識と高度な技術が要求されることが多く、その専門性を生かした治療を推進していくと同時に、脊椎外科医育成にも重点的に注力していくことを目指しています。

### 2. 膝・股関節疾患治療の重点化

変形性股関節症に対し、前方進入人工股関節置換術を重点的に行っていきます。前方進入はこれまでの後側方進入に比べて、術後人工関節脱臼を少なくすることができる、術後の脚長を厳密にコントロールできるなど、多くの利点を有します。高度な技術を要しますが、当科では本術式に積極的に取り組んでいます。

### 3. 肩・肘関節疾患の専門治療

上肢の専門医による専門性の高い治療を行っております。特に肩・肘関節に注力しております。疾患患者数が多い分野であるにも関わらず、釧路地区には本分野の専門医が少ないため、当科の地域医療への貢献が高まると考えています。

### 4. スポーツ医学

整形外科の特徴的な分野であるスポーツ医学を通じて、競技レベルからレクリエーションレベルまで、患者に合わせた診断・治療を行います。

### 5. 運動器外傷への積極的な取り組み

地域の中核病院における整形外科として、救急医療に欠くことのできない運動器外傷に積極的に取り組みます。

### 6. 骨粗鬆症の社会啓蒙活動と検査・治療の推進

骨粗鬆症は50歳以上の女性の3人に1人が患っていると言われていますが、実際に治療を受けているのはその1/6未満と言われています。本疾患の存在と治療の重要性を社会に啓蒙すると同時に、検査・治療を推進していきます。

### 7. 整形外科専門医の育成

当院は日本整形外科学会研修施設であり、整形外科専門医教育を積極的に行ってきました。これからも、臨床および学術的な指導を行うことにより整形外科医学教育にも注力していきます。

### 8. 地域の整形外科医への指導

釧路市整形外科医会（当科部長が会長を兼任）の取り組みとして、症例検討会・講演会などを積極的に開催し、地域の整形外科診療レベルの向上を図ります。

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計 (人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	871	833	1,029
大腿骨骨折	117	106	115
腰椎及び骨盤の骨折	85	44	75
下腿の骨折、足首を含む	72	88	86
前腕の骨折	59	68	66
その他の変形性脊柱障害	55	38	65
その他の脊椎障害	54	48	46
肩及び上腕の骨折	40	34	40
肋骨、胸骨及び胸椎骨折	33	39	34
膝関節症 [膝の関節症]	32	33	66
その他の椎間板障害	31	26	32
その他	293	309	404

## (2) 手術実績 (件)

<麻酔別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総	計	559	619	698
全	身	452	474	529
脊	椎	33	52	63
伝	麻	57	69	75
局	所	13	18	28
そ	の	4	6	3
他				
<疾患・術式別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総	計	559	619	698
大	腿	97	96	96
前	腕	58	65	65
下	腿	56	81	71
そ	の	31	18	27
他	の	30	31	64
変	形	30	29	37
性	脊	23	21	22
柱	障	21	11	16
害		17	33	32
膝	の	16	17	13
関	節	180	217	255
症				
[	膝			
の	関			
節	節			
症	症			
]				
肩	及			
び	上			
腕	の			
の	骨			
骨	折			
そ	の			
他	の			
脊	椎			
障	害			
足	の			
骨	折			
、	足			
首	を			
除	く			
膝	の			
関	節			
及	び			
靭	帯			
の	脱			
臼	、			
捻	挫			
及	び			
ス	ト			
レ	イ			
ン				
股	関			
節	症			
そ	の			
他				

## ■ 2020年度の評価

当科は整形外科3分野（脊柱・上肢・下肢）の各専門医が揃っており、全ての領域で高度な治療を行うことが可能です。今後も地域の中核病院としてさらに重要な役割を果たしていくことが求められており、地域の期待に応えていきたいと考えています。

## ■ 2020年度スタッフ構成

## 副院長

放生 憲博

- ・日本整形外科学会 整形外科専門医
- ・日本整形外科学会 脊椎脊髄病医
- ・日本整形外科学会 リウマチ医
- ・日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医
- ・日本整形外科学会 スポーツ医
- ・日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科指導医

## 整形外科部長

加藤 琢磨

- ・日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医
- ・日本整形外科学会 整形外科専門医
- ・日本整形外科学会 スポーツ医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医

校条 祐輔

- ・日本整形外科学会 整形外科専門医

- ・日本整形外科学会 脊椎脊髄病医

## 整形外科副部長

倉茂 秀星

- ・日本整形外科学会 整形外科専門医

## 整形外科医師

石井 智佳子

深田 翔太郎

福島 瑛

菅原 悠太郎

## ■ 主な対象疾患及び特色

主な対象疾患

&lt;脊椎疾患&gt;

- ・腰部椎間板症
- ・腰椎椎間板ヘルニア
- ・脊椎分離症・すべり症
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・腰椎変性すべり症
- ・腰椎変性側弯症
- ・頸椎椎間板ヘルニア
- ・頸椎症・頸髄症
- ・頸椎後縦靭帯骨化症
- ・骨粗鬆症・脊椎圧迫骨折
- ・脊椎腫瘍
- ・脊椎脊髄損傷
- ・胸髄症（ヘルニア、脊椎症、靭帯骨化）
- ・化膿性・結核性脊椎炎
- ・脊柱側弯症

&lt;上肢疾患&gt;

- ・肩腱板損傷
- ・変形性肩関節症
- ・肩関節周囲炎
- ・リウマチ肩
- ・変形性肘関節症
- ・離断性骨軟骨炎

&lt;下肢疾患&gt;

- ・変形性股関節症
- ・変形性膝関節症
- ・膝前十字靭帯損傷
- ・膝半月板損傷

## ■ 特色

整形外科の主要疾患はすべて対象としています。脊椎疾患に対して高度な専門性の高い治療を行っております。下肢および上肢疾患については北海道大学整形外科からの診療応援もあり大学と協力しながら最先端の治療を提供してまいります。

## ■ 臨床研修医教育内容

当院は日本整形外科学会研修施設であり、整形外科専門医教育を積極的に行っています。整形外科カンファレンスを毎日行い、整形外科学の基礎的な知識から検査・診断へのプロセス、実際の保存・手術治療まで、個別の症例ごとに全員で検討しています。また、学会や研究会への発表・論文作成指導も行っており、様々な方面からの教育を目指しています。

# 脳神経外科

部長 磯部 正 則

## 2021年度の目標及び方針

脳疾患部門と脊髄末梢神経部門からなる総合神経外科と言える理想的な診療体制を、2021年度も維持して地域医療を支えます。

**脳部門は全領域**：但し、小児は少ない。産婦人科・小児科で赤十字病院と連携し、出張手術を実施する場合もあり。

**脊髄末梢神経部門**：外科手術のほか、ブロック注射など総合的な診断治療が特徴。ハイテク（画像・機能検査診断）とロウテク（指で押す診断）の組み合わせ。

**救急医療**：当院に救急部はありませんので、確立された当院の救急診療指針に基づき、脳関係は擬似（もどき）症例を含めず受ける・診る・相談に乗ることの実践を心がけます。これを目標とするのは今年度も変わりません。24時間365日いつでも対応することと、完璧な医療面接も含めた対応とは現状のマ manpower では両立困難ですので、引き続き脳神経外科スタッフ全体としての対応（カルテ診＝看護師説明のみでとりあえず終わることも）もフル活用。根釧地区医療機関や救急隊からの要請に応じ、24時間・365日の救急応需体制を維持します。（働き方改革と大きく矛盾すること多々あり。チーム医療制・複数主治医/受持医での対応など創意工夫につとめます。）

**臨床研究**：引き続き倫理的側面への配慮の下、当科独自・地域・全国・国際的な臨床研究（共同研究）・治験への参加貢献を続けます。

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計 (人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	836	812	821
脳 梗 塞	206	170	182
末梢神経系のその他の障害	62	77	70
脳 内 出 血	60	58	64
その他の脊椎障害	53	76	51
て ん か ん	41	28	52
その他の脳血管疾患	37	40	23
前庭機能障害	35	25	24
その他の非外傷性頭蓋内出血	26	31	18
頭 蓋 内 損 傷	26	29	26
その他の部位の続発性悪性新生物	23	13	18
そ の 他	267	265	293

### (2) 手術実績 (件)

<麻酔別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計		316	316	291
全 身		190	196	196
局 麻		126	113	95
な し		0	7	0
<疾患・術式別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計		316	316	291
そ の 他 の 脊 椎 障 害		46	67	40
脳 梗 塞		33	32	23
脳 内 出 血		26	21	21
その他の非外傷性頭蓋内出血		23	27	18
末梢神経系のその他の障害		22	14	19
下肢の単ニューロパチ<シ>ー		19	14	24
脊 椎 症		19	10	27
そ の 他 の 脳 血 管 疾 患		17	26	19
その他の部位の続発性悪性新生物		15	11	14
く も 膜 下 出 血		13	9	10
そ の 他		83	85	76

## 2020年度の評価

日本脳卒中学会認定一次脳卒中センターに認定されたほか、教育研修施設にも釧路地区で3病院目として認定されました。脳卒中により失われた脳神経機能は回復しませんし、回復を促すことのできる治療はリハビリテーションのみです。釧路地区で唯一、臨床研究（double-blind RCT）としての脳梗塞細胞療法（再生医療）の治験参加施設となりました。治験に参加した1例は良好な経過をたどっております（治験薬が入ったかどうかはまだわかりませんが）。

## 2021年度スタッフ構成

### 脳神経外科部長

磯部 正 則

- ・日本脳神経外科学会指導医

第一部長。脳部門と全体統括。毎日外来診療。脳ドックも全て対応。脳手術全てと一部の脊椎手術を担当。地域医療にも大きく貢献し、脳神経外科が手薄な釧路赤十字病院、町立厚岸病院の診療応援にも従事しています。病院当直も未だ担当しています。

井須 豊彦

- ・日本脳神経外科学会指導医、日本脊髄外科学会指

## 導医

脊髄末梢神経外科診療を統括。特に診断治療に苦慮するタイプの腰部・臀部・上下肢の痺れと痛みの診療に精通し、その治療効果を発揮し、全道・全国からも患者さんが訪れます。

## 新保大輔

- ・日本脳神経外科学会専門医、指導医
- ・日本脳卒中学会専門医、指導医
- ・日本脳卒中の外科学会技術認定医
- ・日本脳神経血管内治療学会専門医

## 喜多村孝雄

- ・日本脳神経外科学会専門医

## 脳神経外科医師

田尻崇人

本多泰士

## ■ 主な対象疾患及び特色

当院の特徴は、脳・脊髄外科センターと末梢神経外科センターでの2本建てでの診療の実践です。

脳外科疾患部門：磯部・新保（脳神経外科専門医）、  
本多（脳神経外科専攻医）

脊髄・末梢神経外科疾患部門

：井須・喜多村・田尻・磯部（脳神経外科専門医）

## ■ 臨床研修医教育内容

自由選択科目期間（最長35週間）において、1、2年次いずれにおいても研修可能です。

脳神経外科で推奨する研修期間は、最低8週間（診断・初期対応の修練が可能）～16週間（診断・初期対応修練に加え、侵襲性を伴う処置・検査・手術手技の経験が可能）です。

教育内容の全容は、当院の臨床研修プログラム（脳神経外科臨床研修プログラム）に記述していますが、

【釧路労災病院脳神経外科の特徴】は、日本脳神経外科学会「新規脳神経外科専門医制度」に基づく、認定連携施設、日本脳卒中学会認定教育施設、日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター（PSC）、日本脊髄外科学会認定指導医在籍施設での研修が可能であることです。教育の理念は、“患者第一”・“脳・脊髄・末梢神経・全ての神経系疾患を対象とした診療と研究”・“教育のシステムとしてのチーフレジデント制度”です。

## 2021年度の目標及び方針

泌尿器科は、泌尿器科疾患全般に対応することはもちろんであるが、がん診療連携拠点病院として、腎・腎盂尿管・膀胱・前立腺・精巣癌に対する診断、治療、フォローアップに重点を置いている。腎癌、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡手術を標準術式として早期腎癌や腎機能低下例に対しては部分切除による腎温存術を行っている。膀胱癌に対しては経尿道の手術、膀胱全摘術と尿路変更（回腸導管、代用膀胱）、前立腺癌に対してはQOLも考慮した開腹前立腺全摘除術を行っているが、近年急増しているロボット支援手術を希望した場合は関連施設を紹介している。進行癌や再発・転移癌に対しては、分子標的治療薬や化学療法、放射線治療を患者の状態を十分考慮した上で積極的に施行している。免疫チェックポイント阻害薬の適応も増加している。各種癌に対する治療成績に関しての検証・発表も重要視している。

腎不全に関しては、保存期の内シャント造設と血液透析導入以後の維持透析管理を血液浄化センターで施行している。2020年7月からはオンラインHDFが施行可能となり、透析の質的向上に加え経費削減も果たせるようになった。

尿路結石に関しては、レーザーを用いた内視鏡的碎石術を施行している。

2021年4月からは、北大病院からの定期出張（月1回2日間（月・火））が再開され、後期研修医への手術指導や最新治療情報を加味した症例検討会などを行っている。

## 2021年度の具体的な重点目標

1. 診療全般に関しては、常勤医師3名を維持できしており、外来3診体制を継続し、外来待ち時間短縮と紹介患者や予約外患者の受け入れもさらに拡大していく。
2. 北大病院出張医や市立釧路総合病院泌尿器科との緊密な連携を保ち、他施設の人員不足の際には手術応援等も行っていく。
3. 癌診療に関しては、化学療法患者が増加しており、外来化学療法センターを利用しての前立腺癌や尿路上皮癌、腎細胞癌に対する化学療法・免疫チェックポイント阻害薬療法等をさらに進めていく。
4. 血液浄化部門に関しては、血液浄化センターの運営を安全に進めていくとともに、オンラインHDFの適応や栄養指導の充実、服薬指導の工夫

等によって透析患者のQOL向上にも努めていく。

5. 排尿障害に対しては入院患者では、排尿ケアチームの介入を積極的に行い、患者のためになる尿路管理を行っていく。

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計 (人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	456	439	520
前立腺の悪性新生物	108	130	112
その他及び部位不明の上皮内癌	58	45	55
膀胱の悪性新生物	55	44	77
前立腺肥大(症)	48	33	19
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	27	19	22
腎盂を除く腎の悪性新生物	25	28	32
腎結石及び尿管結石	20	15	17
前立腺の炎症性疾患	14	13	12
尿管の悪性新生物	13	11	8
急性尿細管間質性腎炎	13	8	8
そ の 他	75	93	158

### (2) 手術実績 (件)

<麻酔別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	335	315	325
全 身	53	81	83
脊 椎	258	220	212
局 麻	18	6	26
無 麻 酔	6	8	4

<疾患・術式別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 計	335	315	325
前立腺の悪性新生物	78	88	61
その他及び部位不明の上皮内癌	57	45	55
前立腺肥大(症)	47	32	19
膀胱の悪性新生物	41	37	45
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	25	19	21
腎盂を除く腎の悪性新生物	13	19	18
腎結石及び尿管結石	13	8	11
前立腺の炎症性疾患	9	12	2
膀 胱 炎	8	1	2
尿管の悪性新生物	7	5	4
そ の 他	37	49	87

## 2020年度の評価

診療スタッフ3名にて診療を行い入院・外来・手術件数とも前年より増加した。

## 2021年度スタッフ構成

### 泌尿器科部長

佐々木 芳 浩

- ・日本泌尿器科学会 専門医 指導医
- ・日本泌尿器科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

大 石 悠一郎

- ・日本泌尿器科学会 専門医 指導医

### 泌尿器科医師

川 代 啓 太

山 本 祥 太

村 西 雄 貴（4か月交代）

## 主な対象疾患

- ・腎細胞癌
- ・腎盂尿管癌
- ・膀胱癌
- ・前立腺癌
- ・精巣癌
- ・副腎腫瘍
- ・後腹膜腫瘍
- ・前立腺肥大症
- ・神経因性膀胱
- ・過活動膀胱
- ・腎不全（腎前性・腎性・腎後性）
- ・尿路感染症
- ・先天性尿路・性器疾患

## 特 色

泌尿器科疾患全般に対応することはもちろんであるが、がん診療連携拠点病院として、腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣癌に対する診断、治療、フォローアップに重点を置いている。腎癌、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡手術を標準術式として早期腎癌に対しては部分切除による腎温存術を行っている。膀胱癌に対しては経尿道の手術、膀胱全摘術と尿路変更（回腸導管、代用膀胱）、前立腺癌に対してはQOLも考慮した前立腺全摘除術を行っている。進行癌や再発・転移癌に対しては、分子標的治療薬や化学療法、放射線治療も患者の状態を十分考慮した上で積極的に施行している。各種癌に対する治療成績に関しても標準的治療が行えていることを検証・発表することを重要視している。

## 臨床研修医教育内容

日本泌尿器科学会認定教育施設である。研修医は腎・尿路疾患のプライマリー・ケアができるように、疾患の診断・標準的な治療・基本的な処置についての知識を習得するため、入院患者を中心に泌尿器科疾患全般に触れ、代表的な疾患に関しては自分自身の力で、複雑な疾患については指導医と相談しながら的確に対応できる能力を取得することを目標とする。また、手術に参加することはもちろん小手術の執刀を経験することも出来る。可能であれば地方学会等での症例報告も行うことが出来る。

## 眼科

副部長 藤戸達彦

## 2021年度の目標及び方針

今年度は医師の異動無く、一人体制が継続予定です。外来人員の拡充がされ、外来検査数等の増加を見込んでいます。昨年度は受診控えの傾向があり、病状が悪化した状態で受診をする患者の増加が想定され、視力予後の改善を目標に早期に対応していきます。外来・入院の患者数が2019年度並みに増加してきており、業務量も増加するため、安全面・情報連携に一層の注意を払い診療を行っていきます。

## 2021年度の重点項目

- 新規の手術機材の導入。
- 時間外紹介にも常時対応可能な体制を維持する。
- 患者背景に応じた治療方針を選択していく。

## 2020年度診療実績

## (1) 入院患者疾患分類集計 (人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	116	182	177
老人性白内障	102	174	169
結膜のその他の障害	5	3	1
その他の白内障	2	1	1
眼球及び眼窩の損傷	1	0	2
角膜膜炎	1	0	1
ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症	1	0	0
眼窩の障害	1	0	0
骨髄性白血病	1	0	0
緑内障	1	0	0
他に分類される疾患における涙器及び眼窩の障害	1	0	0
視神経炎	0	2	0
網膜血管閉塞症	0	1	1
眼球の障害	0	1	0
他に分類される疾患における白内障及び水晶体のその他の障害	0	0	1
眼球及び眼窩組織の挫傷	0	0	1

## (2) 手術実績 (件)

<麻酔別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	194	311	276
局麻	194	311	276

<疾患・術式別>	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	196	311	276
老人性白内障	185	306	274
結膜のその他の障害	5	3	1
その他の白内障	4	1	1
眼球の障害	1	1	0
その他	1	0	0

## 2020年度の評価

新型コロナウイルスの流行の影響で患者数・手術患者数共に前年より減少しました。外来受診数が少なく手空きとなる時期も出た一方で、外来スタッフの休業、入れ替わりなどあり、人員不足となった時期があり、一時診療制限など行わざるを得ませんでした。年度末頃からは体制が整いはじめ、ある程度例年並みの外来体制へと戻りつつあります。

## 2020年度スタッフ構成

## 眼科副部長

藤戸達彦

## 主な対象疾患

## 眼科一般

白内障・翼状片などについては手術対応

## 特色

診療担当医師は1名であるため治療できる範囲には限界あるのが現状ですが、眼窩疾患全般について診療を行い、当科で対応可能なものかどうか鑑別し治療に遅れが生じないよう心がけております。糖尿病に代表される他科疾患と関連した眼病変について、近医・当院他科との連携を細かく行い診療を進めています。

また釧路赤十字病院と市立釧路総合病院のそれぞれの眼科と連携を図ることで、多くの症例において釧路市内で治療の完結が可能となっています。

## 臨床研修教育内容

眼科全般について一般的な知識を学ぶのには十分な症例があり、研修期間中に眼科救急疾患の初療対応・一般的な外来診察手技の習得を目指します。手術は直接術野に入る助手としての研修が主体ですが、手術手技の導入としてWet Laboも可能です。

## 2021年度の目標及び方針

札幌・旭川・函館を除く北海道の地方都市の耳鼻咽喉科勤務医は減少する一方である。釧根地区も例外ではない。釧根地区人口はおよそ30万人であるが、勤務医のいる病院はついに当院と市立釧路総合病院のわずか2か所のみとなった。管内には釧路赤十字病院、市立根室病院、町立別悔病院、町立中標津病院が耳鼻咽喉科を開設しているが、1～2週に数日間だけ大学からの出張でまかなわれている。

出張医は喉頭浮腫・扁桃周囲膿瘍・深頸部膿瘍・重症鼻出血などの緊急処置を必要とする患者や入院手術を必要とする患者に対応することができない。したがって常勤医のいる病院に紹介するしかない。さらに、また悪性腫瘍など積極的な治療や経過観察が必要な場合、釧根地区は札幌・旭川などの大都市圏と遠く離れているため、同地への紹介や通院を希望せず、当院で治療を完結させたいという患者も多い。そのような点から当院はいわば釧根地区の最後のとりでの一つといってもいいような病院である。そのため今後も可能な限り現在の体制を維持して住民の期待にこたえられるようにしていきたい。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 地域医療との連携

地域医療機関からの診療依頼は可能な限り引き受ける。ベッドが満床の場合やむなく入院依頼をお断りすることもあるが、できる限り地域医療機関の期待にこたえられるようにしていきたい。

### 2. 救急疾患に対する診療体制を維持する

釧根地区で救急医を常勤させ本格的に救急対応できる病院はほとんどない。当科は気道を扱う科なので、当然気道閉塞の危険がある救急疾患も数多い。それだけ緊急性のある疾患も多いわけである。当科もマンパワー的に厳しい状況ではあるが、今後も救急疾患に対応できる体制を維持していきたいと考えている。

### 3. 耳疾患から頭頸部腫瘍に至る幅広い疾患への対応

耳鼻咽喉科疾患は、耳疾患のようなかなり小さな視野から頭頸部腫瘍といった比較的大きな術野まで多岐にわたり、まれな疾患もある。医療が進歩するにしたがって施設の医療体制、医療機器などをすべてアップデートし続けるのは困難になってきているのは事実であるが、その中でできる限り幅広く種々の疾患に対応していきたい。

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計

(人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計	454	481	509
前庭機能障害	102	53	90
扁桃周囲膿瘍	47	43	24
その他の難聴	29	35	19
慢性副鼻腔炎	26	47	29
睡眠障害	26	21	30
顔面神経障害	17	14	20
気道からの出血	16	16	22
扁桃及びアデノイドの慢性疾患	12	19	26
甲状腺の悪性新生物	11	18	19
大唾液腺の良性新生物	11	16	6
その他	157	199	224

### (2) 手術実績

(件)

<麻酔別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計		167	222	222
全麻		161	210	208
局麻		6	12	14
<疾患・術式別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総計		167	222	222
慢性副鼻腔炎		25	46	29
扁桃及びアデノイドの慢性疾患		12	19	26
大唾液腺の良性新生物		11	16	6
甲状腺の悪性新生物		11	13	17
唾液腺疾患		8	5	7
びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫		7	16	7
梨状陥凹<洞>の悪性新生物		7	3	6
甲状腺の良性新生物		6	9	6
喉頭の悪性新生物		6	4	10
リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物		6	2	6
その他		68	89	102

## 2020年の評価

2019年4月から形成外科常勤医が不在となった。遊離皮弁、神経再建を必要とする頭頸部腫瘍の手術ができなくなり、そのような患者さんは引き続き市立釧路総合病院に紹介している。形成外科の常勤医が復活するまではこの状態が続く見込みである。さらに2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の流行の影響が引き続き遷延しており受診をためらっている患者がまだ多いと考えられる。また手術患者については、これまで通り術前2週間の自宅待機を患者さんをお願いしており、社会的に手術が不可能で延期になっている患者も多い。ワクチン接種が開始され、感染防御の手順が慣習化してきているせいか、外来患者数・入院患者数・手術件数に関してはひとところより少しずつ改善しているが、流行前の程度には程遠い感がある。これからのコロナ対策及びその効果に期待したい。

## 2021年度スタッフ構成

### 耳鼻咽喉科部長

石井 秀 幸

- ・日本耳鼻咽喉科学会 専門医
- ・日本耳鼻咽喉科学会 補聴器相談医

### 医師

小 口 亜莉沙

北 南 和 彦

- ・日本耳鼻咽喉科学会 専門医
- ・日本医師会 認定産業医

## 主な対象疾患

メニエール病、良性発作性頭位めまい症、突発性難聴、末梢性顔面神経麻痺（ベル麻痺、ハント症候群）、急性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、肥厚性鼻炎、副鼻腔炎、鼻出血、シェーグレン症候群、睡眠時無呼吸症候群、扁桃周囲膿瘍、扁桃病巣疾患、声帯ポリープ、喉頭麻痺、音声・照下障害、甲状腺腫瘍、副甲状腺腫瘍、顎下腺腫瘍、耳下腺腫瘍、上顎癌、咽頭癌、喉頭癌、その他の頭頸部腫瘍など。

## 特 色

耳垢栓塞から頭頸部癌まできわめて多岐にわたる疾患を扱っている。地域医療の状況から特殊なものではない限り何でも扱わざるを得ないのであり、裏を返せば特色のある診療を打ち出せない状況にある。その中で、睡眠時無呼吸外来は釧路地区では当院だけが行っている専門外来である。

## 臨床研修医教育内容

耳鼻咽喉科臨床研修医が扱うべき疾患群はすでに日本耳鼻咽喉科学会から基準が示されている。疾患群の数は多く、またその中には市中病院で扱うにかなり特殊なものまで含まれており、地方病院である当科では残念ながらすべてを網羅することはできない。また2か月間という期間もそれを困難にしている。ただし、そこでの診療は大学病院とは違い、患者との距離がとて近いかを実感できると思う。また指導医との距離感も近いと思われる。このような環境の中で、1例1例を大事に検討ができるであろう。当院当科の実習を通して実臨床という軸のほかに、地域という軸も組み合わせられるようになり、そこから得られる様々な相違点を考え、未熟ながらも自分なりの治療方針を導き出せるよう頑張ってもらおうつもりである。

## 2021年度の目標と方針

放射線画像診断及び放射線治療を柱として各科のニーズに対応している。

今後の新しい診断機器や診断技術、治療技術にも迅速に対応できるよう心掛けたい。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 専門医修練機関の認定

今年度から放射線科専門医修練機関全部門の認定が承認された。これにより放射線科研修医の受入が可能となり、放射線科医の増員がなされれば業務の充実と拡大につながる。

### 2. CT増設に伴う検査体制、読影体制の整備

今年4月に2台目のCTが増設された。

検査件数、読影件数の増加が見込まれるが、可能な範囲内で対応したい。

### 3. 体幹部定位放射線治療の実施

転移性脳腫瘍に対しては年間10例程度の定位放射線治療を実施している。

体幹部（転移性肺腫瘍）に関しては、検証機器がないので所定の点数が取れない状態である。しかし、症例を積み重ね、年間10例程度は施行したい。

### 4. 「放射線ワーキンググループ」の設置

院内の他職種（特に看護師）にとって放射線治療は身近ではなく知識不足の傾向がある。

放射線治療の看護の均てん化を目的に、「放射線安全運営委員会」の下部組織として「放射線治療ワーキング」を設置し運営を開始している。

## 2020年度の評価

### ・画像診断部門

2台の新式MRI装置での検査体制となり、全依頼検査が最新式撮像法で可能となった。昨年と比べて新たな撮像方法もいくつか加わり、画像診断に寄与するものとなった。

### ・治療部門

放射線治療については、院外、特に釧路赤十字病院や釧路協立病院からの紹介患者が増加傾向にある。より一層の宣伝及び普及に努めたい。

## 2020年度スタッフ構成

### 放射線科部長

梶山政義

・日本医学放射線学会 放射線診断専門医

米坂祥朗

・日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医

・日本医学放射線学会 放射線治療専門医

・日本医学放射線学会 放射線科専門医

永尾一彦

・日本核医学会 PET核医学認定医

・日本核医学会 核医学専門医

## 特色

当科は放射線画像診断及び放射線治療の双方に対応している。

CT・MRI及びRI検査は読影依頼のあるものに対して、画像診断報告書を作成している。脳、頭頸部、胸腹部、四肢など全身の検査の診断を行っているが、特に悪性腫瘍の精査やスクリーニング、変性疾患の診断が中心となる。

緊急検査は連絡を受ければ迅速に、それ以外の検査は当日～翌日中までに読影レポートを作成している。読影依頼のない検査でも、検査後に読影が必要となった症例に対しては、後日読影依頼が可能となっている。

放射線治療については、年間新患が250例程度、照射患者数が350例程度であり、当院規模の地域がん診療拠点病院としては、標準的である。

疾患的には偏りなく、広く全身の癌腫に対して照射している。

# 麻酔科

部長 小田俊昭

## ■ 2021年度の目標および方針

- 患者の安全を守る手術麻酔の実行

## ■ 2021年度の具体的な重点項目

1. 年間2,000件の全身麻酔
2. 麻酔科医として安全かつ円滑な手術室運用を目指す
3. 局所麻酔困難患者へのかかわり
4. 術前問診票の充実を図る

## ■ 2020年度の評価

常勤医1名応援医2名の計3名にて診療を行った。

全身麻酔件数は1,867件うち臨時手術は171件であった。

## ■ 2021年度スタッフ構成

麻酔科部長

小田俊昭

- 日本麻酔科学会 認定医

## 2021年度の目標および方針

当科は一般的な口腔外科疾患から、口腔がん、口腔顎顔面領域の外傷、重症炎症などの高次歯科医療診療を、院内および院外の各診療科と連携しつつ行っている。また、内科系および外科系診療各科と緊密に連携し、患者の口腔管理を担うことで各種がん治療を支える。このような高次歯科医療とがん支持療法の2本柱に緩和療法も加え、当科に求められる役割を果たしていくことが当科の目標および方針である。

当科は日本口腔外科学会認定施設であり、口腔外科の研修を希望する歯科医師への教育指導と人材育成も継続する。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 地域医療との連携

紹介および逆紹介を基本に釧根地区の歯科医院、病院、医院との密に連携した診療を行う。地域医療における医科と歯科の橋渡し役を積極的に担う。

### 2. 釧路赤十字病院歯科口腔外科および市立釧路総合病院歯科口腔外科・耳鼻咽喉科との連携

口腔外科的な疾患において、可能な限り地域完結型の診療を目指す。釧路根室3次医療圏内の3つの病院歯科口腔外科が連携して地域医療に貢献できる体制作りをさらに進める。現在すでに行われている3病院間での症例検討会などに加え、NR（日赤・労災）構想に基づく釧路赤十字病院との手術応援体制をさらに充実させる。進行口腔癌については、市立釧路総合病院耳鼻咽喉科と連携し、医療圏内で完結させる体制を構築した。

### 3. 薬剤関連顎骨壊死の診断・治療・臨床研究

医科・歯科で共に問題となっている薬剤関連顎骨壊死に対し、北海道の多施設共同研究の中心となっている知識と経験を生かし、予防や治療、さらに新しい診断技術などの開発を行う。

### 4. 周術期口腔機能管理

がん支持療法科としての機能を強化し、院内他科からの要望への迅速対応を継続する。

### 5. 臨床研究活動

道内外の口腔外科施設との共同研究の参加、学会発表を積極的に行う。

### 6. 若手歯科医師の指導体制の強化

外来、病棟、手術室すべてにおいて、若手歯科医師に広く手厚い教育環境を与え、知識と技術の段階的習得をはかる。

## 7. 院内活動の強化

病院内での様々な部署と連携し（NST、緩和、院内感染対策、口腔ケアなど）、所属歯科医師とスタッフ全員が病院内での活動に積極的に参加する。

## 2020年度診療実績

### (1) 入院患者疾患分類集計

(人)

		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総	計	649	583	636
埋伏歯		287	270	263
歯及び歯周組織の疾患		225	226	280
悪性新生物		11	15	27
頭蓋骨及び顔面骨の骨折		7	6	7
良性新生物		6	7	8
唾液腺疾患		4	2	2
その他		109	57	49

### (2) 手術実績

(件)

<麻酔別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総	計	480	478	556
全身麻酔		268	293	257
静脈麻酔		118	105	185
局麻(入院下)		94	79	114
なし		0	1	0
<疾患・術式別>		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総	計	480	478	556
埋伏歯		254	269	262
歯及び歯周組織の疾患		145	136	220
良性新生物		7	7	8
頭蓋骨及び顔面骨の骨折		6	9	6
唾液腺疾患		4	1	2
悪性新生物		2	9	27
その他		62	47	31

## 2020年度の評価

2020年度は藤盛、角の勤務交代はなかったものの、4月に藤井が異動し、渡邊が着任して歯科医師4名体制が維持された。6月からは岩見が着任して一時5名体制になったが、10月に北川が異動して再び4名体制となった。

前年度と同様に、近隣の歯科医院を中心とした医療機関からの紹介患者と、周術期口腔機能管理を主とする院内紹介患者がほとんどを占めた。2020年2月中旬

から続く新型コロナウイルス感染症の影響から、2020年4月～9月の外来患者および入院患者が大きく減少し、初診患者は前年度比164名の減の2,365名であった。

当院形成外科常勤医が不在となったため、合同で実施する進行口腔癌の手術が不可となった。早期口腔癌および切除不能癌の治療は当院で継続しているが、手術可能な進行口腔癌の治療は市立病院耳鼻咽喉科との連携により実施している。薬剤関連顎骨壊死患者の治療は積極的に行なっており、治療から臨床研究までを一貫して実施する施設として他施設からの認識が定着してきたと考える。

院内他科と連携して手術やがん治療前後の口腔の管理を実施し、がん治療中や治療前後の合併症の抑制が期待できる「周術期口腔機能管理」が院内で完全に定着した。2020年4月からは歯科衛生士が増員されて3名となり、さらに周術期口腔機能管理への対応が可能な体制となった。

このような外来および入院診療、手術の待機期間を短縮、周術期口腔機能管理の充実を円滑にすすめるため、歯科医師4名および歯科衛生士3名体制の維持が望まれる。

## ■ 2020年度スタッフ構成

### 歯科口腔外科部長

藤 盛 真 樹

- 日本口腔外科学会専門医
- 日本口腔科学会認定医
- 日本救急医学会ICLSコース 認定インストラクター

角 伸 博

- 日本口腔外科学会認定医

### 歯科口腔外科医師

渡 邊 泰 崇

岩 見 永倫香

- 日本口腔外科学会認定医

## ■ 主な対象疾患および特色

### 口腔顎顔面領域の

- 悪性腫瘍ならびに良性腫瘍
- 炎症
- 薬剤関連顎骨壊死
- 外傷
- 嚢胞性疾患

- 粘膜疾患
- 唾液腺疾患
- 顎関節疾患
- 埋伏歯など歯の疾患
- 歯の移植および再植術
- がん支持療法としての歯科疾患全般
- がん緩和療法としての歯科疾患全般

## ■ 特 色

口腔外科疾患全般を治療対象としているが、顎顔面領域の悪性腫瘍は、市立釧路総合病院耳鼻咽喉科および形成外科、北大形成外科とのチームアプローチによって治療を行う。がん診療連携拠点病院内の歯科口腔外科として、口腔領域のがん支持療法および緩和医療の一翼を担う。

## ■ 臨床研修医教育内容

院内各科をローテートしている臨床研修医に対して、主診療科の指導医とともに、症例を通して歯科口腔外科的疾患に対する教育と研修のサポートを行う。

### 2021年度の目標及び方針

疾病の早期発見と生活習慣病の改善により、受診者の健康の保持増進及び満足度の向上を図ることを目標としている。

### 2021年度の具体的な重点事項

病院最上階の絶景の場所に診察室を設置しており、受診される方々も広々と美しい景気と街を楽しんでくださって、気持ちよく受診していただくことと様々なメリットがあると思われまます。未だ、コロナ禍において健診控えがありますが、可能な限りニーズに応えるべき体制を整備してまいります。

### 2020年度実績

内 訳 (件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般健診	1,253	1,361	1,234	1,472
特定健診	410	410	418	365
特定保健指導	70	23	28	21
日帰り人間ドック	534	483	504	484
特殊健診	398	336	500	255
合計	2,674	2,621	2,621	2,560

### 2020年度の評価

コロナ禍において年度前半は受検控えにより実施者数が減少したが、後半、実施スケジュールを変更など実施希望者の要望に応え、概ね前年度実績まで回復した。

### 2020年度スタッフ構成

健康診断部長

辻本和代

看護師

田中郁子

### 特 色

当院の健康診断部は、人間ドックをはじめとして、特殊健康診断などの様々なコースを実施しております。

人間ドックと脳ドックの併用健診や、多数のオプションを設け、様々なニーズに対応しております。

また、月1回土曜日限定の脳ドックを実施、勤労者が健診を受けやすい環境も整備しております。

なお、人間ドックでは、専門のコンシェルジュが帯同し、初めから終わりまで安心して検査を受けて頂ける体制を整えております。

# 病理診断科

部長 岡田宏美

## 2021年度の目標及び方針

治療方針の決定に役立つよう正確で迅速な病理診断の提供に努める。Turnaround time (TAT) を短縮し、また、最新の知見を導入するため、引き続き関係大学との連携を行っていく。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 病理医応援体制の継続

以前より北大病理学教室とその関連施設（札幌厚生病院病理および旭川医大病院病理部）から病理医の派遣を得ているが、引き続き毎週の出張応援を確保していく。また、剖検についても原則として大学講座等に要請、依頼する。

### 2. 大学病理学教室への診断委託の継続

引き続き生検標本等の一部を大学に発送し、病理診断への協力を要請する。

### 3. 診療科医師の学術活動などへの支援

例年各科から学会発表や医学雑誌投稿等に際し、症例の病理写真撮影や説明を依頼されており、今年度も引き続き要望に沿って応えていきたい。

## 2020年度実績

- |            |        |
|------------|--------|
| 1. 病理組織診   | 4,287件 |
| うち術中迅速診    | 120件   |
| 2. 細胞診     | 1,657件 |
| 3. 病理解剖    | 3体     |
| 4. 臨床病理検討会 | 1症例    |
- 「多発骨転移、リンパ節転移、肝転移をきたした原発不明癌の一例」

## 2020年度の評価

- 常勤医として病理医1名が赴任し、慣れない状況ではあったが、大学病理学教室とその関連施設（札幌厚生病院病理および旭川医大病院病理部）、病理部門をはじめとする中央検査部諸氏の協力を得て、円滑に診断業務を行うことができた。
- 血液腫瘍、原発不明癌の原発巣推定等に有用な免疫染色用抗体を新規に導入し、より詳細な検討を行うことができた。
- 難解症例については関連施設や病理学会を通じたコンサルテーションを積極的に行い、診断の質を担保することができた。

## 2020年度スタッフ構成

### 病理診断科部長

岡田宏美

- 日本病理学会 病理専門医
- 日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- 日本病理学会 分子病理専門医（暫定）
- 日本病理学会 病理専門医 研修指導医
- 死体解剖資格

## 特色

病理組織診断、細胞診、病理解剖を中心として日々の業務に当たっていることは一般的な他施設病理部門と同様と思われる。その中で当部門としては臨床各科へのサービス（診療・学術・教育支援等）に特に意を用いることを心掛けている。具体的な例として下記を挙げておく。

- 術中迅速診断への常時対応  
予約の有無に拘らず必要の際は常時対応している。
- エコー下細胞診の出張対応  
細胞採取時に外来などに臨床検査技師が直接出向き、標本作成、迅速細胞診断に当たっている。
- 症例検討・相談への対応  
病理室内に多人数用顕微鏡、画像投影用の大型モニター、顕微鏡写真撮影装置などを配しており、担当医等がいつでも利用可能である。また、要請があれば病理医、細胞検査士は説明や相談に応じている。

## 臨床研修医教育内容

2020年度は初期研修医のローテートはなかったが、初期研修医による学会発表用症例の鏡検指導、発表準備協力を行った。希望があれば研修医として担当した患者の病理標本の鏡検指導、臓器切出し時の立会いなど随時対応可能。後期研修医も大学等と連携し受け入れ可能である。

## 2021年度の目標及び方針

栄養管理室では患者への食事の提供、入院時に栄養管理計画書の作成による栄養評価、栄養相談による患者や家族への適切な栄養管理法の情報提供、NST活動、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム等のチーム医療への参加による適切な栄養管理支援を行う役割がある。

栄養指導件数を増加させることにより患者の療養支援を行い、病院の収益にも寄与することへ繋がる。チーム医療において、管理栄養士としての役割を果たすため、また、効果的な栄養指導を実施するために管理栄養士の栄養管理に関する技術の向上も必要と考える。

そのために提供する食事の内容について、定期的な検討会を実施し、入院中の患者のQOL向上へ繋がるよう取り組みを行う。

患者の円滑な入退院の支援を行なうこと、また在宅での栄養管理が地域として今後取り組むべき課題であるため地域連携も重要な課題であり、栄養士会の活動及び今年度発足されるCKDネットワーク、栄養士会釧根支部の摂食嚥下研究会への参加により院外の同職種、他職種との共同で地域住民の患者の健康管理の向上に関する取り組みに参画していく。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 栄養指導件数の維持

昨年度外来個別指導においては内科、泌尿器科外来待合においてポスターの掲示を行ったこと、内科医師へ栄養指導増加への協力依頼を行ったことにより一昨年度と比し3.3%の件数増加となった。引き続き、栄養指導件数の増加を目標とする。管理栄養士の院内外の研修参加をサポートし給食管理、栄養指導、チーム医療への参画と段階を経て入院・外来患者の栄養管理を行っていきけるよう栄養管理に関する知識の習得へ繋げていく。

### 2. 栄養管理業務の推進

NST介入患者の増加、及びNST回診の円滑な運用を検討し、栄養サポートチーム加算増を目指す。今年度実施される電子カルテ、給食システムの更新により栄養管理業がより円滑に行われるよう、仕様及び運用の検討を行っていく。

### 3. 緩和ケア医療への参画

当院では2019年10月より緩和ケア診療加算の算定を開始し、併せて個別栄養食事管理加算の算定を行っている。算定件数の維持、緩和ケア病棟設立へ向けた準備等を行い、当院の緩和医療の充実へ寄与で

きるよう、業務改善の検討、人員の確保等に努力していく。

また、今年度末に開設予定である緩和ケア病棟において、患者様のQOLの維持、向上に寄与すべく食欲不振の患者様に提供する食事内容を検討する。

## 2020年度の評価

昨年度、外来個別指導においては内科、泌尿器科外来待合においてポスターの掲示を行ったこと、内科医師へ栄養指導増加への協力依頼を行ったことにより3.3%の件数増加となった。

地域連携に関しては栄養管理情報書の提供開始に向け運用を検討し運用を継続。転院患者の情報として394件/年、昨年度とほぼ同数の栄養管理情報書を作成した。

栄養サポートチーム加算は284件/年、緩和ケア個別栄養食事管理加算は7,235件/年算定した。

## 特色

給食管理・栄養管理・治療就労両立支援部活動を実施

### 給食管理

一般食、特別治療食を調理し個々の病態にあわせた食事を調理し提供しているほか、特別メニュー（選択できる食事）を一般食対象に週3日（水、木、金曜日の昼・夕食）に実施

### 栄養管理

栄養管理計画書の作成、栄養指導（個別、集団）の他、褥瘡回診、緩和ケアチーム、NSTに所属しチーム医療に参加。NSTは管理栄養士を専従とし、チームマネジメントを実施している。今年度から外来透析回診に参加し、外来透析患者の栄養管理を医師と共同で実施している。

### 治療就労両立支援部活動

出前講座として生活習慣病予防のための食事について講演を実施している。

# 中央リハビリテーション部

部長 石田 祥 雄

## 2021年度の目標及び方針

2019年は地域包括ケア病棟の開設、2020年は休日(土曜)リハを開始するなどリハビリの必要性が高まる中、2021年は緩和ケア病棟の開設が計画されているなど、リハビリ業務の範囲が更に拡がりつつあります。リハビリの内容も、これまでの急性期を中心とした対応に加え、退院後の生活を見据えADLやIADL能力の向上、復職に向けた支援や人的・物理的・社会的な環境の調整など、これまで以上に幅広い対応が求められるため、主治医や病棟スタッフ、退院調整看護師やMSW等との連携強化を図っていきます。

## 2021年度の重点目標

### 1. 地域包括ケア病棟におけるリハビリ

地域包括ケア病棟では急性期治療を終えた患者が在宅に戻ることを目的に、専従スタッフを中心となって在宅復帰に向けたリハビリサービスを提供しています。地域包括ケア病棟に入院する患者のリハビリは、施設基準上、少なくとも一人あたり平均で1時間程度行なう必要があり、リハビリ時間を短くすることはできません。より積極的なリハビリを行うために用意された病棟ということが言えます。

一方で地域包括ケア病棟に入院するリハビリ対象患者が多ければ、自ずとリハビリに関わるスタッフと時間を増やさざるを得なくなり、他病棟の患者に対するリハビリが十分行えない状況となります。主治医や病棟看護師、入退院支援、医事課等、各部署と連携しながら、地域包括ケア病棟と一般病棟でのリハビリがバランスよく行なわれるようにしていきたいと考えます。

### 2. がんのリハビリテーション

がんのリハビリテーションは2010年度の診療報酬改定で新設され、指定の講習会を医師・看護師・リハビリ技師がチームで受講することにより算定が認められるもので、当院では2012年から診療報酬請求を開始しました。医師・看護師の協力を得ながら計画的に講習会に参加し、今年度も4名のリハビリ技師が講習会を修了しています。開始当初は主に外科周術期の患者でしたが、現在は消化器がん、乳がん、血液がん、頭頸部や口腔領域のがんなど広がりを見せており、がん治療を行なっているほぼ全ての診療科からのリハビリ依頼を受けています。化学療法や放射線療法に伴う副作用に関する理解や適切な対応などリハビリ技師に求められることは多いため、リ

ハビリ部全体のスキルアップを図らなければなりません。

### 3. 緩和ケア

治療期の患者のみならず、緩和ケアの時期に移行している患者にも可能な限りADLやQOLを維持出来るような支援が求められます。今年度中には緩和ケア病棟が完成する予定であり、リハビリ技師の常駐なども視野にいれながら対応を検討しています。緩和ケア病棟に限らず、緩和ケアが必要な患者に適切に介入できるよう、部内では緩和ケアに関わる勉強会等を開催し、リハビリ技師の知識・技術の向上を目指しています。

### 4. 専門チームへの参加

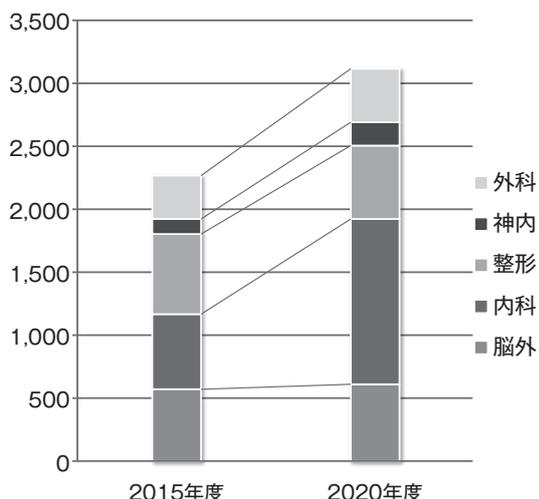
当院では緩和ケア、褥瘡対策、栄養サポート、認知症ケアなどの専門チームが活動していますが、その多くにリハビリ技師もメンバーとして参加し、専門職としての役割を果たすことが求められています。チームに所属しているスタッフを中心に、全スタッフが一定レベルの知識・技術を持てるよう研鑽していく必要があると考えています。

## 2020年度の評価

地域包括ケア病棟では全スタッフが協力し在宅に向けたリハビリを積極的に行っており、平均2単位も達成されています。専従スタッフを1名配置していますが、カンファレンスや転棟患者選定会議への参加、単位集計、関係部署への報告等、患者対応以外の業務が多く、他スタッフの協力が不可欠となっています。

毎年リハビリ処方数は増加傾向ですが、2020年度末には内科、特にがん患者の新規処方数が激増し、23名のスタッフでは十分対応できず、患者一人にかかる時間も短縮せざるを得ない状況でした。新規処方数が増えたのはリハビリの重要性が認識された結果であり、期待に応えるための努力が今まで以上に必要となります。また十分なりハビリを行うために必要なスタッフの確保は最重要課題であると考えます。

## リハビリ処方数



### ■ 特色

中央リハビリテーション部は令和3年7月現在、理学療法士13名、作業療法士6名、言語聴覚士3名の総勢22名が配置され日々の診療を行っています。

開院当初は運動器疾患や脳血管疾患を中心に診療を行ってきましたが、近年は内科系、外科系問わず幅広いニーズに対応しており、入院早期から介入することで心身機能の悪化を予防するとともに、主治医や看護師と密に連携しながら機能回復を支援しています。多くの病棟とは週1回カンファレンスを実施し、情報や目標の共有をはかり、より質の高いリハビリを安全に行えるように努力しています。

対象患者の高齢化に伴い複数の疾患と障害を持つ患者も多く、課題の多様化と複雑化が見られています。またリハビリ対象者の拡がりや医療の高度化等に伴い、スタッフに求められる知識や技術も高まっているため、スタッフ個々人のスキルアップはもちろん、中央リハビリテーション部全体として、各種疾患と障害への対応能力向上を目指しています。

### ■ 2020年度スタッフ構成

リハビリテーション科部長

津坂 和文

中央リハビリテーション部部長

門田 隆

主任理学療法士

猪野 勝 ・ 小柳 光明

田口 暢秀

理学療法士

推井 基陽 ・ 鈴木 輝未

小松 広樹 ・ 八幡 恒平

磯貝 美由紀 ・ 及川 一也

廣瀬 孝太 ・ 大道 駿太郎

中條 楓佳 ・ 矢部 達也

猫塚 龍之介

主任作業療法士

石田 さえ子 ・ 吉川 陽

作業療法士

加納 祥子 ・ 池田 美帆

百々 茜里 ・ 岩井 紗織

山田 毅

主任言語聴覚士

菅野 栄子

言語聴覚士

福井 あい ・ 平山 聖太

### ■ 主な対象疾患及

【内科】

・がん ・肺炎 ・感染症など

【整形外科】

・上下肢外傷 ・変形性関節症 ・脊椎疾患など

【脳神経外科】

・脳脊髄疾患 ・末梢神経疾患など

【外科】

・がん ・肺、肝、腸、胆道系疾患など

【神経内科】

・神経筋疾患 ・脳脊髄疾患など

【耳鼻咽喉科】

・がん ・顔面神経麻痺

【泌尿器科】

・がん

【歯科口腔外科】

・がん

# 中央放射線部

部長 河野 文一

## 2021年度の目標及び方針

中央放射線部は、放射線や磁場を用いた医療機器を使用して診断を行うための画像検査や、放射線を利用した治療を行う部門です。常に患者さんと接する部門ですので、患者さんに寄り添った医療が提供できるように努めております。また、医療放射線被ばくの標準化への取り組みや、放射線治療の精度管理においても患者さんの安全に努めております。

昨年3月に最新の80列CTスキャナーを増設する事ができ、2台体制での撮影が行えるようになりました。これにより待ち時間の発生が少なくなり、当日依頼の検査をスムーズに実施出来るようになった事と、1日当たりの行える検査件数が増えたことにより、予約期間の短縮も図れています。

このCT装置は最近いろいろな所に応用されているAI（人工知能）技術を画像処理に応用し、画質の向上、X線量の低減が図れるようになってきています。今後この技術を使用してより精度の高い画像を提供できるよう努めていきます。

今年度は特に新しい機器の導入は予定されていませんが、ここ数年で一新した医療機器を用いて、より良い画像を提供できるようにスタッフの知識向上を図っていく予定です。放射線治療部門においては、より精度の高い治療を行えるように、体幹部への定位放射線治療の取り組みを進め、日々精度管理や検証をおこない、実際の治療が行えるよう準備を進めていきます。

診療放射線技師におきましても近年は様々な認定資格制度があります。放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士、医学物理士、検診マンモグラフィ認定診療放射線技師、磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、救急撮影認定技師、医用画像情報専門技師など専門性を求められる資格があり、積極的に取得させていきたいと考えています。

最新の機器導入と、適切な技術をもって撮影、治療を行う事で、病院の中心的な役割を果たせるように努力いたします。

## 具体的な重点項目

1. 積極的な認定資格取得
2. 最新の技術を導入できるように、定期的な勉強会の開催
3. 計画的な機器更新準備
4. 最新の画像処理による、診療科への最適な画像の提供
5. 医療放射線被ばく低減の推進、及び患者様への被ばく説明の対応

## 2020年度の実績

一般撮影件数	35,890件
乳房撮影件数	2,068件
M R I 件数	8,795件
C T 件数	17,546件
歯科用 C T 件数	778件
核医学検査件数	586件
透視検査件数	2,625件
骨密度測定件数	1,611件
放射線治療患者数	296人

## 2020年度の評価

昨年度はコロナ禍の影響もあり、対面形式の勉強会、研修会がほとんど開催されませんでした。その代わりにインターネットを利用したTV会議形式の勉強会が数多く開催され、病院や自宅から容易に勉強会に参加できるようになり、各スタッフが最新の技術や、法令等を多数学ぶことができ知識の向上が図れました。

放射線治療部門においては、最新の治療計画装置が導入され、高精度な放射線治療を行うための高度な線量計算を今までよりはるかに短い時間で正確に処理できるようになり、従来の計画装置では出来なかった照射方法も可能となりました。

患者サービスや、医療安全面においては、近年MRI撮影可能な体内デバイスが増えてきた事に対応し、撮影可能なデバイスに対し最適な対応方法をマニュアル化して、スタッフが共通な理解の中撮影が行えるようにしました。

令和2年度の資格取得者は、がん拠点病院に必要とされる医学物理士1名、これにより当院の放射線治療部門では医師が作成した治療計画を2名の医学物理士が検証、最適化することによって、高精度な放射線治療が行える体制を整えています。

## ■ 2020年度スタッフ構成

受付 2名

診療放射線技師20名(男性技師17名、女性技師3名)

### 取得認定資格

放射線取扱主任者 4名

放射線治療専門技師 3名

放射線治療品質管理士 3名

医学物理士 2名

磁気共鳴専門技術者 2名

X線CT認定技師 3名

画像等手術支援認定診療放射線技師 1名

検診マンモグラフィ認定診療放射線技師 2名

医療情報技師 2名

医療画像情報専門技師 1名

## ■ 主な機器構成

- 一般撮影(デジタル撮影装置) 4室
- 骨密度測定 1室
- 歯科パノラマ(歯科CT付) 1室
- 乳腺撮影装置(トモシンセシス付) 1室
- デジタル透視 2室
- 64列CT 1室
- 80列CT 1室
- MRI(1.5T) 2室
- 核医学検査用ガンマカメラ 1室
- アンギオ室 1室
- リニアック 1室
- 治療計画用CTシミュレータ 1室
- デジタル画像処理一体型ポータブル撮影装置 2台
- 移動型外科用イメージ 4台

# 中央検査部

部長 遊 佐 純 教

## 2021年度の目標及び方針

中央検査部では、勤労者医療の充実・勤労者の安全向上、病気・怪我からの早期の社会復帰に貢献するため、迅速・精密・正確な検査結果提供は使命である。これを継続するため、今年度はサポートエンドの尿定性検査装置と尿沈渣の自動分析装置、大型超音波診断装置の導入が不可欠となる。

医師の時間外労働低減のタスクシフト・タスクシェアリングの研修プログラムが日本臨床衛生検査技師会により今年度から開始される。研修は臨床検査技師全員がWeb中心であるが1,060分の研修を受けなければいけない（実技研修260分含む）。速やかに全員が取得できるよう取り組んでいきたい。

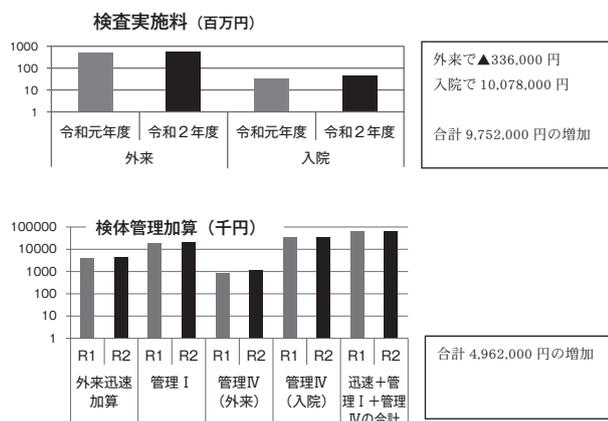
コロナワクチン接種が順調にかつ円滑に行われている。今後も各部署と協力して継続していく。

学生実習を今年度より開始する。スタッフの学習機会の増加や意識改革に繋がって欲しい。また、実習指導検査技師資格の取得者が一名以上必要なので複数名の取得を目指す。

## 2021年度の具体的な重点項目

1. 内科腹部超音波検査数の増加（内科Drへのアピール↑）
2. 糖尿病患者への末梢神経障害検査（神経伝導検査）の増加（内科Drへのアピール↑）
3. サポートエンドとなる超音波診断装置1台の更新
4. 目視作業でおこなっている尿沈渣（100件/日、令和2年度25,000件）を自動化へ移行（中央採血室への技師投入のためにも）
5. 8月から開始となる2交代制勤務への取り組み
6. タスクシフト（8業務）研修の受講を速やかに行う

## 2020年度 検査実施料・検体管理加算(対2019年度)

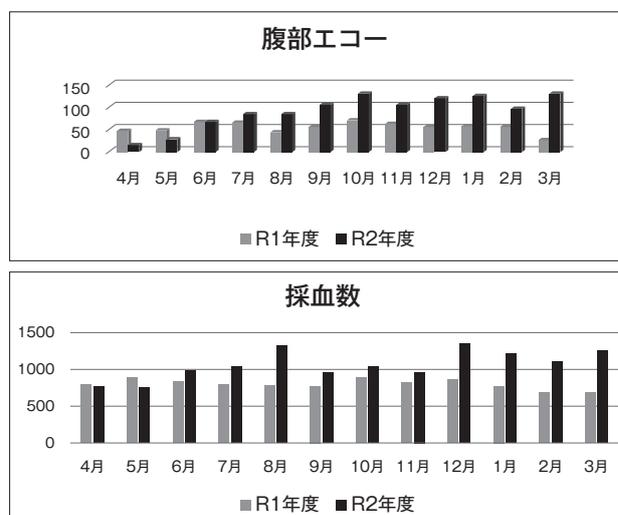


他に外注検査分では約1400万円、検査判断料では約440万円の増収となった。

## 2020年度の評価

### 1. 働き方改革に伴う検査件数と採血数の増加

働き方改革に伴う医師、看護師のタスクシフティングに向け、超音波（腹部）の対応技師の育成、採血室の検査技師の常時配置に向けた採血技師の育成を重点的に実施した結果、対応技師の増加につながり件数の増加が認められた。今年度は益々の増加を期待する。



### 2. 検査機器購入

小型超音波診断装置の更新により小回りが利きポータブル検査でも高画質での報告が出来るようになった。細菌同定検査では質量分析装置により菌名報告が半日早くなった。

COVID-19抗原定量検査を開始した。当初は偽陽性報告が数件あったがカットオフ値の見直しや偽陽性検体の再検方法を変更し順調に稼動している。PCR検査の導入予定はしていない。

### 3. 令和2度中央検査部内勉強会

例年どおり毎月1回開催され、検査部スタッフは各自でテーマを決めて発表し日々の業務に活用している。同時に、リスクマネージャーによるインシデント事例検討会も行われ、原因究明、改善策など活発な意見交換を行っている。

### 4. 内部精度管理について、生化学、血液、血液ガスは許容範囲内で良好な結果だった。

外部精度管理は

- ①日臨技精度管理調査は、98.7%（100.0%中）と良好であった。

②日本医師会臨床検査精度管理調査は、94.2点  
(100点満点中)と良好であった。

## 2020年度スタッフ構成

### 中央検査科部長

永尾 一彦

### 中央検査部（臨床検査技師）部長

遊佐 純教

### 中央検査部主任

久末 浩樹 小笠原 由佳

及川 比佐子 石橋 芳昭

中村 明代

### 中央検査部

下重 龍也 下重 浩美

伊藤 あゆみ 多田 憲司

風穴 澄香 鈴木 勝俊

小竹 美智子 今野 里南

大門 直美 高島 麻衣

橋場 友希乃 上坂 美月

森田 愛華

斎藤 隆二（再雇用）

根本 珠恵（再雇用）

### 中央検査部（事務等補助員）

佐藤 小百合

## 認定資格

### 中央検査部

- 精度保証認証施設（日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査標準協議会）

### 個人

- 日本糖尿病療養指導士
- 超音波検査士（健診、循環器、消化器、泌尿器、体表臓器、血管部門）
- 第二種ME技術検定合格者
- 細胞検査士（国際、国内）
- 特定化学物質 四ア鉛等作業主任者
- 有機溶剤作業主任者
- 血管診療技師
- 心電図認定技師
- 日本臨床神経生理学会認定技術師（脳波分野）
- 日本臨床神経生理学会認定技術師（筋電図、神経伝導分野）
- 日本臨床神経生理学会認定技術師（術中脳脊髄モニタリング分野）

## 2021年度の目標及び方針

部の理念として「臨床工学技士として、知識・技能の研鑽および資質の向上、生命維持管理装置をはじめとする医療機器の信頼性の向上に努め、患者様の安全に寄与することを目的とする」を掲げています。

基本方針としては以下の3つです。

1. 専門技術集団として、患者様へ質の高い医療サービスを提供するために、医師・看護師・他医療従事者と共に知識・技術・労力の向上に努めます。
2. 臨床工学技士の資格を活かす業務展開を基本とし、状況を把握し臨機応変に業務貢献します。
3. 常に問題提起し部内で議論を行い、賛同を得た上で決定事項には全員が従い業務を遂行します。

上記方針のもと、以下を目標として掲げています。

- ①自らの業務、職種に誇りが持てる臨床工学技士集団になる。
- ②医療機器管理を通じて、病院の経営に貢献する。
- ③個人の能力が各現場で発揮されるよう、満足度の高いチームにする。
- ④いかなる状況においてもチームワークを以て解決できる集団になる。
- ⑤他施設、他部門に対して積極的に交流を図り、視野の広い技士を目指す。
- ⑥臨床工学技士の地位・資質向上に努め、各分野において先駆的役割を果たす。

## 2021年度の具体的な重点項目

「医療機器管理センター」は、院内の医療機器の総合窓口の役割を担う立場として、今後も医療機器を使用するすべての現場に対応できるよう体制を整えます。臨床工学技士の業務内容として「臨床技術提供」にウェイトがあるため、部内スタッフ同士の情報共有に重点をおき、日々の診療の補助および治療手技に支障をきたさぬよう努めます。「これしかできない」という技士ではなく、呼吸・循環・代謝およびそれに付随する業務すべてにおいて、スタッフ同士が円滑にサポートできる職場環境を構築します。タスク・シフティングに伴う法改正による業務展開を視野に、臨床へ必要な知識・技術の習得のために各種認定技士の取得を目指します。

### ◎医療機器管理業務

- ・医療機器管理センター（MEセンター）における院内医療機器の管理

### ◎臨床業務

#### ①血液浄化センター

HD/HDF/IHDF/OHDFの操作および管理  
シャント管理（超音波画像診断装置の操作）

#### ②高気圧酸素治療室

治療装置の操作および管理

#### ③病棟ラウンド

人工呼吸器/医用テレメータ/AED/除細動器/  
ペースメーカー関連

#### ④消化器内視鏡センター

検査・処置介助および材料管理

#### ⑤中央手術室

腹腔鏡手術および白内障手術に伴う装置介助

#### ⑥アフエレーシス業務

血漿交換/血漿吸着/血液吸着/CHDF/CART/  
PBSC 等

各診療科、各業務におけるマニュアルの再整備を行い効率よく職務に全うできる体制づくりを強化します。機器管理においては、トレーサビリティの実践により、機器にかかる時間コストおよび修理コストの軽減を図れるようにします。

院内の医療機器に関する総合窓口としての立場を関係各所に理解してもらい、無駄なコストを抑える体制を強化できるよう努めてまいります。

## 2020年度の実績（臨床工学技士独占業務のみ抜粋）

・高気圧酸素治療法	250件
・血液浄化	
1) 人工透析	5,575件
2) CART（腹水濾過濃縮再静注法）	92件
3) PE（血漿交換）	41件
4) PBSC（末梢血幹細胞採取）	21件
5) GCAP（顆粒球除去療法）	39件
6) CHDF（持続的血液濾過透析）	13件
・MEセンター	
1) 貸出	3,452件
2) 返却	3,692件
3) 点検	25,342件
4) 修理	778件
5) 人工呼吸器使用中点検	1,241件
6) AED使用後解析	20件

## 2020年度の評価

年々、臨床業務の割合が増えてきています。スタッフの業務調整や部門毎の専属スタッフを置く等の対応をとりました。関係各所との情報共有および一人ひとりの業務へのモチベーションの意識改革を行うため、部内勉強会を定例化しました。昨年度の重点項目に掲げた認定取得者はいませんでした。

医療機器管理による病院への貢献として、トラブルを未然に防ぐべく始業点検等の確実な実施および迅速な対応ができるさらなる体制の強化が必要と思います。

## 2021年度スタッフ構成

### 部長

佐々木 芳 浩

- ・泌尿器科部長
- ・日本泌尿器科学会専門医 指導医
- ・泌尿器腹腔鏡技術認定医

### 主任臨床工学技士

廣 瀬 孝 則

- ・医療機器安全管理責任者
- ・透析技術認定士
- ・呼吸療法認定士
- ・第1種消化器内視鏡技師
- ・MDIC（医療機器情報コミュニケーター）
- ・認定医療機器管理臨床工学技士

### 臨床工学技士

櫻 庭 直 達

- ・高気圧酸素治療専門技師
- ・呼吸療法認定士
- ・特定高圧ガス取扱主任者
- ・特定化学物質等作業主任者

山 本 岳

綿 貫 顕 太

川 合 博 貴

- ・衛生工学衛生管理者

大 江 悠 輔

長谷川 裕 輝

黒 田 朱 音

## 主な対象疾患及び特色

### 血液浄化室関連

- ・糖尿病性糸球体腎硬化症/慢性糸球体腎炎/腎硬化症/多発性のう胞腎
- 2型糖尿病/IgA腎症 等

### 高気圧酸素治療関連

- ・突発性難聴/CO中毒/閉塞性動脈硬化症/皮弁壊死/糖尿病性壊疽
- 脊髄梗塞/胸髄損傷/頸髄損傷/皮膚潰瘍/難治性潰瘍/放射線性潰瘍
- 化膿性脊椎炎/重症下肢虚血/左中指不全切断/網脈中心動脈閉塞症 等

### 血液浄化（人工透析を除く）関連

- ・潰瘍性大腸炎/クローン病/TTP（血栓性血小板減少性紫斑病）
- 原発性マクログロブリン血症/GBS（ギランバレー症候群）
- MS（多発性硬化症）/CIDP（慢性炎症性脱髄性多発神経炎）
- ・急性肝不全 等

### 手術室関連

- ・消化器外科手術（腹腔鏡手術を伴うもの）
- ・泌尿器科領域（腹腔鏡手術を伴うもの）
- ・白内障（白内障超音波手術器使用を伴うもの）

## 特 色

スタッフ全員がどの業務にも従事できるような体制を確保しつつ、各診療科からのオーダーに即時対応しています。関わる業務は多岐にわたり、内科、外科、泌尿器科、眼科、神経内科、整形外科等の各診療科における臨床業務に関わり、診療の補助を行っています。各種認定を所有している技士を有し、専門性を生かし各領域に従事しています。医療機器に関する院内の総合窓口として、臨床における診療の補助および関わる医療機器の管理も含め、各診療科を横断的にサポートできる体制となっています。

## 2021年度の目標及び方針

### 薬剤部理念

「薬の専門職として、心ある良質な医療を提供します」

### 基本方針

1. 正しい調剤と薬の適正使用・管理を行います
2. 安全・安心な最良の薬物療法を提供します
3. 各々が成長と貢献を目指します

医薬品の適正使用を通じて「安全・安心で効果的な薬物治療」を提供するために、調剤をはじめ、薬品の供給・管理、薬学的管理及び服薬指導、DI（医薬品情報）業務、抗がん剤等の調製などの業務に携わっていきます。また、病棟薬剤業務における入院時の持参薬鑑別や病棟担当薬剤師による薬剤管理指導業務を積極的に実施して、患者サービスの向上、医薬品の安全管理と有効性の維持・向上のために努力します。

これらを通じて、薬剤部は診療業務における貢献、経営と連携における貢献、教育・研修と臨床研究における貢献の3つの貢献を目標としていきます。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 1. 病棟薬剤業務の充実

病棟薬剤業務を実施して数年経つが、さらに質の高い薬物療法に積極的に介入して、医薬品の適正使用に貢献する必要がある。しかし、今年度、人員不足のために業務を実施できなくなってしまった。一刻も早い回復が必要である。チーム医療の推進のために、医師・看護師らと連携し、これまで以上に情報の共有と患者個々に合った処方提案及びポリファーマシー対策を強化していきたい。

### 2. 薬剤管理指導業務の充実

薬剤管理指導業務は、薬物の有効性と安全性の向上や経営面においても大変重要な業務である。昨年度は実施率が6割程度であったが、まだまだ伸ばしていく必要がある。薬剤師を増員することにより100%の実施を目指していきたい。薬剤師の増員が当面の課題である。

### 3. 化学療法センターにおける業務の充実

現在、化学療法センターには3名の薬剤師が常駐して、レジメン管理・確認及び抗がん剤調製を行っている。患者数の増加に伴い、調整件数も増加している。また、がん患者の薬学的管理及び服薬指導を「がん患者指導管理料 ハ」として実践しているが、本年度は認定資格者を増やしてさらなる充実を図り、質・量ともに診療業務への貢献を目指す。また、連

携充実加算を実施して化学療法における地域密接型の体制を整えていきたい。

### 4. 医薬品安全管理体制の強化

薬物療法を安全に実施していくため、特に麻薬、毒薬、向精神薬、ハイリスク薬について医薬品安全管理責任者を中心に全てのメディカル・スタッフが手順を励行して安全対策を推進していく。さらに医療安全管理者をはじめとする他部署の職員とも連携して、必要な安全対策・確認作業及び研修・教育を定期的に行い薬剤関連アクシデントの防止に努めていきたい。

### 5. 後発医薬品及びバイオシミラーの導入促進と経営面での貢献

後発医薬品の数量割合は、すでに最高目標値をクリアしているが、年々増加する後発品に対して、積極的に導入しなければ維持が困難となる。年間購入金額の大きい品目を調査し、効率の良い導入を行いたい。昨年度は一般名処方等の診療報酬を開始した。今年度も積極的に獲得して経営面での貢献を行っていきたい。

### 6. 治験体制の整備と実施

SMO（治験施設支援機関）の協力のもと治験体制の整備を行って、2件の治験を行っていたが、SMOのリソース不足から合併や撤退が進んでいるのが現状である。本年度も、SMOまたは機構本部治験ネットワークからの紹介案件を中心にその実施可能性を十分検討し、関係各位と協力して治験受託・実施に向け取り組んでいきたい。

### 7. 専門・認定薬剤師の育成

薬剤師が薬の専門職として十分な力を発揮して成果をあげられるよう、日頃から自己研鑽に励むとともに、各種専門・認定薬剤師の取得・更新をサポートできる部内の教育・研修体制を整備し支援していく。

### 8. 働きがいのある職場作り

一人一人の薬剤師が働きがいのある職場であることを実感できるよう、薬剤部の環境整備に努めるとともに活気に溢れお互いに協力し合えるような人間関係の構築に努めていく。そのためには、薬剤師の人員確保が必須である。できることはすべて行い一人でも増員して活気ある職場を作りたい。

## 2020年度の評価

2020年度は、薬剤師の欠員が補充されず前年度と同様薬剤師17名、嘱託1名と薬剤助手3名で業務を行った。病棟薬剤業務と化学療法センターの業務も軌道に乗り、薬剤管理指導業務の算定件数も徐々に増加していた。新型コロナの影響により病棟の入院数が減少している中、薬剤管理指導件数は多少減少傾向があるものの、大きな落ち込みはみせていなかった。薬剤師それぞれの努力が伺えた。しかし、2021年度にむけて、退職、人事異動での人員確保が困難となり、厳しい状況からの脱出ができなかった。今後人員確保が最大の課題となる。

経営面においては、薬剤管理指導業務の算定件数が全体としてやや減少したが、病棟薬剤業務を通年実施するとともに、後発品への積極的な切替えにより薬品費の削減が達成された。同様に数量ベースにおいても前年度の90.1%から増加して91.4%（2020年度平均）となり、後発医薬品使用体制加算1の算定要件である85%以上を大きくクリアすることができた。

教育・研修、研究面においては、薬学生4名の10週間にわたる実務実習を完遂することができた。また、専門・認定薬剤師の育成については、がん領域で日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師1名、日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師1名となり念願のがん認定薬剤師の複数薬剤師体制が確立した。さらに、日本緩和薬物療法認定薬剤師1名が新規で取得し、益々がん領域での充実が図られた。その他、新設された日病薬の病院薬学認定薬剤師も合計9名取得することができた。さらに、各分野を担当する薬剤師が自己研鑽に励むとともに院内・外の研修会の講師や学会発表を行い、他の医療スタッフや保険薬局薬剤師、さらには地域住民（小学生を含む）等に対して教育的な立場で積極的に取り組むことができた。

## 2020年度スタッフ構成

スタッフ：21名

### [内訳]

- ・薬剤師 17名
- ・嘱託 1名
- ・助手 3名

### 取得認定

- ・日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師 9名
- ・日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師 10名
- ・日本薬剤師研修センター認定薬剤師 8名
- ・日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 7名

- ・日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師 1名
- ・日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師 1名
- ・日本緩和薬物療法認定薬剤師 1名
- ・日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師 1名
- ・日本糖尿病療養指導士 2名
- ・日本静脈経腸栄養学会認定栄養サポートチーム専門療法士 2名
- ・日本医療情報学会認定医療情報技師 1名

## 特色

薬剤部では病棟薬剤業務（道東地区初）及び薬剤管理指導業務を積極的に展開し、全病棟に担当薬剤師を配置してチーム医療に積極的に関わっている。院内の医師、看護師、他のメディカル・スタッフとも密に連携して薬の専門職としての職能を十分発揮している。薬剤部内には、がん薬物療法認定、外来がん治療認定、緩和薬物療法認定、NST専門療養士、糖尿病療養指導士、HIV感染症薬物療法認定など各種認定・専門資格を有した薬剤師がそれぞれの専門性を生かして多数活躍している。特に抗がん剤の調製件数は道内トップレベルで、がん治療及び緩和領域に貢献している。また、学会発表・講演会など積極的に取り組んでおり、日々自己研鑽に励んでいる。

# 看護部

看護部長 成田 美弥子

## 2021年度の目標及び方針

### 看護部理念

「人としての尊厳を守り、安全、安心、  
優しさのある看護を実践します」

### 基本方針

1. 患者さんの権利を守り、その人らしさを大切に  
した看護を実践します。
2. 専門知識・技術を高め、科学的根拠に基づいた質  
の高い看護を実践します。
3. 全ての医療従事者と連携し、チーム医療に貢献し  
ます。
4. 働く人の持てる力を支援し、健康づくりに貢献し  
ます。

## 2021年度の具体的な重点項目

### 「私達の目指す看護」

1. 地域連携を密に行い、円滑な入退院を支援し、地  
域包括ケアシステムの推進に貢献する。  
当院は、地域医療支援病院として、地域住民の健  
康維持・増進を担い、循環型地域連携システムの中  
核的役割を担っています。入退院支援に関する知識  
の獲得をしたうえで、院内、院外連携の強化および  
看護の専門性を活かした関りをします。
2. 認知症に対する理解を深め、適切な看護を提供す  
る。  
認知症看護は最後まで人としての尊厳を保たせる  
という課題があります。看護師一人ひとりが確かな  
知識・技術を持って倫理観を基盤とした看護を提供  
することで患者さんとの信頼関係を築いていきます。
3. 専門職として、誇りの持てる看護を実践する。  
提供した看護を「対象にとって最良か」を常に問  
い、自信をもってケア行います。提供した看護によ  
り回復過程が促進され、ケアの成果を得ることは自  
分らしさの発揮、看護のやりがい感に直結します。

## 2020年度評価

看護部門の年度課題として、地域包括ケアシステム  
の推進、認知症看護の向上、専門職としての看護の実  
践に取り組みました。

地域包括ケアシステムの推進では、看護師やMSW  
の人的配置を拡充し、上位加算を取得しました。その  
結果、入退院支援Ⅰは目標値を大きく上回る結果にな  
り、十分な支援ができたと思います。また、地域包括  
ケア病棟の診療報酬改定があり院内からの転棟割合を

6割未満に制限を求められたことから、サブアキュート・レスパイト入院を積極的に受け入れ、同時に院内転棟患者の調整を行うことで、病床利用率向上につながられました。認知症看護の向上については、昨年度からの取り組みの継続と身体拘束の解除に向けて取り組みを行いました。結果的に目標は達成できませんでしたが、看護計画の修正、追加をしていくことが習慣化してきましたので、この成果は次年度以降に期待します。専門職としての看護の実践は、看護観を考える研修を開催しました。職務満足度調査では、「自分らしさの発揮」が低値であり、専門職である自分らしさが発揮できる状態を意識すること、発揮できる環境にあることが重要と思うので、次年度以降の取り組みといたします。

## 2020年度活動実績

### 1. 就業状況

表1 看護部職員状況（2020年4月現在）

	看護師	准看護師	看護補助者	合計
正 規	312	5	0	317
嘱 託	15 (再雇6)	3	24 (再雇2)	42
合 計	327	8	24	359

表2 2020年度退職者数及び離職率

	退職者数 (内定年・転任)	離職率
正 規	29(2)	8.3%
(内新卒)	2	8.6%

### 2. 看護実習生の受け入れ

表3 看護実習生受け入れ実績

学 校 名	延べ人数
釧路労災看護専門学校	2,680

### 3. 小中高校生職場体験受け入れ

表4 小中高校生 職場体験受け入れ実績

学 校 名	学年	人数	実 施 日
北海道美唄聖華高等学校	専攻科 看護科 2年生	1	5月19日～20日
横浜労災看護専門学校	3年生 2年生	2 2	8月14日
釧路武修館高等学校	2年生	2	12月17日

#### 4. 研修受講状況

表5 労働者健康安全機構 参加実績

研修名	人数	研修名	人数
管理者研修Ⅰ	2	管理者研修Ⅱ	2
管理職2年目研修	2	継続教育指導者研修	2
専任教員・臨地実習指導担当者研修	2		

表6 北海道看護協会等主催研修 参加実績

研修名	人数	研修名	人数
災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本知識～	1	退院支援の基礎知識	2
家族看護	2	現場で活かせる感染管理	4
「死にたい」と言われたときに-対象者のアセスメントとケア-	1	がんの終末期の意思決定支援における看護師の役割を学ぶ	3
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	1	現場で活かせるがん疼痛マネジメント	1
病院の医療従事者向け認知症対応力向上研修	1	第2回 地域における看護職等の連携シンポジウム	1

#### 5. 院外講師派遣実績

表7 院外講師等派遣実績

実施日	氏名	研修会名	依頼元・対象など
9月19日	中村 公子	ストーマ周囲の皮膚への気づかい	日本オストミー協会北海道支部 オストメイトさろん釧路
11月9日～30日	伊藤 織恵	第97回北海道透析療法学会 看護Ⅱセッション座長	北海道透析療法学会
11月30日	馬場かおり	感染症について	多機能型通所施設はばたき
2月19日	成田美弥子	アウトドア関連事業者の 新型コロナ感染防止策について	公益社団法人 北海道観光振興機構
3月12日	成田美弥子	中小規模病院への現地支援	公益社団法人 北海道看護協会・ 医療法人樹恵会 石田病院

表8 COVID-19支援ナース派遣

実施日	氏名	派遣先	依頼元
12月28日～1月1日	佐久間祐一	医療法人社団洞仁会 洞爺温泉病院	北海道知事
3月9日～3月19日	齊藤聡子、後出恵里、大田 愛、今ゆかり、橋本さやか、 太田涼子、計良貴広、佐伯香奈、瀧澤麗文、八重原千歩、 市澤梨奈、若狭谷莉衣、及川陽永、安済七海、橋本昂宏、 笠野健一郎	医療法人社団敬愛会 白樺台病院	北海道知事

表9 非常勤講師派遣実績

学 科 目	時間数	学 生	講 師 名	依頼校
基礎看護学方法論Ⅰ 安全と感染予防	10時間	1学年	感染管理認定看護師 馬場かおり	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅰ 慢性期(糖代謝)	11時間	1学年	看護師長 大野澄江	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅰ 透析療法の看護	5時間	1学年	透析看護認定看護師 伊藤織恵	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅰ 呼吸機能障害	14時間	1学年	師長補佐 齊藤聡子	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅱ 褥瘡	4時間	1学年	皮膚・排泄ケア認定看護師 中村公子	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅲ 周手術期(ストーマケア)	4時間	2学年	皮膚・排泄ケア認定看護師 中村公子	釧路医師会看護専門学校
成人看護学方法論Ⅳ 終末期	10時間	2学年	がん看護専門看護師 門脇郁美	釧路医師会看護専門学校
治療論 放射線療法の理解	4時間	1学年	がん放射線療法看護認定看護師 野呂あゆみ	釧路労災看護専門学校
治療論 化学療法の理解	8時間	1学年	がん化学療法看護認定看護師 村山由佳子	釧路労災看護専門学校
感染症学 感染予防	12時間	1学年	感染管理認定看護師 馬場かおり	釧路労災看護専門学校

学 科 目	時間数	学生	講 師 名	依頼校
疾病と治療Ⅴ 女性生殖器系：乳腺	4時間	1学年	乳がん看護認定看護師 小野紫穂	釧路労災看護専門学校
看護関係法規 医療安全・看護事故事例	14時間	2学年	医療安全管理者 岩澤由美	釧路労災看護専門学校
労働と健康 治療と職業生活の両立支援の実際 (具体例)	2時間	2学年	がん看護専門看護師 門脇郁美	釧路労災看護専門学校
臨床看護総論 急性期・周手術期看護	6時間	2学年	臨床看護総論 急性期・周手術期看護	釧路労災看護専門学校
臨床看護総論 終末期看護	4時間	2学年	緩和ケア認定看護師 佐伯香奈	釧路労災看護専門学校
臨床看護総論 主要症状と看護：疼痛	2時間	2学年	緩和ケア認定看護師 佐伯香奈	釧路労災看護専門学校
臨床看護総論 治療処置に伴う看護： 放射線療法	2時間	2学年	がん放射線療法看護認定看護師 野呂あゆみ	釧路労災看護専門学校
成人看護学援助論Ⅰ 腎・泌尿器系	6時間	1学年	皮膚・排泄ケア認定看護師 中村公子	釧路労災看護専門学校
成人看護学援助論Ⅱ 消化器系	12時間	1学年	皮膚・排泄ケア認定看護師 中村公子	釧路労災看護専門学校
成人看護学援助論Ⅲ 血液・造血器系・免疫系	10時間	2学年	がん化学療法看護認定看護師 佐々木祐美	釧路労災看護専門学校
成人看護学援助論Ⅲ 女性生殖器系：乳がん	4時間	2学年	乳がん看護認定看護師 小野紫穂	釧路労災看護専門学校
母性看護学援助論Ⅰ 妊娠・出産・産褥・新生児	28時間	2学年	助産師 三浦綾子	釧路労災看護専門学校
災害看護	4時間		梅川恵美子	帯広看護専門学校

## 6. 看護研究発表

- ・外来：小野 紫穂 村山由佳子 石黒 友唯  
小笠原和宏  
がん患者のアピランスケアに対する相談  
窓口の実態調査  
第58回日本癌治療学会学術集会(2020.10.22  
～24)

## 7. 執筆

- ・YORI-SOU がんナーシング第11巻1号  
乳がん看護認定看護師 小野 紫穂
- ・ろうさいかわら版春号  
緩和ケア認定看護師 神田みゆき
- ・ろうさいかわら版秋号  
手術看護認定看護師 中田 沙織
- ・ろうさいかわら版新春号  
皮膚排泄ケア認定看護師 中村 公子



# Ⅲ. 委員会報告

(1) 委員会一覧	57	血液浄化室安全管理委員会	95
(2) 委員会活動報告		在宅医療運営委員会	96
・倫理委員会	58	公舎管理委員会	97
・地域医療支援病院運営委員会	59	栄養管理／NST委員会	98
・院内研修委員会	60	図書委員会	100
・院内感染対策委員会	61	脳死判定委員会	101
・化学療法委員会	63	省エネルギー推進委員会	102
・臨床研修管理委員会	64	防災委員会	103
・医師研修プログラム委員会	65	手術部運営委員会	104
・薬事／臨床研究審査委員会	67	輸血療法委員会	105
・DPC／クリニカルパス委員会	72	医療ガス安全管理委員会	106
・地域医療連携総合センター運営委員会	74	褥瘡対策委員会	107
・HIV運営委員会	76	診療用放射線／放射線安全運営委員会	109
・診療医事業務／査定減対策委員会	77	中央検査部管理運営委員会	110
・診療情報／個人情報管理委員会	79	保育委員会	112
・医療安全推進委員会	81	健診業務体制整備委員会	113
・医療情報システム委員会	83	広報編集委員会	114
・機器等整備委員会	85	病院誌「やちぼうず」編集委員会	116
・救急診療運営委員会	87	衛生委員会	117
・緩和医療委員会	89	患者サービス向上委員会	119
・臓器提供委員会	91	病院機能評価委員会	121
・禁煙実行委員会	92	ドクターズクラーク運営委員会	122
・がん診療連携拠点病院運営委員会	93	勤務医／看護職員等負担軽減対策委員会	123
・診療材料等検討委員会	94	医学系研究利益相反管理委員会	124





## 委員会一覧

- 倫理委員会
- 地域医療支援病院運営委員会
- 院内研修委員会
- 院内感染対策委員会
- 化学療法委員会
- 臨床研修管理委員会
- 医師研修プログラム委員会
- 薬事／臨床研究審査委員会
- DPC／クリニカルパス委員会
- 地域医療連携総合センター運営委員会
- HIV運営委員会
- 診療医事業務／査定減対策委員会
- 診療情報／個人情報管理委員会
- 医療安全推進委員会
- 医療情報システム委員会
- 機器等整備委員会
- 救急診療運営委員会
- 緩和医療委員会
- 臓器提供委員会
- 禁煙実行委員会
- がん診療連携拠点病院運営委員会
- 診療材料等検討委員会
- 血液浄化室安全管理委員会
- 在宅医療運営委員会
- 公舎管理委員会
- 栄養管理／NST委員会
- 図書委員会
- 脳死判定委員会
- 省エネルギー推進委員会
- 防災委員会
- 手術部運営委員会
- 輸血療法委員会
- 医療ガス安全管理委員会
- 褥瘡対策委員会
- 診療用放射線／放射線安全運営委員会
- 中央検査部管理運営委員会
- 保育委員会
- 健診業務体制整備委員会
- 広報編集委員会
- 病院誌「やちぼうず」編集委員会
- 衛生委員会
- 患者サービス向上委員会
- 病院機能評価委員会
- ドクターズクラーク運営委員会
- 勤務医／看護職員等負担軽減対策委員会
- 医学系研究利益相反管理委員会

## ■ 目的と方針

当院で行われる医療行為について、リスボン宣言及び医師の職業倫理指針を尊重して、医の倫理に基づいて適正に行われることを審査する。

## ■ 委員会の構成

委員：12名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

[内 訳]

- 医師：6名
- 看護師：1名
- 事務局：3名
- 外部委員：2名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

倫理委員会（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月6日(月)	12名	100.0%
第2回	2020年7月10日(金)	11名	91.6%
第3回	2020年9月17日(木)	12名	100.0%
第4回	2020年10月22日(木)	12名	100.0%
第5回	2021年2月5日(金)	12名	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2020年4月6日(月)

- 「ファビピラビル（アビガン）等の抗ウイルス薬が投与されたCOVID-19患者の背景因子と治療効果の検討(適応外使用)(後ろ向き観察研究)」

(2) 2020年7月10日(金)

- 「意思表示が困難な患者について配偶者の同意が得られない中での救命医療行為について」

(3) 2020年9月17日(木)

- 「アルコール代謝遺伝子活性と飲酒が胃癌内視鏡切除後の異時性多発胃癌発生に及ぼす影響」に係る研究実施場所の追加について

(4) 2020年10月22日(木)

- 「脈絡膜骨腫に伴う脈絡膜新生血管に対するアフリベルセプト硝子体内注射の適応外使用」について

(5) 2021年2月5日(金)

- 「全国労災病院における外科医の働き方改革に向けた現状と課題」について

# 地域医療支援病院運営委員会

委員長 高橋弘昌

## ■ 目的と方針

本委員会は、地域のかかりつけ医等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保のために必要な支援を行うよう定めた、地域医療支援病院に関する事項について審議し、外部委員から病院の管理者に意見を述べるものとする。

## ■ 2021年度の目標

1. 地域医療機関からの紹介患者に対する医療提供を行い、地域医療支援病院の承認要件の達成。
2. 地域医療機関との医療機器及び開放病床などの共同利用の促進。
3. 救急医療の提供。
4. 地域の医療従事者及び市民への研修会、講演会の実施。

## ■ 委員会の構成

委員：22名

(2021年3月現在、委員長、事務局を含む)

### [内 訳]

- ・医師：5名
- ・看護師：1名
- ・事務局：6名
- ・外部委員：10名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

地域医療支援病院運営委員会（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年6月18日(木)	22名	100.0%
第2回	2021年1月27日(水)	22名	100.0%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年6月18日(木)

- ・業務実績報告について
- ・釧路労災病院に対する要望等事項について

### (2) 2021年1月27日(水)

- ・業務実績報告について
- ・釧路労災病院に対する要望等事項について
- ・病病・病診連携サービス実態調結果報告について

## ■ 年間活動実績

業務実績	2019年度	2020年度
紹介率	76.7%	83.0%
逆紹介率	73.4%	70.7%
開放病床		
医科	0件	0件
歯科	0件	0件
高額医療機器共同利用		
リニアック	314件	187件
CT	82件	40件
MRI	12件	11件
内視鏡	12件	2件
登録医施設利用		
図書室	2件	2件
カンファレンス参加状況		
医科	0件	0件
歯科	13件	4件
講演会開催		
医療従事者向け講演会	7回	1回
市民向け講演会等	7回	1回

## ■ 目的と方針

院内研修委員会は職員研修会の企画及び実施を円滑に遂行し、職員の資質向上を図ることを目的とする。

## ■ 委員会の構成

委員：15名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・看護学校専任教員：1名
- ・事務局：4名

## ■ 年間活動実績

### 2020年度研修会開催実績（4回開催）

開催日	区分	内 容 (テーマ)	講 師	開催日	開始時間	参加者 (外部含む)
4月	接遇・メンタルヘルス	・医療者にとって本当に必要な接遇とは ～専門職業人としての基本的態度～ ・睡眠改善 ・“体”を温めると“心”も温まる～身体的認知～	eラーニング 日本心理学会心理学 ミュージアム	4月22日(水) 配信	-	-
7月	感染対策 (ICT・AST・医薬品安全管理含む)	薬剤耐性 (AMR) 対策と内服抗菌薬適正使用	薬剤部 大森健太郎氏	7月16日(金) 配信	-	-
12月	感染対策 (ICT・AST・医薬品安全管理含む)	・新型インフルエンザと新型コロナウイルス感染症対策 ・新型コロナウイルス感染症の治療薬について	感染管理者 馬場かおり氏 薬剤部長 重共 孝一氏	12月3日(木) 12月4日(金) 12月9日(水)	①17:15 ～17:45 ②18:00 ～18:30	359名
1月	医療安全 (放射線管理・医薬品安全管理含む)	・診療放射線の安全管理 ・経口血糖降下剤の安全管理 スルホニル尿素剤 (SU剤) の注意点 ・当院のインシデント・アクシデント報告について	中央放射線部長 河野 文一氏 薬剤部主任 工藤 優子氏 医療安全管理者 岩澤 由美氏	1月25日(月) 配信	-	-

# 院内感染対策委員会

委員長 宮城島 拓 人

## ■ 目的と方針

MRSA・HBV・HCV等の感染の防止に資することを目的とした病院長の諮問機関とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 院内感染の調査研究
2. 院内感染の防止対策
3. 院内感染症に対する職員の啓発

## ■ 委員会の構成

委員：23名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### 【内 訳】

- ・医 師：8名
- ・看護 師：4名
- ・薬 剤 師：1名
- ・臨床検査技師：2名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：5名

## ■ 年間活動と実績

2020年度開催日と協議内容（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月17日(金)	23名	100.0%
第2回	2020年5月19日(火)	22名	95.7%
第3回	2020年6月16日(火)	21名	91.3%
第4回	2020年7月21日(火)	23名	100.0%
第5回	2020年8月18日(火)	23名	100.0%
第6回	2020年9月15日(火)	23名	100.0%
第7回	2020年10月20日(火)	22名	95.7%
第8回	2020年11月17日(火)	22名	95.7%
第9回	2020年12月15日(火)	22名	95.7%
第10回	2021年1月19日(火)	23名	100.0%
第11回	2021年2月16日(火)	23名	100.0%
第12回	2021年3月16日(火)	23名	100.0%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年4月17日(金)「持ち回り」

- ・新型コロナウイルス感染症発生時期における手術までの流れについて
- ・令和元年度細菌検出状況・針刺し・血液曝露事故結果

### (2) 2020年5月19日(火)「小会議室」

- ・新型コロナウイルス感染症の抗原検査について
- ・入院患者のリハビリ等について
- ・電話診療等での院外処方箋の発行について

### (3) 2020年6月16日(火)「大会議室」

- ・2020年度感染必須研修のサイボウズ開催について

- ・个人防护具の備蓄について

- ・ハンドドライヤーの使用について

### (4) 2020年7月21日(火)「大会議室」

- ・消化器軟性内視鏡定期培養検査報告
- ・患者浴槽水のレジオネラ培養検査報告
- ・新型コロナウイルス感染症抗原検査について

### (5) 2020年8月18日(火)「大会議室」

- ・抗菌薬適正使用支援チーム(AST)規程の改定について
- ・冷却塔水のレジオネラ培養検査報告
- ・消化器軟性内視鏡定期培養検査報告

### (6) 2020年9月15日(火)「大会議室」

- ・新型コロナウイルス感染症抗原定量検査の対象患者について
- ・手洗い石けんホルダー撤去について
- ・マスクや手指消毒用アルコール等の在庫状況について

### (7) 2020年10月20日(火)「大会議室」

- ・感染対策協力依頼の院内放送について
- ・手洗い石けんホルダーについて
- ・経口抗微生物薬適正使用マニュアルの作成について
- ・感染防止対策加算地域連携相互ラウンドの実施について
- ・2020年度ICT・AST必須研修の開催について
- ・冷却塔水、給水、給湯のレジオネラ培養検査報告

### (8) 2020年11月17日(火)「大会議室」

- ・検出菌薬剤別感受性報告
- ・外来における経口抗菌薬使用状況について
- ・職員の新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

### (9) 2020年12月15日(火)「大会議室」

- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業による整備機器・工事について
- ・抗原定量検査機器(ルミパルス)の運用について
- ・年末年始の入院患者の外泊禁止について

### (10) 2021年1月19日(火)「大会議室」

- ・感染防止対策加算地域連携相互ラウンドの他者評価について
- ・主要菌種別抗菌薬感染率について
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチンの先行接種について

### (11) 2021年2月16日(火)「大会議室」

- ・新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種体制に

ついて

(12) 2021年3月16日(火)「大会議室」

- 令和3年度委員会規程(案)について
- 院内感染対策マニュアルの改定について
- 2020年度感染必須研修参加報告
- 給水、給湯のレジオネラ培養検査報告
- 2021年度ICTラウンド年間計画表について
- 外来における経口抗菌薬使用状況について
- 新型コロナウイルス感染症ワクチンの優先接種について

■ 年間活動実績(2020年度)

- 院内感染対策ニュース
- MRSA・MDRP発生報告
- 主な細菌検出と針刺し状況報告
- 院内ラウンド報告
- 耐性菌ラウンド報告
- 材料・診療科・病棟別検出菌数報告
- 4類・5類感染症発生件数報告
- 保育所・栄養管理室、大腸菌検出報告
- 抗生剤・抗MRSA薬使用状況報告
- 新型コロナウイルス感染症検査実施状況報告

# 化学療法委員会

委員長 宮城島 拓 人

## ■ 目的と方針

本委員会は、当院における外来化学療法を安全に実施することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 化学療法センターの円滑な運営を図るため、化学療法の運営に関する事項、及びその他必要と認められる事項を審議する。
2. 院内化学療法レジメンの妥当性を審議し、整備する。
3. 化学療法に関する実績分析と安全対策に関することを審議する。

## ■ 委員会の構成

委員：13名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：6名
- ・看護師：2名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：2名

## ■ 年間活動と実績

2020年度開催日と審議内容

化学療法委員会（4回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年6月23日(火)	12名	92.3%
第2回	2020年9月18日(金)	13名	100.0%
第3回	2020年12月16日(水)	13名	100.0%
第4回	2021年3月19日(金)	13名	100.0%

## ■ 年間活動実績

### ● 外来化学療法

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
549	501	544	529	503	467	467	437	512	490	427	510	5,936

※対前年度217件の増

### ● 入院化学療法

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
235	240	217	190	194	201	309	192	177	172	197	218	2,542

※対前年度211件の増

## ■ 審議内容

- (1) 2020年6月23日(火)「化学療法センター内カンファレンスルーム」
  - ・新規プロトコルの申請（8件）
  - ・令和2年度入院・外来化学療法患者数について
  - ・血管外漏出のフローチャートの見直しについて
  - ・化学療法センターの予約枠について
  - ・リツキシマブBS点滴静注採用について
  - ・医療安全対策に関する注意喚起
- (2) 2020年9月18日(金)「化学療法センター内カンファレンスルーム」
  - ・新規プロトコルの申請（5件）
  - ・令和2年度入院・外来化学療法患者数について
  - ・化学療法オーダー入力時間について
- (3) 2020年12月16日(水)「化学療法センター内カンファレンスルーム」
  - ・新規プロトコルの申請（6件）
  - ・令和2年度入院・外来化学療法患者数について
  - ・ラモセトロン塩酸塩注射液0.3mg「EMEC」について
- (4) 2021年3月19日(金)「化学療法センター内カンファレンスルーム」
  - ・新規プロトコルの申請（3件）
  - ・令和2年度入院・外来化学療法患者数について
  - ・2021年度委員会規程等の見直しについて
  - ・ケモセーフの試用について

## ■ 目的と方針

臨床研修管理委員会は、臨床研修医（初期・後期）の受入等について円滑な実施を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

臨床研修プログラムの策定、見直し、臨床研修医の受入体制の整備、臨床研修実施計画を立案し、臨床研修医の評価及び修了認定を行う。

## ■ 委員会の構成

委員：28名

（2021年3月現在、委員長・書記を含む）

### [内 訳]

- 医師：11名
- 看護師：3名
- 薬剤師：1名
- 事務局：5名
- 外部委員：8名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日

臨床研修管理委員会（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年3月16日(火)	24名	85.7%

## ■ 審議内容

### (1) 2021年3月16日(火)「大会議室」

- 臨床研修医の研修状況について
- 医師研修プログラム委員会及び臨床研修管理委員会規程・運営方針・構成（案）について
- 令和3年度初期臨床研修（2年次）ローテーション（案）について
- 水町研修医の初期臨床研修について

# 医師研修プログラム委員会

委員長 宮城島 拓 人

## 目的と方針

医師研修プログラム委員会は、臨床研修医および専攻医の研修に対し、円滑な実施及び評価を図ることを目的とする。

## 2021年度の目標

臨床研修プログラムの策定、見直し、臨床研修医の受入体制の整備、臨床研修実施計画を立案し、臨床研修医の評価及び修了認定を行う。また、各基幹施設に設置される管理委員会と連携を図り、プログラム委員会として専攻医の研修を管理、評価する。

## 委員会の構成

委員：20名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### [内 訳]

- ・医師：11名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・事務局：5名

## 年間活動と実績

2020年度開催日

医師研修プログラム委員会（11回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月21日(火)	20名	100.0%
第2回	2020年5月19日(火)	20名	100.0%
第3回	2020年6月16日(火)	18名	90.0%
第4回	2020年7月21日(火)	18名	90.0%
第5回	2020年8月18日(火)	16名	80.0%
第6回	2020年9月15日(火)	16名	80.0%
第7回	2020年10月20日(火)	16名	80.0%
第8回	2020年11月17日(火)	18名	90.0%
第9回	2020年12月15日(火)	17名	85.0%
第10回	2021年1月19日(火)	17名	85.0%
第11回	2021年2月16日(火)	16名	80.0%

## 審議内容

### (1) 2020年4月21日(火)「持ち回り」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・臨床研修指導医講習会受講状況について

### (2) 2020年5月19日(火)「持ち回り」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・マッチング参加病院が行う新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた研修医採用に係る取り組みについて

### (3) 2020年6月16日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・令和2年度初期臨床研修医（2年次）ローテーションの変更について
- ・病院誌「やちぼうず」に掲載する委員会報告（案）について

### (4) 2020年7月21日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・日本医科大学千葉北総病院研修医の受入について
- ・病院見学・マッチング面接等の実施状況について
- ・令和3年度から研修を開始する研修医の募集定員について
- ・民間医局レジナビフェア東京の参加意向調査について

### (5) 2020年8月18日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・病院見学・マッチング面接等の実施状況について
- ・令和2年度初期臨床研修医の採用状況等について
- ・ホームページ掲載内容について
- ・民間医局レジナビフェア東京の参加意向調査について

### (6) 2020年9月15日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・病院見学・マッチング面接等の実施状況について
- ・北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2021札幌について
- ・令和2年度指導医講習会「指導医のための教育ワークショップ」の開催中止について

### (7) 2020年10月20日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・病院見学・マッチング面接等の実施状況について
- ・マッチング中間公表について
- ・初期臨床研修医研修について
- ・2020年度「基本的臨床能力評価試験」実施について

### (8) 2020年11月17日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・令和3年度臨床研修医採用状況について

### (9) 2020年12月15日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・道外の臨床研修病院合同説明会への参加意向調査について

### (10) 2021年1月19日(火)「大会議室」

- ・臨床研修医の研修状況について
- ・臨床研修管理委員会の開催について

- 令和3年度初期臨床研修（1年次）ローテーション（案）について
- 令和3年度初期臨床研修（2年次）ローテーション（案）について
- 令和3年度旭川医科大学「早期体験学習Ⅱ（医学科）」における学生受入について
- 令和3年度北海道大学病院臨床研修プログラム研修医及び採用内定者に係る研修先の決定について
- 令和2年度臨床研修病院等連絡会議及び北海道ブロック臨床研修制度協議会の日程等について

(11) 2021年2月16日（火）「大会議室」

- 臨床研修医の研修状況について
- 令和3年度臨床研修総合講座（案）について
- 令和3年度初期臨床研修（2年次）ローテーション（案）について
- 令和3年度初期臨床研修（1年次）ローテーション（案）について
- 令和3年度外部研修医の受入予定について

■ 年間活動実績

【2020年度採用状況】

試験申込数：2名

この2名について、マッチング協議会が行うマッチング制度にかけた結果、当院の臨床研修医受入枠が3名のところ、1名がマッチング確定となった。

令和3年度臨床研修医数は1年次1名、2年次3名の合計4名となった。

## (薬 事)

## ■ 目的と方針

本委員会は、医薬品の適正使用を推進し、医薬品の管理運営・新規医薬品の採用と既採用薬品の整理並びに薬事全般に関わる事項を審議する。それにより、薬物療法の向上と病院経営に寄与する事を目的とする。また、院内製剤に関わる事項を審議し医薬品の適正使用を推進する。

## ■ 2021年度の目標

最適な薬物療法に必要なかつ医療安全的観点から医薬品を選定する。また、採用医薬品の見直しを行い、採用医薬品数の削減に努めると共に後発医薬品およびバイオシミラー等への切替えを推進し、病院経営に貢献する。

## ■ 委員会の構成

委員：11名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

## [内 訳]

- ・医師：5名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・医療安全管理者：1名
- ・事務局：2名
- ・書記：1名(薬剤師)

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と議事内容

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月20日～23日	11名	100.0%
第2回	2020年5月15日～19日	11名	100.0%
第3回	2020年6月15日(月)	9名	81.8%
第4回	2020年7月20日(月)	10名	90.9%
第5回	2020年8月17日(月)	10名	90.9%
第6回	2020年9月14日(月)	9名	81.8%
第7回	2020年10月19日(月)	9名	81.8%
第8回	2020年11月16日(月)	9名	81.8%
第9回	2020年12月21日(月)	10名	90.9%
第10回	2021年1月18日(月)	11名	100.0%
第11回	2021年2月15日(月)	9名	81.8%
第12回	2021年3月15日(月)	9名	81.8%

## ■ 審議内容

## (1) 2020年4月20日(月)～23日(木)「持ち回り」

- 1) 薬事委員会規定の改定と薬事委員会開催日案が承認された。
- 2) 「スクエアキッズ皮下注シリンジ」の供給停止が報告され、代替薬に「テトラビック皮下注シリンジ」が承認された。
- 3) 採用薬品見直しアンケート調査結果が報告され、イトラコナゾールカプセルの院外専用薬への移行とフェロン注射用300・硫酸アルミニウムカリウム水和物の採用中止が承認された。
- 4) アダラートカプセル10mgの高血圧時の頓服使用の見直しが提案され、薬事委員会としてセパミットRカプセル10への変更を推奨する事が承認された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 3 品目  
外用薬 3 品目 (院外専用薬 2 品目含む)  
削除薬) 注射薬 0 品目 内服薬 2 品目  
外用薬 2 品目

## (2) 2020年5月15日(金)～19日(火)「持ち回り」

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 5 品目  
外用薬 1 品目 (院外専用薬 1 品目含む)  
削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 3 品目  
外用薬 2 品目

## (3) 2020年6月15日(月)「講 堂」

- 1) 先発薬品「リツキサン点滴静注100・500mg」から「リツキシマブBS点滴静注100・500mg(バイオシミラー)」への切替が承認された。
- 2) 薬品採用見直しアンケート調査結果が報告され、アカルディカプセル1.25mgの採用中止とタナドール顆粒75%・テモカプリル錠2mg・シラザプリル錠1mgの院外処方専用薬への移行が承認された。
- 3) 2019年度の薬事委員会の「やちぼうず」原稿が承認された。
- 4) 品不足を起こしている薬品(「ロミプレート皮下注250 $\mu$ g調整用」「アデホスコワ腸溶錠20」「トリノシン顆粒10%ヒート」「フラビタン錠10mg」「リユープリン注射製剤」)の流通状況とオーダーの可否状況が報告された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 3 品目  
外用薬 0 品目 (院外専用薬 1 品目含む)  
削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 2 品目

外用薬 0 品目

(4) 2020年7月20日(月)「講 堂」

- 1) 院外処方箋の一般名処方算定について薬剤部から提案が有り承認された。
- 2) 「リュープリン注射製剤」の在庫状況が報告され、比較的流通量が多いPRO製剤への変更を提案し了承された。
- 3) 採用薬品見直しアンケート調査の結果が報告され、グラセプターカプセル1mgの採用中止とハーボニー配合錠・ベスタチンカプセル・ルリッド錠150の院外処方専用薬への移行が承認された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 7 品目

外用薬 1 品目 (院外専用薬 4 品目含む)

削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 3 品目

外用薬 1 品目

(5) 2020年8月17日(月)「講 堂」

- 1) 令和2年度第一回後発薬品切替について11品目を提案し、選定表上位の後発薬品に切り替える事が了承された。
- 2) 「ゾレドロン酸点滴静注バッグ」が自主回収された為、サンド社製のバイアル製剤に切り替える事が承認された。
- 3) 「オザグレルNa点滴静注80mgバッグ」が自主回収された為、同メーカーのバイアル製剤に切り替える事が承認された。
- 4) 「ハリゾンシロップ」が自主回収された為、先発薬品の「ファンギゾンシロップ」に一時変更する事が承認された。
- 5) 「リュープリン注射製剤」の供給再開が報告されたが未だに供給量が不十分である事が報告された。
- 6) 採用薬品見直しアンケート調査の結果が報告され、ユーロジン錠1mgとラミシール錠125mgの院外処方専用薬への移行とバレイシヨテンブ原末の削除が承認された。

採用薬) 注射薬 4 品目 内服薬 9 品目

外用薬 0 品目 (院外専用薬 4 品目含む)

削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 6 品目

外用薬 0 品目

(6) 2020年9月14日(月)「講 堂」

- 1) 後発薬品の導入実績が報告され、今後も病院の収益向上の為に導入を推進する事が決議された。
- 2) 採用薬品見直しアンケート調査結果が報告され、タケルダ配合錠とハイゼット錠50mgの院外処方専用薬への移行が承認された。

採用薬) 注射薬 0 品目 内服薬 5 品目

外用薬 1 品目 (院外専用薬 0 品目含む)

削除薬) 注射薬 0 品目 内服薬 5 品目

外用薬 1 品目

(7) 2020年10月19日(月)「講 堂」

- 1) 「グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg/100mL NK」が自主回収された為、バイアル製剤(光製薬HK)に切り替える事が承認された。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の為、「ニューモバックスNP(肺炎球菌ワクチン)」が品薄状態になっているが当院への供給は従来どおりである事が報告された。
- 3) 院外処方推進の為のポスターを掲示する事が了承された。

採用薬) 注射薬 5 品目 内服薬 7 品目

外用薬 0 品目 (院外専用薬 2 品目含む)

削除薬) 注射薬 2 品目 内服薬 8 品目

外用薬 0 品目

(8) 2020年11月16日(月)「講 堂」

- 1) 「アイリーア硝子体内注射液40mg/mL」の適応外使用が倫理委員会で承認された事が報告された。
- 2) 「リュープリン注射用キット製剤」の品不足状態が継続中である事が報告された。
- 3) 採用薬品見直しアンケート調査結果が報告されメイアクトMS錠とパーロデル錠の院外処方専用薬への移行とバズクロス点滴静注液300mgの採用中止が承認された。
- 4) インフルエンザワクチンの品不足により外来・病棟の予約外の接種を中止する事が承認された。

採用薬) 注射薬 4 品目 内服薬 2 品目

外用薬 0 品目 (院外専用薬 1 品目含む)

削除薬) 注射薬 4 品目 内服薬 1 品目

外用薬 0 品目

(9) 2020年12月21日(月)「講 堂」

- 1) 「ラモセトロン塩酸塩注射液0.3mgEMEC」が供給停止の為、化学療法委員会の承認を得て当院の採用を中止する事が承認された。
- 2) 採用薬品見直しアンケート調査結果が報告され、ニコリンH注射液1gの採用中止とペキロンクリーム0.5%の院外処方専用薬への移行が承認された。
- 3) 日医工関連製造薬品の出荷停止により、当院採用10薬剤の他メーカーへの切替が承認された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 8 品目

外用薬 1 品目 (院外専用薬 4 品目含む)  
 削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 5 品目  
 外用薬 0 品目

(10) 2021年 1 月 18 日 (月) 「講 堂」

- 1) 日医工関連製造薬品の出荷停止の為に他メーカーへの代替案が薬剤部から提示され了承された。
- 2) 「メソトレキセート点滴静注液1000mg」の供給停止の為に、「メソトレキセート点滴注射液200mg」で代替する事が承認された。
- 3) 採用薬品見直しアンケート調査結果が報告され、パシーフカプセル30mgとレグナイト錠300mgの院外処方専用薬への移行が承認された。
- 4) 造影剤の「オイパロミン注シリンジ」が「イオパミドール注シリンジ」に名称変更する事が報告された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 7 品目  
 外用薬 4 品目 (院外専用薬 2 品目含む)  
 削除薬) 注射薬 3 品目 内服薬 4 品目  
 外用薬 3 品目

(11) 2021年 2 月 15 日 (月) 「講 堂」

- 1) 「リユープリン製剤」の品不足の為に、SR11.25mgからPRO22.5mgへの変更を推奨する事が承認された。
- 2) スチバーガ錠40mgの出荷制限により新規処方患者を制限していたが出荷が再開され解除された事が報告された。
- 3) 採用薬品見直しアンケート結果が報告され、リゾビスト注とレボビスト注の採用中止とイレッサ錠の院外専用薬への移行が承認された。

採用薬) 注射薬 1 品目 内服薬 3 品目  
 外用薬 2 品目 (院外専用薬 1 品目含む)  
 削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 2 品目  
 外用薬 1 品目

(12) 2021年 3 月 15 日 (月) 「中会議室」

- 1) 「メソトレキセート点滴静注液1000mg」の出荷再開が報告された。
- 2) 「オザグレルNa点滴静注80mgバッグ」の出荷再開が報告された。
- 3) 「トフラニール錠25mg」が自主回収の為に、10mg錠で代替する事が了承された。
- 4) 令和3年度の薬事委員会日程・委員会規定・委員が了承された。

採用薬) 注射薬 0 品目 内服薬 4 品目  
 外用薬 0 品目 (院外専用薬 2 品目含む)  
 削除薬) 注射薬 1 品目 内服薬 1 品目  
 外用薬 0 品目

■ 年間活動実績

(2020年度採用・削除薬品 総計)

		品目数 (内 後発薬品数)	
採用薬品数	内服薬	74	18
	注射薬	20	5
	外用薬	13	6
合 計	(院外専用薬24品目含む)	107	29
削除薬品数	内服薬	53	9
	注射薬	16	3
	外用薬	10	6
合 計	(院外専用薬 0 品目含む)	79	18

## (臨床研究)

### ■ 目的と方針

本委員会は、当院で実施される臨床研究が、「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」、「医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令」、「個人情報の保護に関する法律」及び、「臨床研究法」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、科学的かつ倫理的に実施されることを目的とする。

### ■ 2021年度の目標

1. 機構の治験ネットワークなどを利用した開発治験を実施するための審議を行う。
2. 医師主導による臨床研究を実施するための審議を行う
3. 医薬品の製造販売後の調査実施のための審議を行う
4. 医薬品の副作用詳細調査報告のための審議を行う

### ■ 委員会の構成

委員：13名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

#### [内 訳]

- ・医師：5名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・医療安全管理者：1名
- ・事務局：2名
- ・外部委員：2名
- ・書記：1名(薬剤師)

### ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

臨床研究審査委員会開催日(9回開催)

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年6月15日(月)	11名	84.6%
第2回	2020年7月20日(月)	12名	92.3%
第3回	2020年9月14日(月)	10名	76.9%
第4回	2020年10月19日(月)	11名	84.6%
第5回	2020年11月16日(月)	11名	84.6%
第6回	2020年12月21日(月)	12名	92.3%
第7回	2021年1月18日(月)	13名	100.0%
第8回	2021年2月15日(月)	11名	84.6%
第9回	2021年3月15日(月)	11名	84.6%

### ■ 審議内容

(1) 2020年6月15日(月)「講堂」

審議事項

- ・新規申請 臨床研究 1件
- ・継続申請 治験 2件

報告事項

(迅速審査)

- ・新規申請 臨床研究 7件  
製造販売後調査 1件
- ・継続申請 治験 2件 臨床研究 17件

(2) 2020年7月20日(月)「講堂」

審議事項

- ・新規申請 臨床研究 1件
- ・継続申請 治験 2件

報告事項

(迅速審査)

- ・新規申請 臨床研究 3件  
製造販売後調査 1件
- ・継続申請 臨床研究 4件  
製造販売後調査 3件

(3) 2020年9月14日(月)「講堂」

審議事項

- ・新規申請 臨床研究 1件
- ・継続申請 治験 2件

報告事項

(迅速審査)

- ・新規申請 臨床研究 2件  
製造販売後調査 1件
- ・継続申請 臨床研究 2件
- (その他)
- ・治験MT5547開発プログラム中止勧告について

(4) 2020年10月19日(月)「講堂」

審議事項

- ・新規申請 臨床研究 2件
- ・継続申請 治験 2件

報告事項

(迅速審査)

- ・継続申請 臨床研究 5件  
製造販売後調査 3件
- (終了報告)
- ・臨床研究 1件 製造販売後調査 1件

(5) 2020年11月16日(月)「講堂」

審議事項

- ・新規申請 臨床研究 1件
- ・継続申請 治験 2件

報告事項

(迅速審査)

- ・新規申請 臨床研究 1件  
副作用・感染症詳細調査 1件
- ・継続申請 治験 1件 臨床研究 2件
- (終了報告)
- ・製造販売後調査 1件

## (6) 2020年12月21日(月)「講堂」

## 審議事項

- 新規申請 臨床研究 2件
- 継続申請 治験 2件

## 報告事項

## (迅速審査)

- 新規申請 臨床研究 2件
- 継続申請 臨床研究 1件  
製造販売後調査 1件

## (終了報告)

- 製造販売後調査 1件

## (7) 2021年1月18日(月)「講堂」

## 審議事項

- 治験MT5547終了について
- 新規申請 臨床研究 2件

## 報告事項

## (迅速審査)

- 新規申請 臨床研究 1件
- 継続申請 治験 1件 臨床研究 3件  
製造販売後調査 1件

## (終了報告)

- 製造販売後調査 1件

## (8) 2021年2月15日(月)「講堂」

## 審議事項

- 新規申請 臨床研究 2件

## 報告事項

## (迅速審査)

- 新規申請 臨床研究 1件  
製造販売後調査 1件

## (9) 2021年3月15日(月)「中会議室」

## 審議事項

- 新規申請 臨床研究 1件
- 継続申請 治験 1件

## 報告事項

## (迅速審査)

- 新規申請 臨床研究 1件
- 継続申請 製造販売後調査 2件

## (終了報告)

- 製造販売後調査 1件

## ■ 活動実績

- 新規申請 臨床研究 31件  
製造販売後調査 4件  
副作用・感染症詳細調査 1件
- 継続申請 治験 17件 臨床研究 34件  
製造販売後調査 10件

## 目的と方針

DPC／クリニカルパス委員会は、DPC対象病院の要件である適切なコーディングを行う体制を確保するための委員会として設置され、医療の標準化と透明化を計り、医療サービスの質の向上およびクリニカルパスの効果的な運用と経営の改善を目的とする。

## 2021年度の目標

1. 院内電子クリニカルパスの効率的な運用及び新規作成や見直しを行う。
2. クリニカルパスにおける継続的な教育を行う。
3. DPC請求における適切なコーディングの検証の実施。

## 委員会の構成

委員：23名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：7名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：2名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：7名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

DPC／クリニカルパス委員会開催日（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月16日（木）	23名	100.0%
第2回	2020年5月21日（木）	22名	95.7%
第3回	2020年6月18日（木）	21名	91.3%
第4回	2020年7月16日（木）	23名	100.0%
第5回	2020年8月20日（木）	23名	100.0%
第6回	2020年9月17日（木）	23名	100.0%
第7回	2020年10月15日（木）	23名	100.0%
第8回	2020年11月19日（木）	21名	91.3%
第9回	2020年12月17日（木）	22名	95.7%
第10回	2021年1月21日（木）	21名	91.3%
第11回	2021年2月18日（木）	21名	91.3%
第12回	2021年3月18日（木）	22名	95.7%

## 審議内容

### (1) 2020年4月16日（木）「持ち回り」

- ・クリニカルパス委員会の組織構成（案）について
- ・DPC期間率について

- ・クリニカルパスに係る活動報告について
  - ・DPC基礎調査票の書式及び運用変更について
- (2) 2020年5月21日（木）「大会議室」
- ・各種高血圧時パスの頓服薬の変更（案）について
  - ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
- (3) 2020年6月18日（木）「大会議室」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
- (4) 2020年7月16日（木）「大会議室」
- ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
- (5) 2020年8月20日（木）「大会議室」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
  - ・ドクタークラークへの指示コメントの権限委譲について
  - ・患者説明用クリニカルパスの見直しについて
- (6) 2020年9月17日（木）「講堂」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
- (7) 2020年10月15日（木）「大会議室」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
  - ・適切なコーディングについて
- (8) 2020年11月19日（木）「大会議室」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
  - ・DPC期間を意識したクリニカルパスの作成について
- (9) 2020年12月17日（木）「大会議室」
- ・クリニカルパスの申請について
  - ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について
  - ・適切なコーディングについて
- (10) 2021年1月21日（木）「大会議室」
- ・DPC期間率について
  - ・クリニカルパスに係る活動報告について

## (11) 2021年2月18日(木)「大会議室」

- ・クリニカルパスの申請について
- ・DPC期間率について
- ・クリニカルパスに係る活動報告について
- ・適切なコーディングについて

## (12) 2021年3月18日(木)「大会議室」

- ・次年度委員会規程(案)について
- ・DPC期間率について
- ・クリニカルパスに係る活動報告について
- ・適切なコーディングについて
- ・整形外科のパス作成の進捗について

## ■ 年間活動実績

## 【クリニカルパス作成に係る活動について】

- ・BOMを導入したクリニカルパスの作成(25件)及び更新(1件)
- ・詳細なバリエーション分析の実施

## 【適切なコーディングについて】

	変更箇所	事例
10月	医療資源病名の変更	退院時、肺炎でコーディングを行っていたが、医療資源を見直しし、敗血症性ショックへと変更した例。
12月	医療資源病名の変更	退院時、肺炎でコーディングを行っていたが、診察記事や検査結果から、肺アスペルギルス症へと変更した例。
2月	医療資源病名の変更	退院時、肺癌でコーディングを行っていたが、診察記事や放射線治療を行っていた転移性骨腫瘍へと変更した例。
3月	医療資源病名の変更	複数の疾患に対し治療を行った症例について最も医療資源を投与した病名が正しいか確認した。

## 【DPC期間率について】

- ・急性期治療を行う医療施設として、全国平均であるDPC期間Ⅱ内での退院を目指した。(年間累計41%であった。)

## 目的と方針

本委員会は、地域医療連携総合センターの円滑な運営を行うため。各部門より報告を行い、情報共有し連携を図ることで、地域医療の質の向上に貢献寄与することを目的とする。また、機能分担、専門性を明確にした他医療施設との連携強化を推進する。

## 2021年度の目標

1. 地域医療機関との連携強化（ホームページ・広報誌等による情報提供）
2. 退院調整部門の連携強化により、スムーズな退院・転院をサポートする。
3. 治療就労両立支援事業の強化
4. PFMの運用強化

## 委員会の構成

委員：19名

（2021年3月現在、委員長を含む）

### [内 訳]

- ・医師：9名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・事務局：5名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

地域医療連携総合センター運営委員会（11回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2019年4月27日(月)	19名	100.0%
第2回	2019年5月25日(月)	19名	100.0%
第3回	2019年6月22日(月)	17名	89.5%
第4回	2019年7月27日(月)	19名	100.0%
第5回	2019年9月28日(月)	17名	89.5%
第6回	2019年10月26日(月)	18名	94.7%
第7回	2019年11月30日(月)	17名	89.5%
第8回	2019年12月21日(月)	16名	84.2%
第9回	2020年1月25日(月)	18名	94.7%
第10回	2020年2月25日(月)	19名	100.0%
第11回	2020年3月22日(月)	18名	94.7%

## 審議内容

### (1) 2020年4月27日(月)

- ・2020年度委員会規程について
- ・2019年度（紹介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について
- ・がん相談、両立支援業務の実績報告について
- ・地域包括ケア病棟実施報告について

### (2) 2020年5月25日(月)「大会議室」

- ・2020年度（紹介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について
- ・がん相談、両立支援業務の実績報告について
- ・地域包括ケア病棟実施報告について
- ・地域連携総合センター内（PFM部門等）の一部改修について

### (3) 2020年6月22日(月)「大会議室」

- ・2020年度（紹介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について
- ・がん相談、両立支援業務の実績報告について
- ・地域包括ケア病棟実施報告について

### (4) 2020年7月27日(月)「大会議室」

- ・2020年度（紹介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について
- ・がん相談、両立支援業務の実績報告について
- ・地域包括ケア病棟実施報告について

### (5) 2020年9月28日(月)「大会議室」

- ・2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について
- ・がん相談、両立支援業務の実績報告について
- ・地域包括ケア病棟実施報告について

### (6) 2020年10月26日(月)「大会議室」

- ・2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- ・地域医療支援病院関連報告について
- ・退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- ・転院、施設入所等の動向について

- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について
- オンライン会議開催について

(7) 2020年11月30日（月）「大会議室」

- 2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- 地域医療支援病院関連報告について
- 退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- 転院、施設入所等の動向について
- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について

(8) 2020年12月21日（月）「大会議室」

- 2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- 地域医療支援病院関連報告について
- 退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- 転院、施設入所等の動向について
- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について

(9) 2021年1月25日（月）「大会議室」

- 2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- 地域医療支援病院関連報告について
- 退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- 転院、施設入所等の動向について
- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について
- 2021年度病病・病診連携サービス実態調査報告について

(10) 2021年2月25日（月）「大会議室」

- 2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- 地域医療支援病院関連報告について
- 退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- 転院、施設入所等の動向について
- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について
- 2021年度 委員会規程（案）について

(11) 2021年3月22日（月）「大会議室」

- 2020年度（介率・逆紹介率）実績報告について
- 地域医療支援病院関連報告について
- 退院調整、PFMの進捗・実績報告について
- 転院、施設入所等の動向について
- がん相談、両立支援業務の実績報告について
- 地域包括ケア病棟実施報告について

## ■ 目的と方針

H I V 運営委員会は、エイズ患者の診断的治療のケア実践及び近隣地域住民を対象にエイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発の推進を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

本委員会は、エイズ患者の診断的治療のケア実践及び近隣地域住民を対象にエイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発の推進を図るため、以下の活動を行う。

1. 近隣医療機関(拠点病院・協力病院等)へのH I V 診療支援及び連携、研修の実施と情報提供による人材育成。(道東地区エイズ拠点病院等連絡協議会・研修会等)
2. エイズ・性感染症の予防・啓発に関する支援活動。(H I V 抗体検査会、師走講演会等)
3. エイズ・性感染症の予防・啓発に関する情報の収集・発信及び職員の教育。
4. エイズ患者における診療体制に関すること。
5. その他、当方針を達成するために必要な事案の実施。

## ■ 委員会の構成

委員：15名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- 医師：3名
- 薬剤師：1名
- 心理判定員：1名
- M S W：1名
- 看護師：3名
- 臨床検査技師：1名
- リハビリ技師：1名
- 事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年6月10日(水)	14名	93.3%

## ■ 審議内容

(1) 2020年6月10日(水)「小会議室」

- 委員会規定について
- 2019年度のエイズ治療中核拠点对策推進事業委託業務の収入・支出内訳について
- 2020年度委員会運営計画について
- カンファレンス報告について

- 2019年度のH I V 検査会実施結果について

## ■ 実績

道東エイズ中核拠点病院協議会・研修会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

H I V 抗体検査会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

12月 第17回 師走講演会

日時 令和2年12月13日(日) 16:00～18:00

講演Ⅰ 新型コロナウイルスでも繰り返される偏見や差別

演者 岩室紳也氏(横浜からのリモート講演)

講演Ⅱ コロナの時代：ケニアH I V 医療支援の現状と展望

演者 稲田頼太郎氏(ナイロビからのリモート講演)

# 診療医事業務／査定減対策委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

本委員会は、医事業務の運用にあたって、医療、看護、事務等各部門の調整と問題点の改善を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 医事関連業務の実施、現状分析と不完全事項の確認
2. 解決策と実施計画の決定
3. 実施効果の測定
4. 運営上の調整
5. 査定減対策
6. その他医事業務に関して

## ■ 委員会の構成

委員：27名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：13名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：6名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、実績

診療医事業務/査定減対策委員会 (12回開催)

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月30日(木)	27名	100.0%
第2回	2020年5月28日(木)	23名	85.2%
第3回	2020年6月25日(木)	24名	88.9%
第4回	2020年7月22日(水)	24名	88.9%
第5回	2020年8月27日(木)	24名	88.9%
第6回	2020年9月24日(木)	25名	92.6%
第7回	2020年10月23日(金)	24名	88.9%
第8回	2020年11月26日(木)	24名	88.9%
第9回	2020年12月24日(木)	25名	92.6%
第10回	2021年1月27日(水)	22名	81.5%
第11回	2021年2月25日(木)	24名	88.9%
第12回	2021年3月25日(木)	25名	92.6%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年4月30日(木)「持ち回り」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・特定薬剤治療管理料2・薬剤総合評価調整加算の

算定手順について

- ・救急医療管理加算に係る「入院時の状態についての確認票」の変更について

### (2) 2020年5月28日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・救急医療管理加算1に係る入院時の状態確認票について
- ・せん妄予防のためのハイリスクケア患者ケアフローチャートについて
- ・2022年度診療報酬改定に向けた収入確保対策の選定について

### (3) 2020年6月25日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・院外処方箋の一般名処方算定について

### (4) 2020年7月22日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について

### (5) 2020年8月27日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・急性気道感染症、急性下痢症における経口抗菌薬処方時の病名の記載について

### (6) 2020年9月24日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・インフルエンザ予防接種について
- ・待合スペースの密状態の緩和に係る予約票への案内文掲載について

### (7) 2020年10月23日(金)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・再審査請求手続き状況について
- ・入院中外来受診手続きについて
- ・日付をまたぐ深夜緊急手術時の入院指示について

### (8) 2020年11月26日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・入院中外来受診手続きについて

### (9) 2020年12月24日(木)「大会議室」

- ・査定状況について
- ・査定症例報告について
- ・入院中外来受診手続きについて

- 他院からの放射線治療患者受入について（遠方等より通院が不可能な場合）

(10) 2021年1月27日（水）「大会議室」

- 査定状況について
- 査定症例報告について
- 入院中外来受診手続きについて

(11) 2021年2月25日（木）「大会議室」

- 査定状況について
- 査定症例報告について

(12) 2021年3月25日（木）「大会議室」

- 査定状況について
- 査定症例報告について
- 2021年度委員会規程等の見直しについて

# 診療情報／個人情報管理委員会

委員長 伊 東 雅 基

第12回※ 2021年3月12日(金) 19 95.0%

## 目的と方針

### (個人情報)

院内のセキュリティを維持するために必要な手続きや組織内でのマネジメントシステムを構築して、個人情報情報を適切に保護することを目的とする。

### (診療情報)

診療情報管理全般について審議し、診療情報整理業務の質的向上を図るため、指導と援助を行う。

※個人情報管理委員会開催

## 2021年度の目標

### (個人情報)

1. ポリシーが遵守されているかの定期的な確認と問題点及び改善
2. 情報セキュリティに関する教育・啓蒙活動

### (診療情報)

1. 入院診療録の退院後2週間以内の回収100%の継続
2. 入院診療録の質的向上

## 委員会の構成

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

委員：20名

### [内 訳]

- ・医師：7名
- ・看護師：2名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・事務局：7名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

診療情報個人情報管理委員会開催日

(12回開催のうち個人情報管理委員会2回)

	開催日	出席人数	出席率
第1回※	2020年4月10日(金)	19	95.0%
第2回	2020年5月8日(金)	20	100.0%
第3回	2020年6月12日(金)	18	90.0%
第4回	2020年7月10日(金)	19	95.0%
第5回	2020年8月14日(金)	17	85.0%
第6回	2020年9月11日(金)	18	90.0%
第7回	2020年10月9日(金)	17	85.0%
第8回	2020年11月13日(金)	18	90.0%
第9回	2020年12月11日(金)	19	95.0%
第10回	2021年1月12日(火)	12	60.0%
第11回	2021年2月12日(金)	19	95.0%

## 審議内容

### (1) 2020年4月10日(金)「大会議室」

- ・拠点個人管理者等の業務(個人情報保護規程抜粋)及び個人情報保護管理体制(案)について
- ・入院診療録質的監査における監査項目等の見直しについて
- ・診療情報個人情報管理委員会の規程について
- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療計画書の不備について

### (2) 2020年5月8日(金)「持ち回り」

- ・令和2年度診療録等の廃棄について(案)
- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(8西・8東病棟)
- ・入院診療計画書の不備について

### (3) 2020年6月12日(金)「大会議室」

- ・対象となりうる多職種カンファレンスについて(監査項目より)
- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(7西・7東病棟)
- ・入院診療計画書の不備について

### (4) 2020年7月10日(金)「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(6西・6東病棟)
- ・入院診療計画書の不備について

### (5) 2020年8月14日(金)「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(5西・5東病棟)
- ・入院診療計画書の不備について

### (6) 2020年9月11日(金)「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(4西)
- ・入院診療計画書の不備について

### (7) 2020年10月9日(金)「大会議室」

- ・令和2年度後期入院診療録質的監査実施(案)について
- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療計画書の不備について

### (8) 2020年11月13日(金)「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について(8西・8東)

- ・入院診療計画書の不備について
- ・スキャンを必要とする文書の転科時の取り扱いについて

(9) 2020年12月11日 (金) 「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について (7西・7東)
- ・入院診療計画書の不備について
- ・スキャンを必要とする文書の転科時の取り扱いについて

(10) 2021年1月12日 (火) 「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について (6西・6東)

- ・入院診療計画書の不備について

(11) 2021年2月12日 (金) 「大会議室」

- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について (5西・5東)
- ・入院診療計画書の不備について

(12) 2021年3月12日 (金) 「大会議室」

- ・診療情報/個人情報管理委員会の規程について
- ・診療録未回収状況及び2週間回収率の報告
- ・入院診療録質的監査について (4西)
- ・入院診療計画書の不備について
- ・令和2年度診療録等の廃棄について

実 績

診療録未回収状況

(委員会報告時の前月分回収率) 2週間回収率

報告月	回収率	退院数	報告月	回収率
4月	96.0%	630	4月	100.0%
5月	100.0%	624	5月	100.0%
6月	98.0%	651	6月	100.0%
7月	99.6%	721	7月	99.6%
8月	99.4%	711	8月	99.3%
9月	98.8%	671	9月	100.0%
10月	99.9%	816	10月	100.0%
11月	99.2%	711	11月	99.6%
12月	99.4%	851	12月	100.0%
1月	98.9%	698	1月	100.0%
2月	99.2%	746	2月	100.0%
3月	97.4%	869	3月	99.7%
			年間	99.8%

入院診療録質的監査

令和2年度 入院診療録監査

項目	監査項目	R2.4		R2.5		R2.6		R2.7		R2.8		R2.10		R2.11		R2.12		R3.1		R3.2	
		8東(内科)	8東(外科)	7西(神内)	7東(整形外科)	6西(脳外)	6東(内科)	5西(内科)	5東(内科)	4西(耳鼻科)	4東(泌尿科)	8西(外科)	8東(泌尿科)	7西(神内)	7東(整形外科)	6西(脳外)	6東(内科)	5西(内科)	5東(内科)	4西(脳科)	4東(脳科)
1	入院診療録診断名は記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<医師記録>																				
2	1日1頁は、医師が観察した経過(観察)が記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	少なくとも週に1回以上、アセスメント・診療計画(カンファレンス含む)が記載されているか(診療科としての計画、方針)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	病状説明に対して、患者本人(家族を含む)の反応は、医師記録に記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<看護記録>																				
5	1日1頁は、看護師が観察した経過(観察)が記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	病状説明に対して、患者本人(家族を含む)の反応や希望を聞き、看護記録に記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	看護計画実施と評価修正が確実に記載されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<プロセス評価>																				
8	病状説明に医師だけでなく、看護師及びその他の医療職が関与しているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	多職種(医師・看護師のほか適切な医療職を含む)による検討が行われているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	記載内容は適切か	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<その他>																				
11	医師記録と監査票において設定している診療情報データとの整合性がとれているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	スキャンを必要とする文書は正しく管理されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*改善無し: ○ 一部改善有り: △ 改善有り: ○ 該当無し: /

# 医療安全推進委員会

委員長 小笠原 和 宏

## 目的と方針

本委員会は、当院における医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立するために必要な事項を定めることを目的とする。

## 2021年度の目標

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

- 各部署ごとの災害時におけるアクションカードを作成することで、職員が災害マニュアルに沿った行動で取れる。
- ダブルチェックの方法を従来の2人連続型のダブルチェックから、2人同時双方型のダブルチェックへ変更し、安全な確認動作の手順が確立できる。

## 委員会の構成

委員：17名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：3名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：5名

## 年間活動

2020年度開催日と協議内容

医療安全推進委員会開催日（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月15日（水）	15名	88.2%
第2回	2020年5月20日（水）	15名	88.2%
第3回	2020年6月17日（水）	13名	76.5%
第4回	2020年7月15日（水）	15名	88.2%
第5回	2020年8月19日（水）	15名	88.2%
第6回	2020年9月16日（水）	13名	76.5%
第7回	2020年10月21日（水）	13名	76.5%
第8回	2020年11月18日（水）	14名	82.3%
第9回	2020年12月16日（水）	14名	82.3%
第10回	2021年1月20日（水）	13名	76.5%
第11回	2021年2月17日（水）	14名	82.3%
第12回	2021年3月17日（水）	12名	70.6%

## 審議内容

### (1) 2020年4月15日（水）「大会議室」

- ・インシデント・アクシデント報告について
- ・リスクマネージャー部会報告について
- ・医療安全に係るカンファレンス報告について
- ・2019年度インシデント・アクシデント報告について
- ・委員会規程・今年度の目標・RM部会規程について
- ・内視鏡抗血栓薬休薬表について
- ・今後の委員会について

### (2) 2020年5月20日（水）「大会議室」

- ・インシデント・アクシデント報告について
- ・リスクマネージャー部会報告について
- ・医療安全に係るカンファレンス報告について
- ・MRI検査における体内金属等のガイドラインについて
- ・医薬品安全使用のための業務手順書の改訂について
- ・内視鏡抗血栓薬休薬表について
- ・手術・侵襲の手技時に休薬を要する薬剤の中止期間一覧表について
- ・観血的医療実施時における抗血栓薬の休薬についての説明・承諾書について

### (3) 2020年6月17日（水）「大会議室」

- ・インシデント・アクシデント報告について
- ・リスクマネージャー部会報告について
- ・医療安全に係るカンファレンス報告について
- ・手術・侵襲の手技時に休薬を要する薬剤の中止期間一覧表について
- ・医療安全チェックシートについて
- ・医療安全研修について
- ・令和2年度 医療安全確保のための改善計画書について

### (4) 2020年7月15日（水）「大会議室」

- ・インシデント・アクシデント報告について
- ・リスクマネージャー部会報告について
- ・医療安全に係るカンファレンス報告について
- ・労災病院間医療安全相互チェックについて
- ・市内総合病院間の相互チェックについて

### (5) 2020年8月19日（水）「大会議室」

- ・インシデント・アクシデント報告について
- ・リスクマネージャー部会報告について
- ・医療安全に係るカンファレンス報告について

- ・医療安全対策マニュアルの追加について
  - ・内視鏡抗血栓薬休薬表について
- (6) 2020年9月16日(水)「大会議室」
- ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・CVポート変更に伴う検討事項について
  - ・医療安全相互チェック(釧路市内・労災病院間)について

- (7) 2020年10月21日(水)「大会議室」
- ・医療安全対策マニュアルの改訂について
  - ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全週間について
  - ・特定行為研修における緊急報告体制について

- (8) 2020年11月18日(水)「大会議室」
- ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全に係るカンファレンス報告について
  - ・リスクアセスメントスコアシートの修正について
  - ・令和2年度労災病院間医療安全相互チェックのテーマについて
  - ・患者の荷物預り証について

- (9) 2020年12月16日(水)「大会議室」
- ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全に係るカンファレンス報告について
  - ・「医療安全推進週間」実施報告書について

- (10) 2021年1月20日(水)「大会議室」
- ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全に係るカンファレンス報告について
  - ・医療安全相互チェック 釧路孝仁会記念病院の評価について
  - ・造影剤投与マニュアルの改訂について
  - ・中心静脈カテーテルからの造影剤注入指示に対する注意喚起について
  - ・医療安全必須研修について

- (11) 2021年2月17日(水)「大会議室」
- ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全に係るカンファレンス報告について
  - ・造影剤の急性副作用低減を目的とした直前ステロイド静注中止の提言の例外について

- (12) 2021年3月17日(水)「大会議室」
- ・2021年度の委員会目標について
  - ・医療安全推進委員会規程・医療事故調査部会規程・医療に係る安全管理のための指針の改訂について
  - ・2021年度委員会開催日程(案)について
  - ・地域医療相互チェック みなみ病院のチェック結果について
  - ・転倒・転落マニュアルについて
  - ・地域医療相互チェック 釧路赤十字病院による当院の評価結果について
  - ・インシデント・アクシデント報告について
  - ・リスクマネージャー部会報告について
  - ・医療安全に係るカンファレンス報告について

## 年間活動実績

### 【インシデント・アクシデント報告件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	36	19	30	25	25	22	47	46	27	28	18	23	346
1	61	59	75	89	89	61	74	71	84	74	75	52	864
2	22	35	20	24	40	23	30	19	35	24	22	24	318
3 a	9	2	6	7	12	4	6	9	7	7	4	7	80
3 b	6	1	4	1	3	1	5	2	4	0	2	3	32
4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	134	116	135	146	171	111	162	147	157	133	121	109	1,642

### 【医療安全対策研修会開催状況】

	開催日	テーマ	出席人数
第1回	2020年1月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療放射線の安全管理について</li> <li>・経口血糖降下剤の安全管理 スルホニル尿素剤(SU剤)の注意点</li> <li>・当院のインシデント・アクシデント報告について</li> </ul>	605名

# 医療情報システム委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

本委員会は、電子カルテシステムを中核として各部門との連携を図り、情報の相互利用・共有化を実施するため、その取扱い及び管理に関し必要な事項を審議し、当院において診療情報を適正に管理・利用することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 電子カルテシステムを中核として、各部門との連携を図り、情報の相互利用・共有化を実施するため、その取扱い及び管理に関し必要な事項を審議し、診療情報を適正に管理・利用する。
2. システム更新を見据え、基幹システム及び各部門システムにおける障害発生を総括し改訂要望を集積する。
3. 2021年度実施するシステム更新について、円滑な移行、運用ができるよう管理する。

## ■ 委員会の構成

委員：15名

オブザーバー：1名（IT専門員、コンサルタント、病院情報システムベンダー）

（2021年3月現在、委員長・書記を含む）

### 〔内 訳〕

- ・医師：2名
- ・看護師：4名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・事務局：5名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

医療情報システム委員会（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月28日(火)	15人	100.0%
第2回	2020年5月26日(火)	14人	93.3%
第3回	2020年6月23日(火)	14人	93.3%
第4回	2020年7月28日(火)	13人	86.7%
第5回	2020年8月25日(火)	14人	93.3%
第6回	2020年9月29日(火)	14人	93.3%
第7回	2020年10月27日(火)	14人	93.3%
第8回	2020年11月24日(火)	13人	86.7%
第9回	2020年12月22日(火)	13人	86.7%
第10回	2021年1月26日(火)	14人	93.3%
第11回	2021年2月24日(水)	14人	93.3%
第12回	2021年3月23日(火)	14人	93.3%

## ■ 審議内容

- (1) 2020年4月28日(火)「持ち回り」
  - ・令和2年度医療情報システム・情報セキュリティ管理体制及び緊急連絡網(案)について
- (2) 2020年5月26日(火)「大会議室」
  - ・内科外来7・8診察室電子カルテ端末設置について
- (3) 2020年6月23日(火)「大会議室」
  - ・放射線技師への診療情報提供書の閲覧権限付与について
  - ・緩和ケア病棟設置に伴うWi-Fi導入に関する方向性について
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (4) 2020年7月28日(火)「大会議室」
  - ・インターネット端末調査の実施について
  - ・電気設備の法定点検に伴うシステム停止について
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (5) 2020年8月25日(火)「大会議室」
  - ・電子カルテ操作権限付与について
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (6) 2020年9月29日(火)「大会議室」
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (7) 2020年10月27日(火)「大会議室」
  - ・調剤支援システムの更新について
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (8) 2020年11月24日(火)「大会議室」
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
  - ・病院情報システムプロジェクト会議での決定事項に係る委員会承認について
- (9) 2020年12月22日(火)「大会議室」
  - ・病院情報システムプロジェクト会議での決定事項に係る委員会承認について
  - ・医療情報プロジェクト会議の議題について
  - ・NECからの作業報告(システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定)
- (10) 2021年1月26日(火)「大会議室」
  - ・必要時注射薬払い出し運用の変更について
  - ・医療情報プロジェクト会議の議題について

- NECからの作業報告（システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定）

(11) 2021年2月24日（水）「大会議室」

- 2021年度医療情報システム委員会規程（案）について
- 医療情報プロジェクト会議の議題について
- 病院情報システム評価委員会の設置について
- NECからの作業報告（システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定）

(12) 2021年3月23日（火）「大会議室」

- 文書フォルダ内の「薬剤部」フォルダ作成について
- 医療情報プロジェクト会議の議題について
- NECからの作業報告（システム対応作業報告、今後のシステム対応作業予定）

# 機器等整備委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

本委員会は、機器等整備計画の作成及び購入する機種 of 適正な選定に資すること、購入機器の活用状況を確認することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 医療の向上及び経営基盤の強化を踏まえ、適正な機種を選定し機器等計画を作成する。
2. 機器購入後の活用状況を確認し、更なる活性化を図る。

## ■ 委員会の構成

委員：23名

(2021年3月現在、委員長含む)

### [内 訳]

- ・医師：8名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・事務局：7名

## ■ 年間活動内容

2020年度開催日と協議内容

機器等整備検討委員会開催日（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年9月25日(金)	19名	82.6%
第2回	2020年10月16日(金)	18名	78.3%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年9月25日(金)「講堂」

#### [審議内容]

- ・令和3年度計画機器の選定・優先順位の決め方について
- ・令和3年度機器等整備計画について

#### [報告事項]

- ・令和2年度購入実績（器械備品）と費用対効果について

### (2) 2020年10月16日(金)「大会議室」

#### [審議内容]

- ・令和3年度機器等整備計画について
- ・令和3年度機器等整備計画の購入について

#### [報告事項]

- ・令和2年度機器等整備計画外の要求について
- ・令和3年度機器等整備計画からもれた機器を各委員に周知する。

## 実績

令和2年度 導入機器（内訳）

No.	品名	数量	メーカー名	取得月
1	万能型看護実習モデル 八重	1式	京都科学	R2.5
2	オンラインHDF用輸液ポンプ	1式	東レ・メディカル	R2.6
3	糖尿病検査システム	1式	アークレイ	R2.6
4	電動ベッド	2台	パラマントベッド	R2.6
5	放射線治療計画システム	1式	日立製作所	R2.9
6	医用テレメーター	1式	日本光電	R2.11
7	短時間判定用生物学的培養判定装置	1台	スリーエムジャパン	R2.12
8	血液保冷庫	1式	PHC	R2.12
9	全身麻酔装置	2台	GEヘルスケア	R2.12
10	超音波画像診断装置	2台	キャノンメディカル	R2.12
11	超音波画像診断装置	2台	GEヘルスケア	R2.12
12	全自動化学発酵酵素免疫測定装置	1式	富士ビレオ	R2.12
13	脱水洗濯機	1台	エレクトロラックス	R2.12
14	除雪機	1台	ヤマハ発動機	R2.12
15	電動ドリルシステム	1式	エースクラップ	R2.12
16	患者保温・加温ヒーター	1台	島津メディカル	R2.12
17	可搬式歯科用ユニット	1式	モリタ製作所	R3.1
18	人工呼吸器	1式	アイ・エム・アイ	R3.1
19	HERAフィルター付空気清浄機	1台	ジーニアルアイト	R3.1
20	サージカルチェア	1式	村中医療	R3.2
21	血液浄化装置	1式	旭化成メディカル	R3.2
22	外科用X線撮影装置	1式	GEヘルスケア	R3.2
23	高精度サーマルカメラ	1式	三星ダイヤモンド工業	R3.2
24	自動ジェット式洗浄装置	1式	村中医療	R3.2
25	回診用X線装置	2台	日立製作所	R3.2
26	電動ベッド	10台	パラマントベッド	R3.2
27	空気清浄機付パーテーション	5台	日本エアータック	R3.2
28	冷蔵ショーケース	3台	パナソニック	R3.2
29	立体撮影台	1台	大林製作所	R3.3
30	人工呼吸器	2台	コヴィディエン	R3.3
31	バイオプロテクション空間清浄機	1台	東機貿	R3.3
32	頭部固定装置	1式	欧和通商	R3.3
33	4Kカメラシステム	1式	GAZOWAN	R3.3
34	スタンディングテーブル	1台	酒井医療	R3.3
35	LED光源装置	1式	永島医科器械	R3.3
36	マルチスライスCT	1式	キャノンメディカル	R3.3
37	3D画像処理ワークステーション	1式	キャノンメディカル	R3.3
38	CT用寝台左右動ユニット	1式	キャノンメディカル	R3.3
39	内視鏡洗浄消毒器	1式	APS Japan	R3.3
40	写真撮影装置	1式	杉浦研究所	R3.3
41	バイオハザード対策キャビネット	1台	PHC	R3.3
42	HERAフィルター付空気清浄機	3台	ジーニアルアイト	R3.3
43	電動ベッド	8台	パラマントベッド	R3.3
44	陰圧キャリングベッド	1台	日本医化器械製作所	R3.3
45	車椅子型アイソレーター	1台	日本医化器械製作所	R3.3
46	無影灯	1式	ドレーゲル	R3.3
47	産業用中温型天吊エアコン	1式	日立	R3.3

## ■ 目的と方針

救急診療の運営にあたって、医療、看護、事務等各部門の調整と問題点の改善を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 救急診療関連業務の実施、現状分析と問題点の改善
2. 救急診療ガイドライン、要綱の策定
3. 宿日直業務の実施
4. 運営上の調整
5. その他救急診療業務

## ■ 委員会の構成

委員：20名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### [内 訳]

- ・医師：7名
- ・看護師：4名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・事務局：5名

## ■ 年間活動

2020年度開催日と審議内容、実績

救急診療運営委員会開催日（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月15日（水）	18名	90.0%
第2回	2020年5月20日（水）	20名	100.0%
第3回	2020年6月15日（月）	18名	90.0%
第4回	2020年7月15日（水）	19名	95.0%
第5回	2020年8月19日（水）	16名	80.0%
第6回	2020年9月16日（水）	16名	80.0%
第7回	2020年10月21日（水）	18名	90.0%
第8回	2020年11月18日（水）	19名	95.0%
第9回	2020年12月16日（水）	17名	85.0%
第10回	2021年1月20日（水）	16名	80.0%
第11回	2021年2月17日（水）	19名	95.0%
第12回	2021年3月17日（水）	19名	95.0%

## ■ 審議内容

- (1) 2020年4月15日（水）「大会議室」
  - ・診療科別ガイドライン対応基準について
  - ・救急診療室のレイアウトについて
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- (2) 2020年5月20日（水）「持ち回り」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- (3) 2020年6月15日（月）「大会議室」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
  - ・救急診療室のレイアウトについて
- (4) 2020年7月15日（水）「大会議室」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- (5) 2020年8月19日（水）「大会議室」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- (6) 2020年9月16日（水）「大会議室」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
  - ・宿日直時の救急搬送依頼に係る意見について
- (7) 2020年10月21日（水）「大会議室」
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
  - ・救急医療管理加算1、2の算定に係る「入院時の状態についての確認票」の評価について
- (8) 2020年11月18日（水）「大会議室」
  - ・救急医療管理加算1及び2の算定にあたっての基準等について
  - ・釧路市消防本部からの相談について
  - ・宿日直業務打合せについて
  - ・救急診療実績報告について
  - ・救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- (9) 2020年12月16日（水）「大会議室」
  - ・救急外来のノートパソコン新規購入について

- 夜間・休日の内科二次救急受入時の対応について
- 宿日直業務打合会について
- 救急診療実績報告について
- 救急患者の受入が出来なかった実績報告について

(10) 2021年 1月20日 (水) 「大会議室」

- 宿日直業務打合会について
- 救急診療実績報告について
- 救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- 救急外来での救急隊・他院からの電話対応について

(11) 2021年 2月17日 (水) 「大会議室」

- 宿日直業務打合会について
- 救急診療実績報告について
- 救急患者の受入が出来なかった実績報告について

(12) 2021年 3月17日 (水) 「大会議室」

- 救急診療運営委員会規定（案）について
- 各診療科の時間外救急の対応方法についての調査依頼について
- 宿日直業務打合会について
- 救急診療実績報告について
- 救急患者の受入が出来なかった実績報告について
- 救急外来での救急隊・他院からの電話対応について
- 時間外における放射線部の体制について
- 傷病者引継書について

## ■ 目的と方針

本委員会は、がん診療及び緩和医療の実施にあたり、予防・診断・手術療法・化学療法・放射線療法・免疫療法を効果的に組み合わせた集学的治療および終末期医療の様々な段階に対して、専門の立場から適切な医療を提供する体制を整備し、医療の質の向上を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 緩和ケアマニュアルの整備、Webカンファレンスや勉強会を開催し、院内職員へ周知することで、統一した緩和ケアの実践に向けて活動する。
2. 地域の人々および医療従事者に緩和ケアを周知し協働することで、地域で暮らす人々に質の高いケアを提供する。

## ■ 委員会の構成

委員：20名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### [内 訳]

- ・医師：7名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・心理判定員：1名
- ・事務局：6名

## ■ 年間活動内容と実績

2021年度開催日と審議内容

緩和医療委員会 (12回開催)

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月9日(木)	16名	80.0%
第2回	2020年5月14日(木)	20名	100.0%
第3回	2020年6月11日(木)	19名	95.0%
第4回	2020年7月9日(木)	16名	80.0%
第5回	2020年8月13日(木)	18名	90.0%
第6回	2020年9月10日(木)	15名	75.0%
第7回	2020年10月8日(木)	17名	85.0%
第8回	2020年11月12日(木)	18名	90.0%
第9回	2020年12月12日(木)	18名	90.0%
第10回	2021年1月14日(木)	17名	85.0%
第11回	2021年2月4日(木)	16名	80.0%
第12回	2021年3月11日(木)	18名	90.0%

## ■ 審議内容

- (1) 2020年4月9日(木)「大会議室」
  - ・緩和ケアチームの活動報告(3月分)
  - ・ワーキンググループ活動報告(3月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
  - ・緩和ケア研修会の日程について
- (2) 2020年5月14日(木)「大会議室」
  - ・緩和ケア病床について
  - ・緩和ケアチームの定期ラウンド、定期カンファレンスについて
  - ・地域連携WGの活動計画について
  - ・緩和ケアチームの活動報告(4月分)
  - ・ワーキンググループ活動報告(4月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (3) 2020年6月11日(木)「大会議室」
  - ・緩和ケア病棟(病床)の試行的運用(案)について
  - ・緩和ケアチームの活動報告(5月分)
  - ・ワーキンググループの活動報告(5月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (4) 2020年7月9日(木)「大会議室」
  - ・緩和ケアチームの活動報告(6月分)
  - ・ワーキンググループの活動報告(6月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (5) 2020年8月13日(木)「大会議室」
  - ・緩和ケアマニュアル改訂について
  - ・乳がん検診啓発活動について
  - ・緩和ケアチームの活動報告(7月分)
  - ・ワーキンググループの活動報告(7月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (6) 2020年9月10日(木)「大会議室」
  - ・終末期医療現場にテレビ電話面会を広めるプロジェクトへの参加について
  - ・緩和ケア内科「無料出前講座」の開催について
  - ・緩和ケアチームの活動報告(8月分)
  - ・ワーキンググループの活動報告(8月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (7) 2020年10月8日(木)「大会議室」
  - ・院内でのスマートフォン・タブレットの使用について
  - ・緩和ケアチームの活動報告(9月分)
  - ・ワーキンググループの活動報告(9月分)
  - ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果
- (8) 2020年11月12日(木)「大会議室」

- ・病棟でのスマートフォンの使用について
- ・緩和ケアチームの活動報告（10月分）
- ・ワーキンググループの活動報告（10月分）
- ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果

(9) 2020年12月10日（木）「大会議室」

- ・緩和ケアチームの活動報告（11月分）
- ・ワーキンググループの活動報告（11月分）
- ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果

(10) 2021年1月14日（木）「大会議室」

- ・がんサロン「ひなたぼっこ」について
- ・画像カンファレンスについて
- ・緩和ケアチームの活動報告（12月分）
- ・ワーキンググループの活動報告（12月分）
- ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果

(11) 2021年2月4日（木）「大会議室」

- ・緩和ケアチームの活動報告（1月分）
- ・ワーキンググループの活動報告（1月分）
- ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果

(12) 2021年3月11日（木）「大会議室」

- ・次年度の委員会規程、委員の変更について
- ・緩和ケアチームの活動報告について（2月分）
- ・ワーキンググループの活動報告（2月分）
- ・がん患者緩和ケアスクリーニングシート集計結果

## ■ 年間活動実績

### 緩和ケアチームの活動実績

①緩和ケア外来患者数：合計464人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27人	28人	33人	29人	36人	37人	38人	35人	40人	48人	54人	59人

②緩和ケアチームによる介入件数：合計582件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
57件	63件	56件	30件	43件	32件	33件	29件	48件	49件	45件	43件

③緩和ケア病床患者数：合計128人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4人	2人	5人	8人	12人	19人	14人	11人	12人	15人	15人	11人

# 臓器提供委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

本委員会は、脳死臓器提供施設である当院において、臓器提供を円滑に行うため、臓器移植に関する職員教育及び市民への啓発活動を目的とする。

## ■ 2021年度の目標

院内外移植コーディネーター等による講習・研修会の複数開催に努める。

## ■ 委員会の構成

委員：13名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

[内 訳]

- ・医師：4名
- ・看護師：2名（内コーディネーター2名）
- ・心理判定員：1名（内コーディネーター1名）
- ・事務局：6名（内コーディネーター1名）

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

臓器提供委員会（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年3月10日(水)	9名	69.2%

## ■ 審議内容

第1回 2021年3月10日(水)「中会議室」

- ・臓器提供委員会規程（案）について
- ・令和3年度委員会委員（案）について

## ■ その他

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が停滞してしまいましたが、新年度は行動計画書を策定し委員会の役割、活動を確認することとした。

## ■ 目的と方針

本委員会は、患者と職員の健康増進のために、院内に於ける受動喫煙防止及び職員の禁煙向上を目的とした病院長の諮問機関であり、病院内の受動喫煙防止に努める。

## ■ 2021年度の目標

1. 院内の禁煙の問題の把握（禁煙問題報告書）
2. 禁煙ポスターの提示
3. 禁煙啓発活動の実施（禁煙標語の提示。）

## ■ 委員会の構成

委員：9名

（2021年3月現在、委員長含む）

### [内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・調理師：1名
- ・事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

禁煙実行委員会開催日（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年3月10日(水)	9名	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2021年3月10日(水)「中会議室」

### [審議内容]

- ・禁煙実行委員会規程（案）について

### [報告事項]

- ・禁煙実行委員会運営方針について
- ・喫煙者への対応マニュアルについて
- ・喫煙問題報告書・喫煙契約書について

# がん診療連携拠点病院運営委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

がん診療拠点病院としてがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制を構築すること。

## ■ 2021年度の目標

がん診療連携拠点病院の指定要件を継続できるように、定期的に現状を確認し、がん診療体制の充実にむけて、全職員で指定要件を意識し、満たすことができるように促していく。また、連携協力体制を強化できるように内容の見直しを図っていく。

## ■ 委員会の構成

委員：20名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### 〔内 訳〕

- ・医師：5名
- ・看護師：3名
- ・薬剤師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：9名

## ■ 実績

- ・がんセンターボード（7回開催）
- ・病理・内科・外科合同カンファレンス（49回開催）

### がんセンターボードの活動実績

	開催日	症例検討内容	出席人数	場所
第1回	2020年6月3日(水)	がん性腹膜炎を併発した進行大腸癌および進行胃癌を疑う一例	29	3階大会議室
第2回	2020年7月1日(水)	急速な進行を認め歩行困難となった未分化多形肉腫の一例	39	3階大会議室
第3回	2020年8月5日(水)	前立腺癌ホルモン療法中に発生した前立腺小細胞癌の一例	24	3階大会議室
第4回	2020年9月2日(水)	悪性リンパ腫の治療前検査で噴門部胃癌を指摘された一例	40	3階大会議室
第5回	2020年10月7日(水)	気管浸潤を認める頸部食道がんの一例	28	3階大会議室
第6回	2020年11月4日(水)	悪性腺筋上皮腫	22	3階大会議室
第7回	2021年3月3日(水)	多発骨転移、リンパ節転移、肝転移をきたした原発不明がんの一例	31	3階大会議室

## ■ 年間活動と実績

2020年度開催日と審議内容

がん診療連携拠点病院運営委員会開催日（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年5月7日(木)	20名	100.0%
第2回	2021年1月28日(木)	20名	100.0%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年5月7日(木)「持ち回り」

- ・がん診療連携拠点病院の整備に関する指針について
- ・市立釧路総合病院と共催の緩和ケア研修会について

### (2) 2021年1月28日(木)「小会議室」

- ・アピアランスケア開始(案)について
- ・令和3年度がん診療連携拠点病院運営委員会規程について

## 目的と方針

本委員会は、診療材料等の適正な管理と効率的な購入を図ることを目的とする。

## 2021年度の目標

1. 安価で質を落とさない医療材料の採用を検討し、コスト削減に努める。
2. 医療材料の適正な使用を検討する。

## 委員会の構成

委員：19名

(2021年3月現在、委員長含む)

### [内 訳]

- ・医師：9名
- ・看護師：4名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・事務局：3名

## 年間活動内容と実績

2021年度開催日と協議内容

診療材料等検討委員会開催日（8回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年7月31日(木)	16名	84.2%
第2回	2020年9月11日(金)	15名	78.9%
第3回	2020年10月26日(月)	15名	78.9%
第4回	2020年11月30日(月)	13名	68.4%
第5回	2021年1月4日(月)	10名	52.6%
第6回	2021年2月15日(月)	14名	73.7%
第7回	2021年2月15日(月)	11名	57.9%
第8回	2021年3月15日(月)	14名	73.7%

## 審議内容

### [審議内容]

- ・コスト削減品の提案について
- ・サンプル品の調査結果について
- ・日本共同購買機構（JMGPO）に加入し、コスト削減額を増やす。

### [報告事項]

- ・値下げ品について

## 実績

- ・診療材料費を品目切替等により 5,731,366円（年間）削減した。

### [内 訳]

No.	切替品	金額(年間)	備考
1	真空吸引器（バックタイプ 一体型）	▲ 126,973	切替
2	ダイアライザー I a型	▲ 30,756	切替
3	空気・酸素マスク	▲ 237,944	切替
5	経鼻用酸素供給カニューレ	▲ 118,058	切替
6	シールド付きマスク	▲ 20,790	切替
7	ニトリル手袋	▲ 32,560	切替
8	手術用手袋（合成ゴム製）	▲ 6,600	切替
9	ギプス用チューブ包帯	▲ 62,339	切替
10	吸引チューブ（滅菌）	▲ 3,795	切替
11	フロート耐圧シリンジ 60ml	▲ 27,500	切替
12	フィットフィックス バックタイプ	▲ 223,690	切替
13	マイクロニードルポート 20G・22G	▲ 3,687,750	切替
14	中・高濃度酸素マスク 大人用 ロング	▲ 11,821	切替
15	ソフテックプラス酸素カニューレ	▲ 64,350	切替
16	ケモライトガウン	▲ 20,666	切替
17	エアリープ クリア 鼻固定用 未滅菌	▲ 29,574	切替
18	BD マイクロファインプロ 32G	▲ 4,700	切替
19	エンドバス トロッカーシステム	▲ 255,042	値下げ
20	ハーモニックACEプラス	▲ 121,550	切替
21	エンドGIAトライステープル	▲ 644,908	値下げ
	合計	▲ 5,731,366	

# 血液浄化室安全管理委員会

委員長 佐々木 芳 浩

## ■ 目的と方針

本委員会は、透析機器の安全管理と安全な透析医療の提供に資することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

透析機器に関する安全管理を検討し、関係する医療関係者への啓発・意識向上に努める。

## ■ 委員会の構成

委員：7名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- 医師：1名
- 看護師：2名
- 臨床工学技士：2名
- 事務局：2名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

血液浄化センター安全管理委員会（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年3月23日(火)	7	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2021年3月23日(火)

- 水質管理報告について

## ■ 実績

- 透析装置（15台）の定期点検
- 水質検査の実施

## ■ 目的と方針

本委員会は、在宅療養を行う患者及びその家族に対して、専門的立場から医療を提供し、地域と連携しながら在宅療養を支援する。

## ■ 委員会の構成

委員：9名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

[内 訳]

- 医師：4名
- 看護師：2名
- 事務局：3名

## ■ 年間活動

2020年度開催日と審議内容

在宅医療運営委員会（6回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年5月11日(月)	9名	100.0%
第2回	2020年7月13日(月)	9名	100.0%
第3回	2020年9月14日(月)	9名	100.0%
第4回	2020年11月9日(月)	9名	100.0%
第5回	2021年1月18日(月)	8名	88.9%
第6回	2021年3月15日(月)	8名	88.9%

## ■ 審議内容

(1) 2020年5月11日(月)

- 訪問診療実施状況報告 3名の訪問診療

(2) 2020年7月13日(月) [中会議室]

- 訪問診療実施状況報告 5名の訪問診療

(3) 2020年9月14日(月) [中会議室]

- 訪問診療手順の見直しについて

- 訪問診療実施状況報告 6名の訪問診療

(4) 2020年11月9日(月) [中会議室]

- 訪問診療実施状況報告 6名の訪問診療

(5) 2021年1月18日(月) [中会議室]

- 訪問診療実施状況報告 8名の訪問診療

(6) 2021年3月15日(月) [リハビリ指導室]

- 訪問診療実施状況報告 6名の訪問診療

# 公舎管理委員会

委員長 磯部正則

## ■ 目的と方針

公舎管理委員会は、職員宿舎の効率的利用と貸与の公平を確保することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

職員宿舎の効率的な運用を検証し検討する。また、宿舎の施設管理に必要な事項を行う。

## ■ 委員会の構成

委員：11名

(2021年3月現在、委員長を含む)

[内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：1名
- ・職員代表：1名
- ・事務局：7名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

開催実績なし

## 目的と方針

職種や診療科の壁を越えたチームで栄養管理を実践することにより、患者中心の医療を提供して患者QOL向上を達成することを目的とする。

## 2021年度の目標

1. 職種を越えたチームにより栄養治療を実践、院内での栄養治療に関する事項を協議・検討し、その効果的な推進を図る。
2. 摂食機能療法算定件数増に向けて取り組む。
3. NSTセミナーを年4回、継続的に実施する。

## 委員会の構成

委員：21名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

### [内 訳]

- ・医師：8名
- ・薬剤師：2名
- ・言語聴覚士：1名
- ・管理栄養士：2名
- ・事務局：3名
- ・看護師：2名
- ・臨床検査技師：1名
- ・歯科衛生士：1名
- ・調理師：1名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、実績

栄養管理／NST委員会開催日（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月14日(火)	20名	95.2%
第2回	2020年5月12日(火)	21名	100.0%
第3回	2020年6月9日(火)	18名	85.7%
第4回	2020年7月14日(火)	20名	95.2%
第5回	2020年8月11日(火)	19名	90.5%
第6回	2020年9月8日(火)	20名	95.2%
第7回	2020年10月13日(火)	20名	95.2%
第8回	2020年11月10日(火)	20名	95.2%
第9回	2020年12月8日(火)	20名	95.2%
第10回	2021年1月12日(火)	20名	95.2%
第11回	2021年2月9日(火)	21名	100.0%
第12回	2021年3月9日(火)	19名	90.5%

## 報告・審議内容

- (1) 2020年4月14日(火)「中会議室」
- ・栄養管理／NST委員会委員会規定(案)について
  - ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について

算定件数報告について

- ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養管理計画書の作成について
  - ・栄養カテゴリーについて
- (2) 2020年5月12日(火)「持ち回り」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
- (3) 2020年6月9日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養補助食品、付加食品の提供について
  - ・食札の返却について
- (4) 2020年7月14日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養補助食品、付加食品の提供について
- (5) 2020年8月11日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養補助食品、付加食品の提供について
  - ・NSTセミナーの開催について
  - ・食事オーダー締切時間厳守の依頼について
- (6) 2020年9月8日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養補助食品、付加食品の提供について
- (7) 2020年10月13日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について
  - ・栄養管理室業務報告について
  - ・栄養補助食品、付加食品の提供について
- (8) 2020年11月10日(火)「中会議室」
- ・回診・介入報告について
  - ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算算定件数報告について

- ・栄養管理室業務報告について
- ・栄養補助食品、付加食品の提供について

(9) 2020年12月8日(火)「中会議室」

- ・回診・介入報告について
- ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算  
算定件数報告について
- ・栄養管理室業務報告について
- ・栄養補助食品、付加食品の提供について

(10) 2021年1月12日(火)「中会議室」

- ・回診・介入報告について
- ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算  
算定件数報告について
- ・栄養管理室業務報告について

(11) 2021年2月9日(火)「中会議室」

- ・回診・介入報告について
- ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算  
算定件数報告について
- ・栄養管理室業務報告について

(12) 2021年3月9日(火)「中会議室」

- ・栄養管理／NST委員会委員会規定(案)について
- ・回診・介入報告について
- ・NST月別介入人数及び栄養サポートチーム加算  
算定件数報告について
- ・栄養管理室業務報告について

## ■ 目的と方針

本委員会は、病院図書の購入、管理保管を目的とし、図書室及び電子ジャーナルの有効的な運用を含めた検討を行う。

## ■ 2021年度の目標

1. 電子ジャーナルの必要理由の確認について
2. 研修医向けのジャーナルの検討

## ■ 委員会の構成

委員：11名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

[内 訳]

- 医師：5名
- 看護師：1名
- 薬剤師：1名
- 事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

図書委員会開催日（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年12月4日(金)	11名	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2020年12月4日(金)「小会議室」

[審議内容]

- 令和3年度メディカルオンライン、医中誌、Up to Dateの継続契約について
- 令和3年度電子ジャーナルの継続契約について

[報告事項]

- 令和2年度 メディカルオンライン、医中誌、Up to Date、電子ジャーナルの利用状況について
- 利用件数がない電子ジャーナルについては削減する。

# 脳死判定委員会

委員長 磯部正則

## ■ 目的と方針

釧路労災病院において脳死者から臓器移植実施にあたって、レシピエントの選択並びにその適応を検討する。

## ■ 委員会の構成

委員：9名

(2021年3月現在 委員長・書記含む)

[内 訳]

- ・医師：6名
- ・医療職：1名
- ・事務局：2名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

脳死判定委員会（開催なし）

## ■ 審議内容

なし

## ■ 目的と方針

エネルギーの効率的、効果的かつ合理的な使用について努め、エネルギー使用の節減と有効な利用を推進することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 効率的で効果的な省エネルギー情報を収集し、実施する。
2. 職員の省エネルギーに対する意識向上と啓発を図る。

## ■ 委員会の構成

委員：12名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・臨床工学技士：1名
- ・調理師：1名
- ・事務局：3名（エネルギー管理員含む）

## ■ 年間活動内容と実績

なし

# 防災委員会

委員長 北 南 和 彦

## ■ 目的と方針

災害の防止及び火災時における初期消火並びに適正な避難誘導を訓練することによって、被害防止に資することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

火災や地震等を想定した訓練の実施及び適切な行動の検証を行うことで、職員の防災意識の啓発に努める。もって、災害発生時における在院者の安全確保と病院機能の維持を目指すものとする。

## ■ 委員会の構成

委員：11名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：1名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・医療安全管理者：1名
- ・防火・防災管理者：1名
- ・事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

防災委員会（1回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年1月29日(金)	10名	90.9%

## ■ 審議内容

(1) 2021年1月29日(金)「小会議室」

- ・災害対策マニュアルの改訂について
- ・消防・防災訓練の実施について
- ・職員用非常食品の配布について

## ■ 年間活動実績

- 4月 新規採用職員消火訓練実施
- 2月 職員用非常食品の配布
- 3月 消防・防災机上訓練実施

## ■ 目的と方針

本委員会は、手術部の円滑な運営及びび的な管理を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 手術室の効果的な運用
2. 手術枠の弾力的な見直し

## ■ 委員会の構成

委員：17名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

[内 訳]

- 医師：8名
- 看護師：3名
- 臨床工学技士：1名
- 事務局：5名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、実績

手術部運営委員会（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月15日(水)	16名	94.1%
第2回	2020年10月14日(水)	16名	94.1%

## ■ 審議内容

(1) 2020年4月15日(水)「小会議室」

- 2020年度の委員会規程(案)について
- 全身麻酔実施件数及び手術件数について
- シリンジ口径の規格変更について
- 2020年度手術枠について
- 2020年度麻酔科体制について
- 麻酔科学会期間の全身麻酔制限について
- 2020年度夏季休暇時の麻酔科体制について
- コロナの対応について

(2) 2020年10月14日(水)「持ち回り」

- 全身麻酔実施件数及び手術件数について
- デイスポーザブルのメス刃への切り替えに伴うサンプル使用について

# 輸血療法委員会

委員長 宮城島 拓 人

## 目的と方針

本委員会は、厚生労働省の「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」（平成17年9月6日付）に沿い、病院内の血液製剤の適正使用及び輸血療法の適正化に努めるよう審議することを目的とした病院長の諮問機関とする。

## 2021年度の目標

1. 血液製剤の適正使用のための必要事項を審議する。
2. 月毎の血液製剤使用状況を報告する。

## 委員会の構成

委員：13名

（2021年3月現在、委員長・書記含む）

### 〔内 訳〕

- ・医師：6名
- ・看護師：2名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：2名
- ・事務局：2名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、実績

輸血療法委員会（6回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年5月26日(火)	13名	100.0%
第2回	2020年7月28日(火)	11名	84.6%
第3回	2020年9月17日(木)	11名	84.6%
第4回	2020年12月1日(火)	9名	69.2%
第5回	2021年1月26日(火)	12名	92.3%
第6回	2021年3月23日(火)	12名	92.3%

## 審議内容

### (1) 「持ち回り」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他
  - ・不規則抗体スクリーニングの検査について
  - ・輸血オーダーについて
  - ・交差試験の方法について

### (2) 「中会議室」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他
  - ・不規則抗体スクリーニングの検査の導入によるスクリーニング検査の検体数について
  - ・「輸血療法の実施に関する指針」の改訂に伴う患者への配布用紙撤廃について

### (3) 「中会議室」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他
  - ・血液製剤の使用数の変化について

### (4) 「小会議室」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他
  - ・輸血療法説明書の改訂について

### (5) 「小会議室」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他

### (6) 「小会議室」

- 血液製剤使用状況の報告
- その他
  - ・来年度の委員メンバー及び規程について

## ■ 目的と方針

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 医療ガスに関する知識を普及し、啓発に努める。
2. 医療ガス設備の安全管理に努める。

## ■ 委員会の構成

委員：8名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- |         |               |
|---------|---------------|
| ・医師：2名  | ・看護師：1名       |
| ・薬剤師：1名 | ・臨床工学技士：2名    |
| ・事務局：2名 | (うち1名機器管理責任者) |

## ■ 年間活動内容

なし

# 褥瘡対策委員会

委員長 池田正起

## ■ 目的と方針

病院内の褥瘡対策を討議。検討しその効果的な推進をはかる。

## ■ 2021年度の目標

1. 定期的な委員会の開催による情報の把握と管理を行う。
2. 月毎の褥瘡発生件数データを収集し、動向を把握する。

## ■ 委員会の構成

委員：9名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：1名
- ・看護師：4名
- ・薬剤師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・管理栄養士：1名
- ・事務局：1名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、活動実績

褥瘡対策委員会（11回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月14日	9名	100.0%
第2回	2020年6月9日	9名	100.0%
第3回	2020年7月14日	9名	100.0%
第4回	2020年8月11日	8名	88.9%
第5回	2020年9月8日	8名	88.9%
第6回	2020年10月13日	9名	100.0%
第7回	2020年11月10日	9名	100.0%
第8回	2020年12月8日	9名	100.0%
第9回	2021年1月12日	7名	77.8%
第10回	2021年2月9日	7名	77.8%
第11回	2021年3月9日	7名	77.8%

## ■ 審議・報告内容

### (1) 2020年4月14日（火）「小会議室」

- ・3月の褥瘡患者について
- ・令和元年度3月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡発生報告書未提出について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について
- ・褥瘡対策委員会規程について

### (2) 2020年6月9日（火）「小会議室」

- ・5月の褥瘡患者について
- ・令和2年度5月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について
- ・褥瘡学会の開催予定について

### (3) 2020年7月14日（火）「小会議室」

- ・6月の褥瘡患者について
- ・令和2年度6月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について
- ・リフラック軟膏からアクトシン軟膏の変更について
- ・褥瘡セミナーの開催について
- ・褥瘡対策委員会規程について

### (4) 2020年8月11日（火）「小会議室」

- ・7月の褥瘡患者について
- ・令和2年度7月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」（用紙2）について

### (5) 2020年9月8日（火）「小会議室」

- ・8月の褥瘡患者について
- ・令和2年度8月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」（用紙2）について
- ・スキンテア発生時のための皮膚観察について

### (6) 2020年10月13日（火）「小会議室」

- ・9月の褥瘡患者について
- ・令和2年度9月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について

### (7) 2020年11月10日（火）「大会議室」

- ・10月の褥瘡患者について
- ・令和2年度10月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について

- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について

(8) 2020年12月8日(火)「小会議室」

- ・11月の褥瘡患者について
- ・令和2年度11月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について
- ・衛生材料の購入について

(9) 2021年1月12日(火)「小会議室」

- ・12月の褥瘡患者について
- ・令和2年度12月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について

(10) 2021年2月9日(火)「小会議室」

- ・1月の褥瘡患者について
- ・令和2年度1月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について

(11) 2021年3月9日(火)「小会議室」

- ・2月の褥瘡患者について
- ・令和2年度2月褥瘡有病率・褥瘡推定発生率について
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況について
- ・「褥瘡対策に関する診療計画書」作成状況について
- ・褥瘡対策委員会規程について

## 年間活動実績

- ・医療関連機器損傷予防の材料の導入を検討した。
- ・NSTと連携した褥瘡回診を行った。
- ・褥瘡に係る商品の評価を行った。
- ・院内褥瘡発生要因から自部署の特徴をとらえ、来年度の褥瘡予防活動計画へ反映させた。

### ●褥瘡ハイリスク加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
87	100	115	106	94	99	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
109	106	123	114	102	134	1,289

### ●褥瘡有病率

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1.6%	4.3%	3.6%	3.9%	2.7%	2.5%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1.7%	2.5%	4.0%	4.2%	2.1%	3.8%	3.04%

### ●褥瘡推定発生率

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0.63%	1.08%	1.32%	1.30%	0.34%	0.93%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
0.58%	0.63%	2.58%	1.86%	0.59%	1.36%	1.09%

# 診療用放射線/放射線安全運営委員会

委員長 梶山政義

## ■ 目的と方針

本委員会は、放射線障害予防規程、放射線障害予防運用細則の適正で効率的運用を図るため、予防規程第11条に定める放射線障害防止について必要な事項を企画、審議するため、及び、放射線関連業務を円滑に運営することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 放射線測定器の構成について計画的に実施する。
2. 個人被曝線量測定器を順次更新し、従事者の安全を確保する。
3. 放射線関連機器の精度管理、早期点検の実施。
4. 放射線機器更新に係る円滑な導入。

## ■ 委員会の構成

委員：21名

(2021年3月現在、委員長を含む)

### [内 訳]

- ・医師：6名
- ・看護師：2名
- ・診療放射線技師：10名
- ・臨床工学技士：1名
- ・事務局：2名 (危機管理責任者)

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

診療用放射線/放射線安全運営委員会 (3回開催)

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月16日(木)	21名	100.0%
第2回	2020年10月27日(火)	19名	90.5%
第3回	2021年3月23日(火)	17名	81.0%

## ■ 審議・報告内容

- (1) 2020年4月16日(木)「持ち回り」
  - ・個人被ばく線量測定用バッジの運用について
- (2) 2020年10月27日(火)「小会議室」
  - ・安全管理指針にある年に1回の職員研修について
  - ・個人被ばく線量管理について
  - ・Japan DRL s 2020への対応について
- (3) 2021年3月23日(火)「中会議室」
  - ・放射線障害予防規程の見直しについて
  - ・目の水晶体の測定素子装置の基準について
  - ・新入職員への教育について

## ■ 目的と方針

中央検査部の円滑な運営及び適切な管理を図ることを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 中央検査部内の統計状況（件数・収支など）の報告をする。
2. 臨床検査の精度管理状況を報告する。院内の日常的精度管理に加え、日本臨床検査技師会や日本医師会など外部組織が主催する精度管理調査への参加。
3. 他部門への連絡事項の発信と提案事項の審議を行う。検査項目の追加や削除、院内検査から外部委託検査への変更あるいはその逆、検査基準範囲の見直しなど。

## ■ 委員会の構成

委員：12名

（2021年3月現在、委員長・書記含む）

### [内 訳]

- ・ 医師：2名
- ・ 看護師：2名
- ・ 臨床検査技師：2名
- ・ 事務局：2名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

中央検査部管理運営委員会開催日（3回開催）

	開催日	出席(委任を含む)人数	出席率
第65回	令和2年6月25日(木)	11名	91.7%
第66回	令和2年10月29日(木)	11名	91.7%
第67回	令和3年3月4日(木)	10名	83.3%

## ■ 審議・報告内容

### (1) 第65回 令和2年6月25日(木)「中会議室」

- ・ 精度管理報告・・・中央検査部内部精度管理について
- ・ 中央検査部統計報告・・・検査件数、検体管理加算件数および管理加算料等について
- ・ 令和元年度中央検査部主要機器メンテナンスおよび故障状況等について

### (2) 第66回 令和2年10月29日(木)「中会議室」

- ・ 精度管理報告・・・中央検査部内部精度管理、令和2年度日本臨床検査精度管理調査報告及び是正報告
- ・ 中央検査部統計報告・・・検査件数、検体管理加算件数および管理加算料等について
- ・ 来年度機器更新について

### (3) 第67回 令和3年3月4日(木)「中会議室」

- ・ 精度管理報告・・・中央検査部内部精度管理、令和2年度北海道臨床衛生検査技師会精度管理調査報告および令和2年度日本医師会精度管理調査報告
- ・ 中央検査部統計報告・・・検査件数、検体管理加算件数および管理加算料等について
- ・ 心エコー、腹部エコー、中央採血室採血業務月平均件数集計報告
- ・ LDHおよびALPの測定方法が4月1日よりIFCC法に変更（IFCC：国際臨床化学連合）
- ・ ALP測定方法変更に伴い基準値が変更
- ・ 委員会規程改訂について

## ■ 実績

令和2年度日本臨床衛生検査技師会臨床検査精度管理調査報告…98.7点で良好であった。

令和2年度北海道臨床衛生検査技師会臨床検査精度管理調査報告…100点で良好であった。

令和2年度日本医師会臨床検査精度管理調査報告…94.2点で良好であった。

検査件数および各種金額（表中括弧内％は前年同時期比）

委員会開催回数	第65回	第66回	第67回
委員会開催日	R2.6.24	R2.10.29	R3.3.4
集計期間	H31.4.1-R2.3.31	R2.4.1-R2.9.30	R2.4.1-R3.1.31
検査件数 (件)	1,915,537 (8.9%増)	925,443 (4.6%減)	1,613,098 (0.4%減)
検体管理加算件数 (件)	98,682 (0.2%減)	48,843 (3.5%減)	82,215 (1.9%減)
検体管理加算料 (千円)	60,851 (2.7%減)	28,291 (6.8%減)	49,700 (3.6%減)
検査実施料 (千円)	549,489 (6.5%増)	271,807 (3.9%減)	461,213 (1.6%減)
委託検査件数 (件)	38,666 (27.2%増)	20,432 (7.9%増)	33,974 (5.4%増)
委託検査支払額 (千円)	86,751 (44.0%増)	51,578 (32.4%増)	88,509 (24.7%増)

## ■ 目的と方針

保育委員会は、院内保育所の適正な運営に資することを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

保育所の運営に関する重要事項、保育所管理者の諮問事項を審議し、適正な運営を行う。

## ■ 委員会の構成

委員：9名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

[内 訳]

- ・医師：1名
- ・看護師：1名
- ・母親代表：1名
- ・職員代表：1名
- ・保育士：1名
- ・事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日

保育委員会（3回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年1月28日(木)	8名	88.9%
第2回	2021年2月17日(水)	9名	100.0%
第3回	2021年3月18日(木)	9名	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2021年1月28日(木)「小会議室」

- ・入園者数等について
- ・保育委員会について

(2) 2021年2月17日(水)「小会議室」

- ・令和3年4月以降保護者に協力を求める事項について
- ・院内保育所調理室について

(3) 2021年3月18日(木)「小会議室」

- ・子どもランド今後の方針等について
- ・令和3年4月以降保護者に協力を求める事項について
- ・父母会について

# 健診業務体制整備委員会

委員長 辻 本 和 代

## ■ 目的と方針

本委員会は、健康診断業務体制整備を目的としたものであり、健康診断業務に関する事項の業務遂行を円滑に運営するために審議、検討を行う。

## ■ 2021年度の目標

1. 情勢に応じた健診項目の導入。
2. 迅速な結果通知。
3. 安心して検査を受けられるよう体制整備。

## ■ 委員会の構成

委員：8名

(2021年3月現在、委員長を含む)

### [内 訳]

- ・医師：1名
- ・看護師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・事務局：4名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

健診業務体制整備委員会（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2021年2月4日(木)	7名	87.5%
第2回	2021年3月4日(木)	7名	87.5%

## ■ 審議内容

### (1) 2021年2月4日(木)「中会議室」

- ・2021年度委員会規程(案)について
- ・各種健診実績報告について
- ・2021年度健診実施体制について

### (2) 2021年3月4日(木)「大会議室」

- ・各種健診実績報告について
- ・2021年度健診実施体制について

## 目的と方針

広報の円滑な発行に資することと及び患者、医療関係者、マスコミ、その他外部機関に対して病院職員が組織横断的に広報活動を行い病院の広報戦略を企画立案し実行する。

## 2021年度の目標

1. 病院の情報を素早く、正確に、わかりやすく地域に伝達する。
2. 既成概念にとらわれず、柔軟な発想力を持って委員会を運営する。
3. 各委員会が自覚を持ち、委員会の質の向上を図って行く。

## 委員会の構成

委員：13名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医療職：5名
- ・看護師：1名
- ・事務局：7名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

広報編集委員会（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月13日(月)	13人	100.0%
第2回	2020年5月11日(月)	13人	100.0%
第3回	2020年6月8日(月)	9人	69.2%
第4回	2020年7月13日(月)	9人	69.2%
第5回	2020年8月11日(火)	13人	100.0%
第6回	2020年9月7日(月)	10人	76.9%
第7回	2020年10月12日(月)	14人	100.0%
第8回	2020年11月9日(月)	12人	92.3%
第9回	2020年12月7日(月)	11人	84.6%
第10回	2021年1月12日(火)	13人	100.0%
第11回	2021年2月8日(月)	12人	92.3%
第12回	2021年3月8日(月)	13人	100.0%

## 審議内容

### (1) 2020年4月13日(月) [大会議室]

- ・No.74号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「春号」の進捗状況について
- ・ホームページ改修作業報告
- ・その他

### (2) 2020年5月11日(月) [大会議室]

- ・No.75号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「春号」の進捗状況について
- ・ホームページ改修作業報告について
- ・その他

### (3) 2020年6月8日(月) [大会議室]

- ・No.76号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「秋号」の発行スケジュールについて
- ・ホームページ改修作業報告について
- ・その他

### (4) 2020年7月13日(月) [大会議室]

- ・No.77号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「秋号」の進捗状況について
- ・ホームページ改修作業報告
- ・その他

### (5) 2020年8月11日(火) [大会議室]

- ・No.78号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「秋号」の進捗状況について
- ・ホームページ改修作業報告

### (6) 2020年9月7日(月) [大会議室]

- ・No.79号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「秋号」の進捗状況について
- ・ホームページ改修作業報告
- ・その他

### (7) 2020年10月12日(月) [大会議室]

- ・No.80号発行広報紙（地域医療連携総合センターだより）について
- ・ろうさいかわら版「新春号」の発行スケジュールについて
- ・ホームページ改修作業報告
- ・その他

**(8) 2020年11月9日(月) [大会議室]**

- No.81発行分広報紙(地域医療連携総合センターだより)について
- ろうさいかわら版「新春号」の進捗状況について
- ホームページ改修作業報告
- その他

**(9) 2020年12月7日(月) [大会議室]**

- No.82発行広報紙(地域医療連携総合センターだより)について
- ろうさいかわら版「新春号」の進捗状況について
- ホームページ改修作業報告
- その他

**(10) 2021年1月12日(火) [大会議室]**

- No.82発行広報紙(地域医療連携総合センターだより)について
- ろうさいかわら版「新春号」の進捗状況について
- ホームページ改修作業報告
- その他

**(11) 2021年2月8日(月) [大会議室]**

- 令和3年度委員会規程について
- No.83発行広報紙(地域医療連携総合センターだより)について
- ろうさいかわら版「春号」の発行スケジュールについて
- ホームページ改修作業報告
- その他

**(12) 2021年3月8日(月) [大会議室]**

- No.84発行広報紙(地域医療連携総合センターだより)について
- ろうさいかわら版「春号」の進捗状況について
- ホームページ改修作業報告
- その他

## ■ 目的と方針

病院誌「やちぼうず」編集委員会は、釧路労災病院年報の円滑な発行に資することを目的とする。また、当院が果たせる役割や機能を可能な限り情報提供し、組織の透明性を高めることで、地域との信頼関係を構築させる。

## ■ 2021年度の目標

1. 釧路労災病院年報の円滑な発行に資すること。
2. 当院が果たせる役割や機能の情報提供をわかりやすく行う。

## ■ 委員会の構成

委員：9名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

[内 訳]

- 医師：3名
- 看護師：1名
- 事務局：5名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

病院誌「やちぼうず」編集委員会（3回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月22日(水)	9人	100.0%
第2回	2021年2月24日(水)	9人	100.0%

## ■ 審議内容

(1) 2020年4月22日(水)「持ち回り」

- 2019年病院誌「やちぼうず」の構成案について
- 作成スケジュールについて
- 病院誌「やちぼうず」編集委員会規程(案)について

(2) 2021年2月24日(水)「持ち回り」

- 令和3年度委員会規程(案)について

# 衛生委員会

委員長 高見文猛

## 目的と方針

職員の安全及び衛生管理に関して調査・研究審査し、安全衛生活動の推進徹底を図ることを目的とし、長時間労働者の実態把握のみならず、長時間労働となっている医師、診療科ごとの対応策について個別に議論できるよう長時間労働の要因を分析し、労働時間の短縮に努める。

## 2021年度の目標

1. 職員の健康障害を防止するための基本となる対策の樹立
2. 職員の健康障害の原因の調査及び再発の防止に係る対策の樹立
3. 職員の衛生に係る教育の実施計画の作成
4. 健康診断の実施及びその結果に対する対策
5. 前各号に掲げるもののほか健康管理に必要な措置

## 委員会の構成 (2021年3月現在)

委員：13名

(委員長・労働者代表推薦6名・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：5名
- ・診療放射線技師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・事務局：4名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日

衛生委員会 (12回開催)

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月21日(火)	13名	100.0%
第2回	2020年5月19日(火)	13名	100.0%
第3回	2020年6月16日(火)	12名	92.3%
第4回	2020年7月21日(火)	13名	100.0%
第5回	2020年8月18日(火)	12名	92.3%
第6回	2020年9月15日(火)	11名	84.6%
第7回	2020年10月20日(火)	11名	84.6%
第8回	2020年11月17日(火)	12名	92.3%
第9回	2020年12月15日(火)	10名	76.9%
第10回	2021年1月19日(火)	12名	92.3%
第11回	2021年2月16日(火)	10名	76.9%
第12回	2021年3月16日(火)	11名	84.6%

## 審議内容

- (1) 2020年4月21日(火)「持ち回り」
  - ・定期健康診断日程(案)について
  - ・新規採用者ワクチンプログラム(案)について
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・令和2年度職場巡視について
- (2) 2020年5月19日(火)「持ち回り」
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
- (3) 2020年6月16日(火)「小会議室」
  - ・病院誌「やちぼうず」に掲載する委員会報告(案)について
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
- (4) 2020年7月21日(火)「小会議室」
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・職場巡視について
  - ・令和2年度職員定期健康診断受診状況について
- (5) 2020年8月18日(火)「小会議室」
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・職場巡視について
- (6) 2020年9月15日(火)「小会議室」
  - ・インフルエンザ予防接種の実施について
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
- (7) 2020年10月20日(火)「小会議室」
  - ・令和2年度特殊業務従事者健康診断について
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・職員健康情報等の取扱いについて
  - ・健康確保措置について
- (8) 2020年11月17日(火)「小会議室」
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・心とからだの相談窓口体制について
  - ・労働時間の管理について
- (9) 2020年12月15日(火)「小会議室」
  - ・産業医による長時間勤務者への面接指導について
  - ・業務上災害及び診断書提出者について
  - ・職員定期健康診断採尿カップの提出方法について
  - ・令和2年度インフルエンザ予防接種実施者数につ

いて

(10) 2021年1月19日(火)「小会議室」

- 産業医による長時間勤務者への面接指導について
- 業務上災害及び診断書提出者について
- 令和2年度特殊業務従事者健康診断受診者数について
- 新型コロナウイルスワクチンについて

(11) 2021年2月16日(火)「小会議室」

- 産業医による長時間勤務者への面接指導について
- 業務上災害及び診断書提出者について
- 職場巡視について

(12) 2021年3月16日(火)「小会議室」

- 令和3年度委員会規定・運営方針・構成(案)について
- 産業医による長時間勤務者への面接指導について
- 業務上災害及び診断書提出者について
- 心とからだの健康相談窓口について

## ■ 年間活動実績

- (1) 産業医による長時間労働者への面談
- (2) 業務上災害・病気療養者の報告
- (3) ワクチン予防接種の実施(B型肝炎ワクチン、4種流行性ワクチン、インフルエンザワクチン)
- (4) 職員定期健康診断・特殊業務従事者健康診断の実施
- (5) 職場巡視の実施
- (6) 職員ストレスチェックの実施

# 患者サービス向上委員会

委員長 成田 美弥子

## ■ 目的と方針

患者サービスに関する問題点を明確にした上で、その改善策を検討し、これらの継続的な活動を進めることによって、患者に選ばれる病院を目指すことを目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. 接遇改善
2. 患者の利便性改善（患者図書改善、掲示板の整備・ラウンドの実施等）
3. 療養環境の向上（院内イベント、フロアの飾り付け等）
4. 患者投書の回答掲示・職員への周知

## ■ 委員会の構成

委員：20名

（2021年3月現在、委員長・書記含む）

### [内 訳]

- ・医師：3名
- ・看護師：5名
- ・薬剤師：1名
- ・臨床検査技師：1名
- ・診療放射線技師：1名
- ・リハビリ技師：1名
- ・事務局：8名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度委員会開催日と審議内容（12回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月8日(水)	18名	90.0%
第2回	2020年5月13日(水)	19名	95.0%
第3回	2020年6月10日(水)	20名	100.0%
第4回	2020年7月8日(水)	18名	90.0%
第5回	2020年8月12日(水)	20名	100.0%
第6回	2020年9月9日(水)	18名	90.0%
第7回	2020年10月14日(水)	19名	95.0%
第8回	2020年11月11日(水)	19名	95.0%
第9回	2020年12月9日(水)	20名	100.0%
第10回	2020年1月13日(水)	20名	100.0%
第11回	2021年2月10日(水)	19名	95.0%
第12回	2021年3月10日(水)	18名	94.7%

## ■ 審議内容

- (1) 2020年4月8日(水)「大会議室」
  - ・2020年度の活動計画について
  - ・2020年度購入予定患者図書について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について
- (2) 2020年5月13日(水)「持ち回り」
  - ・グループ年間活動計画について
  - ・投書について
- (3) 2020年6月10日(水)「大会議室」
  - ・職員に向けた図書寄贈の依頼について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について
- (4) 2020年7月8日(水)「大会議室」
  - ・外来予約票の内容変更について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について（外来待合室の混雑防止対策について）
- (5) 2020年8月12日(水)「大会議室」
  - ・グループ活動について
  - ・投書について
  - ・中央採血室へのテレビ設置について
- (6) 2020年9月9日(水)「大会議室」
  - ・図書寄贈に係るお礼文について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について
- (7) 2020年10月14日(水)「大会議室」
  - ・グループ活動について
  - ・投書について（入院患者の食事について）
- (8) 2020年11月11日(水)「大会議室」
  - ・外来予約票の内容変更について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について（病室でのレントゲン撮影について）
- (9) 2020年12月9日(水)「大会議室」
  - ・院内の携帯電話の使用ルールについて
  - ・職員に向けた図書寄贈の依頼について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について（外来待ち時間の長さについて）
- (10) 2021年1月13日(水)「大会議室」
  - ・携帯電話のエリア別使用区分について
  - ・グループ活動について
  - ・投書について
- (11) 2021年2月10日(水)「大会議室」
  - ・携帯電話の使用に関するピクトグラムについて

- グループ活動について
- 投書について
- 患者満足度調査の結果について
- 病棟へのペーパータオルホルダー設置について

(12) 2021年3月10日（水）「大会議室」

- 令和3年度委員会規定（案）について
- グループ活動について
- 投書について

■ 実績

- 七夕飾りの実施（7月）
- 患者満足度調査の実施（10月）
- 接遇チェックの実施（11月）
- クリスマスの飾り付け（12月）
- 患者図書室の整備（通年）

# 病院機能評価委員会

委員長 小笠原 和 宏

## ■ 目的と方針

本委員会は、病院機能評価の認定期間における医療の質改善活動の推進及び中間にあたる取組状況の報告に対応することを目的とする。

## ■ 委員会の構成

委員：13名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- ・医師：2名
- ・看護師：4名
- ・薬剤師：1名
- ・事務局：6名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と協議内容

2020年度に病院機能評価の更新審査を受審予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となったため、委員会の開催実施に至らなかった。

## ■ 目的と方針

医師の業務負担軽減及び処遇改善に資する計画・評価を行うため、ドクターズクラークの体制及び業務内容の整備を目的とする。

## ■ 2021年度の目標

1. ドクターズクラークが行う業務教育
2. ドクターズクラークの適正配置
3. 医師が依頼する業務のルール作成

## ■ 委員会の構成

委員：22名

(2021年3月現在、委員長・書記を含む)

[内 訳]

- ・医師：11名
- ・看護師：3名
- ・事務局：8名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容、実績

ドクターズクラーク運営委員会開催日（6回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月8日(水)	19名	86.4%
第2回	2020年6月10日(水)	19名	86.4%
第3回	2020年8月12日(水)	16名	72.7%
第4回	2020年10月14日(水)	18名	81.8%
第5回	2020年12月9日(水)	17名	77.3%
第6回	2021年2月10日(水)	19名	86.4%

## ■ 報告・審議内容

(1) 2020年4月8日(水)「大会議室」

- ・ドクターズクラーク運営委員会規程(案)について
- ・ドクターズクラーク配置状況について
- ・ドクターズクラーク業務内容について
- ・内科外来からの要望について
- ・ドクターズクラークの作業スペース確保について

(2) 2020年6月10日(水)「大会議室」

- ・ドクターズクラーク配置状況について
- ・ドクターズクラーク業務内容について
- ・オーダーリングの権限付与について

(3) 2020年8月12日(水)「大会議室」

- ・オーダーリングの権限付与について
- ・ドクターズクラーク配置状況について

(4) 2020年10月14日(水)「大会議室」

- ・ドクターズクラーク配置状況について

(5) 2020年12月9日(水)「大会議室」

- ・ドクターズクラーク配置状況について
- ・ドクターズクラーク業務内容について

(6) 2021年2月10日(水)「大会議室」

- ・ドクターズクラーク配置状況について
- ・ドクターズクラーク業務内容について

# 勤務医／看護職員等負担軽減対策委員会

委員長 宮城島 拓 人

## ■ 目的と方針

医師および看護職員等の負担軽減及び処遇改善を図ることを目的とする。

## ■ 委員会の構成

委員：14名

(2021年3月現在、委員長・書記含む)

### [内 訳]

- 医師：4名
- 看護師：4名
- 薬剤師：1名
- リハビリ技師：1名
- 診療放射線技師：1名
- 事務局：3名

## ■ 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

勤務医／看護職員負担軽減対策委員会（2回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年12月24日(木)	14名	100.0%
第2回	2021年3月9日(火)	14名	100.0%

## ■ 審議内容

### (1) 2020年12月24日(木)「小会議室」

- 令和2年度医師業務負担軽減計画の対応状況について
- 令和2年度看護師業務負担軽減計画の対応状況について

### (2) 2021年3月9日(火)「小会議室」

- 令和3年度医師業務負担軽減計画(案)について
- 令和3年度看護師業務負担軽減計画(案)について
- 勤務医／看護職員等負担軽減委員会規程について
- 令和2年度医師業務負担軽減計画の対応状況について
- 令和2年度看護師業務負担軽減計画の対応状況について

## 目的と方針

病院長（及び釧路労災看護専門学校長）から付議された研究者の利益相反（COI）自己申告書の審査及び利益相反回避勧告を行うことを目的とする。

## 委員会の構成

委員：10名

（2021年3月現在、委員長・書記含む）

### 〔内 訳〕

- ・医師：1名
- ・看護師：1名
- ・薬剤師：1名
- ・事務局：5名
- ・外部委員：2名

## 年間活動内容と実績

2020年度開催日と審議内容

医学系研究利益相反管理委員会（13回開催）

	開催日	出席人数	出席率
第1回	2020年4月28日(火)	10人	100.0%
第2回	2020年5月15日(金)	10人	100.0%
第3回	2020年5月27日(水)	10人	100.0%
第4回	2020年6月10日(水)	10人	100.0%
第5回	2020年6月30日(火)	10人	100.0%
第6回	2020年7月31日(金)	10人	100.0%
第7回	2020年9月24日(木)	10人	100.0%
第8回	2020年10月2日(金)	10人	100.0%
第9回	2020年10月21日(水)	10人	100.0%
第10回	2021年1月22日(金)	10人	100.0%
第11回	2021年2月12日(金)	10人	100.0%
第12回	2021年2月19日(金)	10人	100.0%
第13回	2021年3月31日(水)	10人	100.0%

## 審議内容

### (1) 2020年4月28日(火)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「HER2陽性進行・再発胃癌に対するトラスツズマブBS「NK」とS-1+オキサリプラチン併用療法もしくはカペシタビン+オキサリプラチン併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験 TROX Study (KSCC/HGCSG1802)」

「RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）」

### (2) 2020年5月15日(金)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「切除不能進行再発大腸癌の2次治療患者を対象としたfluoropyrimidine+irinotecan+bevacizumab療法とtrifluridine/tipiracil+bevacizumab療法のランダム化比較第2/3相試験（TRUSTY）」  
 「初回化学療法に不応の治癒切除不能進行・再発胃癌に対するドセタキセル/ラムシルマブ併用療法その他施設共同医師主導前向き第Ⅱ相臨床試験HGCSG1903」

### (3) 2020年5月27日(水)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験JFMC48-1301-C4（ACHIEVE-2 Trial）」  
 「HER2陽性進行・再発胃癌に対するトラスツズマブBS「NK」とS-1+オキサリプラチン併用療法もしくはカペシタビン+オキサリプラチン併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験 TROX Study (KSCC/HGCSG1802)」

### (4) 2020年6月10日(水)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「抗EGFR抗体薬不応の結腸・直腸癌に対する2次治療としてのFOLFIRI+アフリベルセプトの有効性と安全性を検討する単群他施設共同前向き第Ⅱ相臨床試験（HGCSG1801）」  
 「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-16）」

### (5) 2020年6月30日(火)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「遠隔転移を有するまたは術後再発膀胱癌に対する一次治療Oxaliplatin+Irinotecan+S-1併用療法（OX-IRIS療法）の他施設共同前向き単群第Ⅱ相臨床試験（HGCSG1803）」

### (6) 2020年7月31日(金)「持ち回り」

- ・利益相反自己申告書にかかる審査

「RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13）」  
 「StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化

- 学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 (JACCRO GC-07) ]
- (7) 2020年9月24日 (木) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「切除不能・再発胃癌に対するS-1,Nab-Paclitaxel,Oxaliplatin併用療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験 (HGCSG1404) 」  
「初回化学療法に不応の治癒切除不能進行・再発胃癌に対するイリノテカン/ラムシルマブ併用療法の他施設共同医師主導前向き第Ⅱ相試験 (HGCSG1606) 」
- (8) 2020年10月2日 (金) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「抗EGFR抗体薬不応の結腸・直腸癌に対する2次治療としてのFOLFIRI+アフリベルセプトの有効性と安全性を検討する単群多施設共同前向き第Ⅱ相臨床試験 (HGCSG1801) 」  
「遠隔転移を有するまたは術後再発膀胱癌に対する一次治療Oxaliplatin+Irinotecan+S-1併用療法 (OX-IRIS療法) の多施設共同前向き単群第Ⅱ相臨床試験 (HGCSG1803) 」
- (9) 2020年10月21日 (水) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「RAS遺伝子 (KRAS/NRAS遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性および安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験 (PARADIGM study) 」
- (10) 2021年1月22日 (金) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「スモンに関する調査研究 (釧路地区における患者の現状調査) 」  
「切除不能進行再発大腸癌の2次治療患者を対象としたfluoropyrimide+irinotecan+bevacizumab療法とtrifluridine/tipiracil+bevacizumab療法のランダム化比較第2/3相試験 (TRUSTY) 」
- (11) 2021年2月12日 (金) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「初回化学療法に不応の治癒切除不能進行・再発胃癌に対するイリノテカン/ラムシルマブ併用療法の多施設共同医師主導前向き第Ⅱ相試験 (HGCSG1603) 」  
「切除不能・再発胃癌に対するS-1, Nab-Paclitaxel, Oxaliplatin併用療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験 (HGCSG1404) 」
- (12) 2021年2月19日 (金) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第Ⅲ相試験 (RINDBeRG試験) 」
- (13) 2021年3月31日 (水) 「持ち回り」
- 利益相反自己申告書にかかる審査  
「新型コロナウイルス感染症およびワクチンにおける抗体試薬を用いた中和活性の推定」
  - 医学系研究利益相反管理委員会規程及び行動指針について



# IV. 医療統計

患者数の推移（入院・外来）	129
診療科別入院患者数の推移	130
診療科別外来患者数（令和元年度）	131
診療科別入院単価の推移	132
診療科別外来単価の推移	132
紹介率・逆紹介率の推移	133
病床利用率の推移	133
平均在院日数の推移	134
時間外取扱患者数 総数と1日平均の推移	135
救急車受入件数（総数と1日平均）	136
手術件数の推移（手術室内）	136
全身麻酔件数の推移	137
化学療法件数の推移（入院・外来）	137
透析件数の推移（入院・外来）	138
内視鏡件数の推移（上部・下部）	138
放射線治療件数の推移	139
解剖件数の推移	139
2020年度後発医薬品指数	140
D P C 14桁 診断群分類上位頻度表（全科共通）	140
D P C M D C 6桁 診療科別上位頻度表	141
K c o d e 診療科別上位頻度表	144





## 患者数の推移（入院・外来）

	年 度 別 単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		承認病床数(床)	467	450	450	450
稼働病床数(床)		450	450	450	450	450
入 院	入院患者延数(人)	134,099	132,724	133,276	125,929	119,593
	1日平均患者数(人)	367	364	365	344	328
	新入院患者数(人)	8,783	8,805	9,054	8,779	8,774
	退院患者数(人)	8,755	8,870	9,043	8,803	8,737
	病床利用率(%)	81.6	80.8	81.1	76.4	72.9
	平均在院日数(日)	15.6	15.3	15.1	14.7	14.0
	病床回転数(回)	23.4	23.9	20.1	19.0	19.0
	1人1日当単価(円)	47,173	47,729	49,558	51,965	57,342
	診療実日数(日)	365	365	365	366	365
	院内死亡患者数(人)	393	353	409	345	345
	院内死亡率(%)	4.3	4.1	4.5	3.9	3.9
	解剖検体数(件)	4	6	6	6	4
	剖検率(%)	1.0	1.7	1.5	1.7	1.2
	労災患者延数(人)	3,197	3,570	3,952	2,879	2,901
	労災患者比率(%)	2.4	2.7	3.0	2.3	2.4
	時間外新入院患者数(人)	1,156	1,070	1,190	1,139	1,158

	年 度 別 単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		外来患者延数(人)	240,156	241,328	244,278	239,997
外 来	1日平均患者数(人)	988	989	1,001	1,000	997
	新外来患者数(人)	16,702	16,212	16,583	15,858	14,248
	新外来患者率(%)	7.0	6.7	6.8	6.6	5.9
	平均通院回数(回)	14.4	14.9	14.7	15.1	17.0
	1人1日当単価(円)	14,169	14,837	14,551	15,660	16,609
	診療実日数(日)	243	244	244	240	243
	入院中外来併診数(人)	42,103	40,251	41,904	40,895	49,536
	労災患者延数(人)	8,766	11,414	12,207	15,820	17,204
	労災患者比率(%)	3.7	4.7	5.0	6.6	7.1
	時間外外来患者数(人)	3,815	3,439	3,481	3,443	3,210

# 診療科別入院患者数の推移

(単位：人)

	30 年 度				元 年 度				2 年 度			
	入院患者数		新入院患者数		入院患者数		新入院患者数		入院患者数		新入院患者数	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内 科	56,071	153.6	4,049	11.1	52,667	143.9	4,217	11.5	50,588	138.6	4,336	11.9
神 経 内 科	6,066	16.6	197	0.5	6,085	16.6	204	0.6	6,612	18.1	255	0.7
循 環 器 内 科	4	0.0	1	0.0	27	0.1	3	0.0	0	0.0	0	0.0
小 児 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外 科	11,944	32.7	885	2.4	13,401	36.6	966	2.6	13,162	36.1	982	2.7
整 形 外 科	24,929	68.3	1,032	2.8	22,113	60.4	819	2.2	21,882	60.0	879	2.4
形 成 外 科	4,603	12.6	391	1.1	2,022	5.5	231	0.6	0	0.0	0	0.0
脳 神 経 外 科	18,249	50.0	815	2.2	20,139	55.0	816	2.2	17,867	49.0	847	2.3
皮 膚 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌 尿 器 科	4,682	12.8	518	1.4	3,758	10.3	435	1.2	4,153	11.4	460	1.3
産 婦 人 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
眼 科	907	2.5	179	0.5	672	1.8	183	0.5	456	1.2	116	0.3
耳 鼻 咽 喉 科	3,968	10.9	508	1.4	3,525	9.6	484	1.3	3,163	8.7	453	1.2
リ ハ 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
放 射 線 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻 酔 科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歯 科 口 腔 外 科	1,853	5.1	479	1.3	1,520	4.2	421	1.2	1,710	4.7	446	1.2
合 計	133,276	365.1	9,054	24.8	125,929	344.1	8,779	24.0	119,593	327.7	0	0.0
労 災 患 者 数 (再掲)	3,952	10.8	-	-	2,879	7.9	-	-	2,901	7.9	-	-

## 診療科別外来患者数（令和2年度）

（単位：人）

	新 患	再 来	合 計	一 日 平 均 患 者 数		
				新 患	再 来	合 計
内 科	2,787	54,964	57,751	11.5	226.2	237.7
精 神 科	103	2,481	2,584	0.4	10.2	10.6
神 経 内 科	534	8,707	9,241	2.2	35.8	38.0
循 環 器 内 科	776	7,363	8,139	3.2	30.3	33.5
小 児 科	0	0	0	0.0	0.0	0.0
外 科	1,081	11,050	12,131	4.4	45.5	49.9
整 形 外 科	1,612	30,183	31,795	6.6	124.2	130.8
形 成 外 科	119	770	889	0.5	3.2	3.7
脳 神 経 外 科	930	15,944	16,874	3.8	65.6	69.4
皮 膚 科	19	86	105	0.1	0.4	0.4
泌 尿 器 科	480	16,662	17,142	2.0	68.6	70.5
産 婦 人 科	32	322	354	0.1	1.3	1.5
眼 科	519	6,609	7,128	2.1	27.2	29.3
耳 鼻 咽 喉 科	1,125	10,155	11,280	4.6	41.8	46.4
リ ハ 科	1,126	49,365	50,491	4.6	203.1	207.8
放 射 線 科	164	4,903	5,067	0.7	20.2	20.9
麻 酔 科	1	28	29	0.0	0.1	0.1
歯 科 口 腔 外 科	2,365	8,434	10,799	9.7	34.7	44.4
医 療 相 談 科	475	6	481	2.0	0.0	2.0
合 計	14,248	228,032	242,280	58.6	938.4	997.0
労災患者数（再掲）	-	-	17,204	-	-	70.8

## 診療科別入院単価の推移

(単位：円)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内 科	48,121	47,824	48,566	50,702	57,516
精 神 科	—	—	—	—	—
神 経 内 科	36,074	40,211	37,998	39,382	41,103
循 環 器 内 科	184,099	—	334,687	139,559	—
小 児 科	—	—	—	—	—
外 科	57,240	55,787	64,342	66,258	73,961
整 形 外 科	46,075	45,282	47,048	49,642	53,255
形 成 外 科	39,858	41,516	44,972	52,751	—
脳 神 経 外 科	42,104	47,597	47,092	46,717	53,370
皮 膚 科	—	—	—	—	—
泌 尿 器 科	48,751	51,669	55,968	63,222	60,334
産 婦 人 科	—	—	—	—	—
眼 科	57,182	54,994	72,624	99,496	99,460
耳 鼻 咽 喉 科	46,594	41,785	48,997	52,583	53,058
リ ハ 科	—	—	—	—	—
放 射 線 科	—	—	—	—	—
麻 酔 科	—	—	—	—	—
歯 科 口 腔 外 科	66,321	62,507	64,632	70,515	70,298
医 療 相 談 科	—	—	—	—	—
合 計	47,173	47,729	49,558	51,965	57,342

## 診療科別外来単価の推移

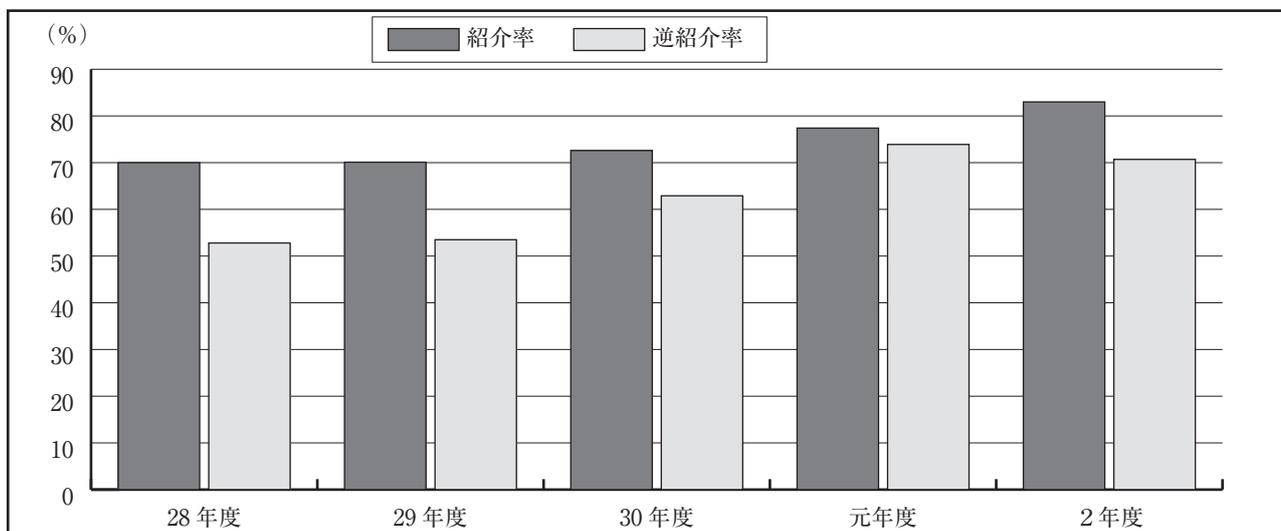
(単位：円)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内 科	32,192	34,958	34,294	38,561	40,854
精 神 科	5,524	5,455	5,179	5,229	4,937
神 経 内 科	9,650	10,954	11,155	10,351	12,292
循 環 器 内 科	6,861	6,624	6,055	6,441	6,856
小 児 科	—	—	—	—	—
外 科	19,671	19,519	18,941	18,660	20,062
整 形 外 科	6,568	6,797	7,305	7,851	8,077
形 成 外 科	9,385	8,424	10,005	7,854	5,096
脳 神 経 外 科	9,134	9,362	8,154	8,088	8,206
皮 膚 科	1,896	1,560	1,922	3,941	5,044
泌 尿 器 科	17,965	18,381	18,808	19,907	20,236
産 婦 人 科	5,277	5,798	4,951	5,800	5,834
眼 科	5,223	4,937	5,519	7,126	7,558
耳 鼻 咽 喉 科	6,571	7,251	6,763	7,149	7,260
リ ハ 科	3,510	4,145	3,445	2,665	3,322
放 射 線 科	15,892	17,550	18,149	17,879	18,153
麻 酔 科	1,456	1,516	4,434	4,033	7,554
歯 科 口 腔 外 科	7,328	7,067	7,373	6,816	7,124
医 療 相 談 科	35,908	37,131	36,304	37,082	35,829
合 計	14,169	14,837	14,551	15,660	16,609

## 紹介率・逆紹介率の推移

(単位：%)

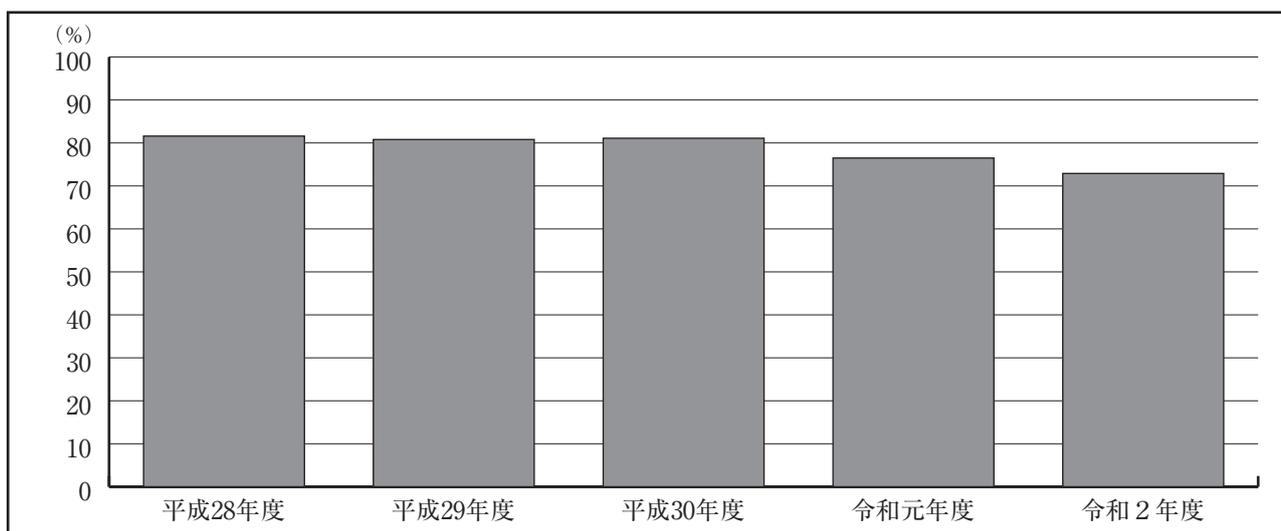
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
紹介率	70.0	70.1	72.6	77.4	83.0
逆紹介率	52.8	53.5	62.9	73.9	70.7



## 病床利用率の推移

(単位：%)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
病床利用率	81.6	80.8	81.1	76.5	72.9



## 平均在院日数の推移

(単位：日)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内 科	13.7	14.0	14.1	12.7	11.9
神 経 内 科	31.5	25.4	32.4	31.5	27.0
循 環 器 内 科	9.0	0.0	4.0	9.0	0.0
小 児 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外 科	16.8	16.5	14.3	14.7	14.1
整 形 外 科	25.8	23.6	24.7	27.5	25.7
形 成 外 科	13.3	11.8	12.0	8.7	0.0
脳 神 経 外 科	25.5	23.2	23.0	25.3	22.0
皮 膚 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
泌 尿 器 科	11.6	9.4	9.2	8.7	9.3
産 婦 人 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼 科	7.2	7.8	5.1	3.7	4.0
耳 鼻 咽 喉 科	9.0	10.7	7.9	7.4	7.0
リ ハ 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放 射 線 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻 酔 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯 科 口 腔 外 科	3.5	3.9	3.9	3.6	3.8
医 療 相 談 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	15.6	15.3	15.1	14.7	14.0

## 時間外取扱患者数 総数と1日平均の推移

(単位：人)

総数	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内科	1,234	1,139	1,216	1,204	1,126
精神科	1	1	0	0	4
神経内科	62	59	65	52	55
循環器内科	3	6	0	3	1
小児科	0	0	0	0	0
外科	185	157	166	226	286
整形外科	927	733	733	743	680
形成外科	274	244	255	162	48
脳神経外科	722	697	646	699	606
皮膚科	0	1	0	0	0
泌尿器科	114	108	135	99	140
産婦人科	0	0	0	0	0
眼科	64	53	60	53	61
耳鼻咽喉科	203	211	175	171	166
リハ科	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0
麻酔科	1	0	0	0	0
歯科口腔外科	25	30	21	31	37
医療相談科	0	0	0	0	0
合計	3,815	3,439	3,481	3,443	3,210

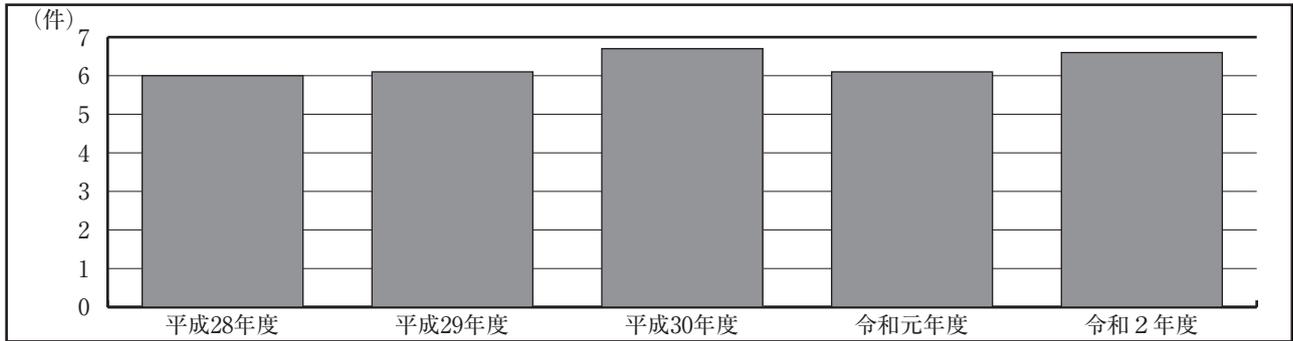
(単位：人)

1日平均	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内科	3.4	3.1	3.3	3.3	3.1
精神科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神経内科	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2
循環器内科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外科	0.5	0.4	0.5	0.6	0.8
整形外科	2.5	2.0	2.0	2.0	1.9
形成外科	0.8	0.7	0.7	0.4	0.1
脳神経外科	2.0	1.9	1.8	1.9	1.7
皮膚科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
泌尿器科	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼科	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
耳鼻咽喉科	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
リハ科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻酔科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
医療相談科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	10.5	9.4	9.5	9.4	8.8

## 救急車受入件数（総数と1日平均）

（単位：件）

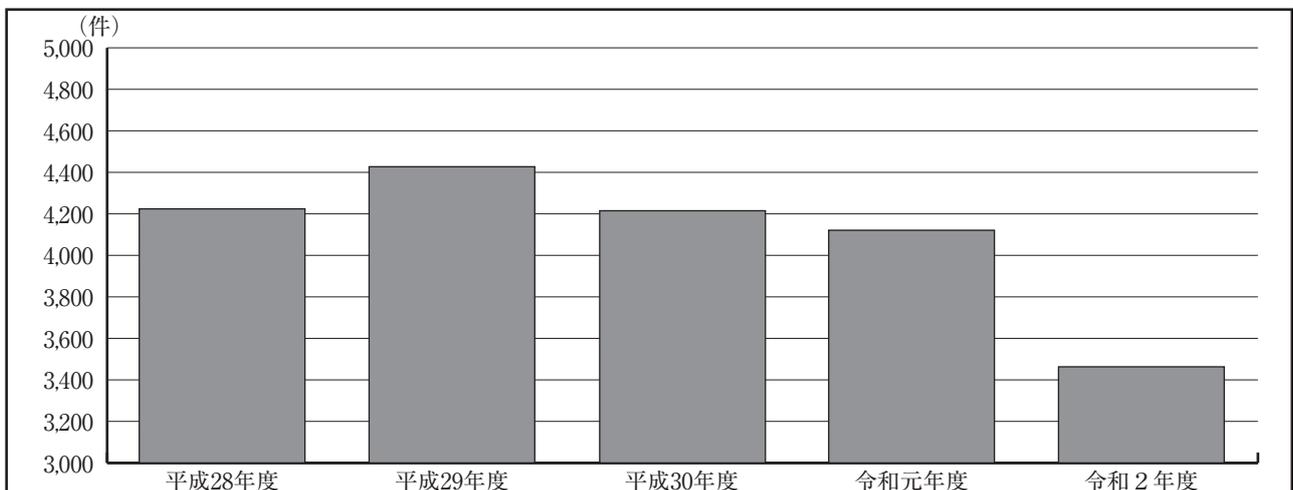
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総 数	2,185	2,222	2,428	2,247	2,401
1 日 平 均	6.0	6.1	6.7	6.1	6.6



## 手術件数の推移（手術室内）

（単位：件）

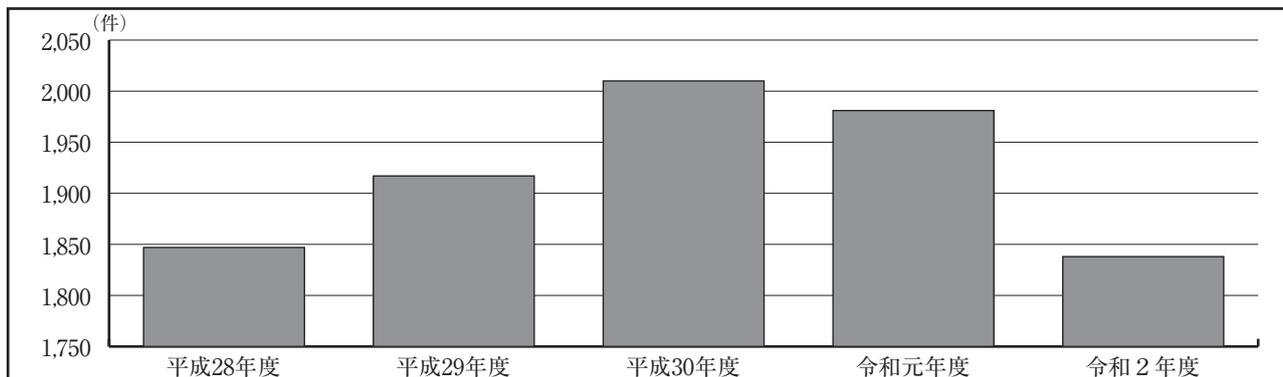
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
内 科	2	0	0	1	0
外 科	630	609	701	825	867
整 形 外 科	801	905	845	762	733
形 成 外 科	809	882	771	476	27
脳 神 経 外 科	332	378	304	328	352
心 臓 血 管 外 科	-	-	-	-	-
皮 膚 科	-	-	-	-	-
泌 尿 器 科	287	286	267	246	307
産 科	-	-	-	-	-
婦 人 科	-	-	-	-	-
眼 科	313	305	281	312	195
耳 鼻 咽 喉 科	290	261	292	268	177
リ ハ 科	-	-	-	-	-
歯 科 口 腔 外 科	-	-	-	-	-
神 経 内 科	-	-	-	-	1
合 計	4,224	4,427	4,215	4,121	3,463



## 全身麻酔件数の推移

(単位：件)

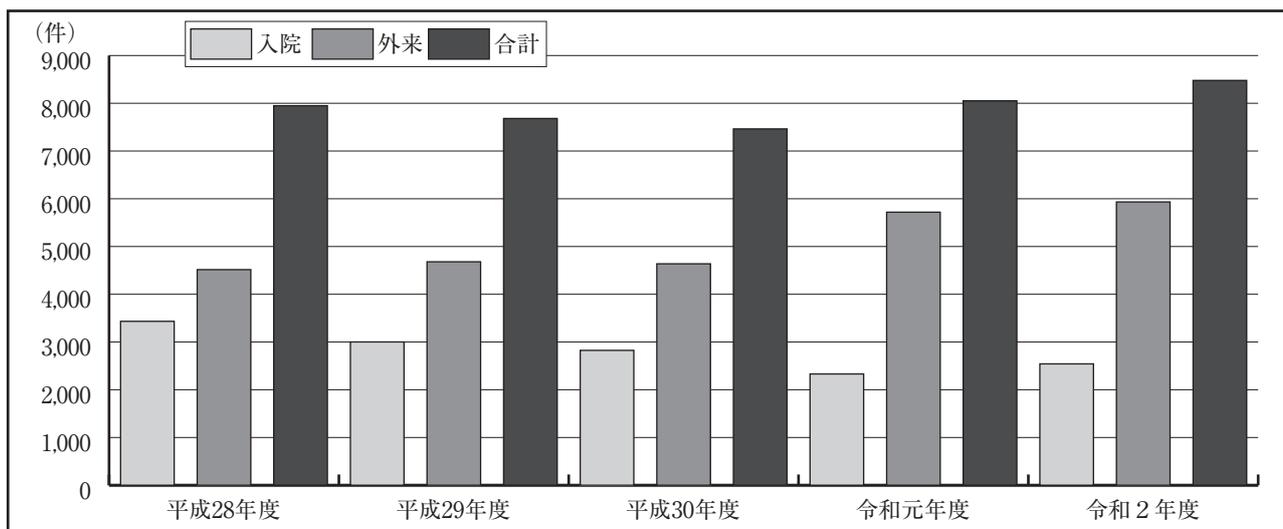
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
全身麻酔件数	1,847	1,917	2,010	1,981	1,838



## 化学療法件数の推移（入院・外来）

(単位：件)

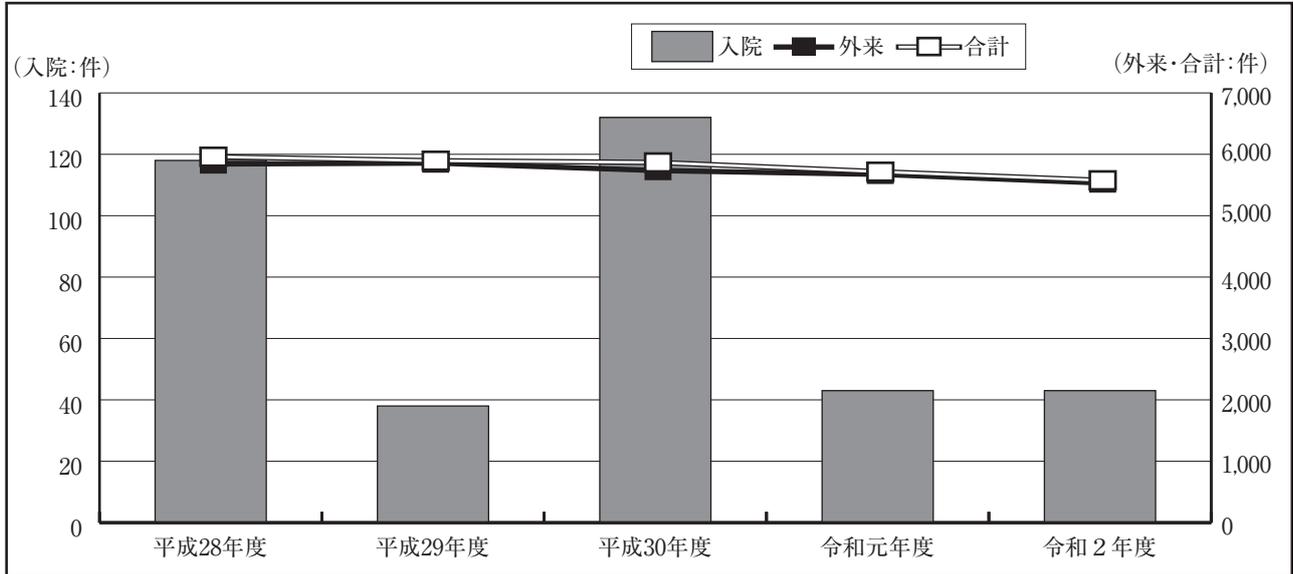
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
入院	3,433	3,001	2,825	2,331	2,542
外来	4,516	4,680	4,638	5,719	5,936
合計	7,949	7,681	7,463	8,050	8,478



## 透析件数の推移（入院・外来）

（単位：件）

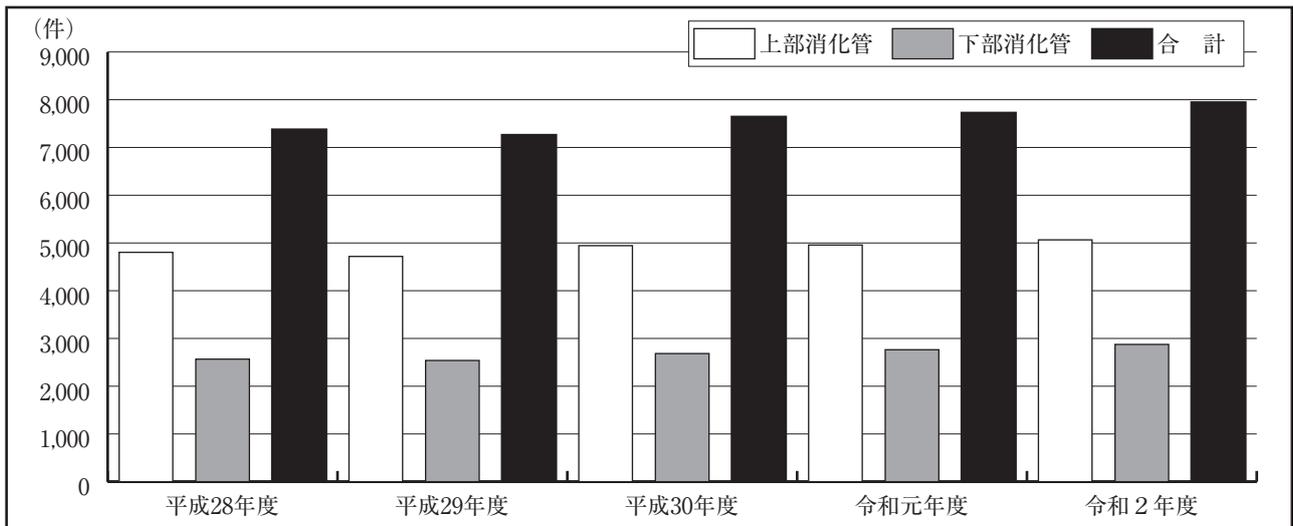
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
入院	118	38	132	43	43
外来	5,842	5,857	5,735	5,673	5,532
合計	5,960	5,895	5,867	5,716	5,575



## 内視鏡件数の推移（上部・下部）

（単位：件）

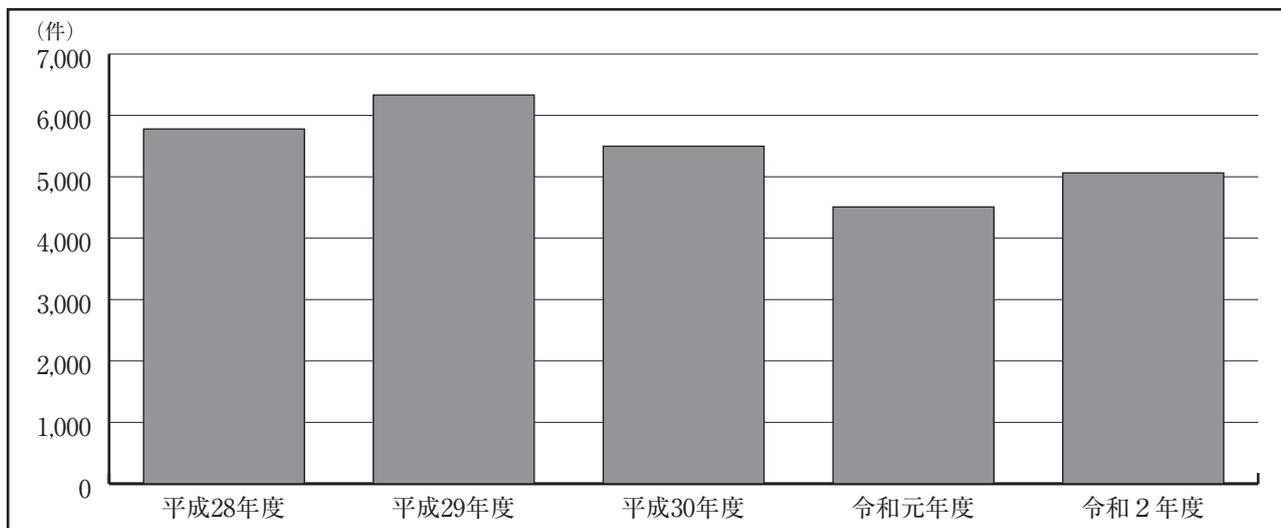
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
上部消化管	4,804	4,718	4,944	4,957	5,065
下部消化管	2,567	2,539	2,684	2,764	2,875
合計	7,371	7,257	7,628	7,721	7,940



## 放射線治療件数の推移

(単位：件)

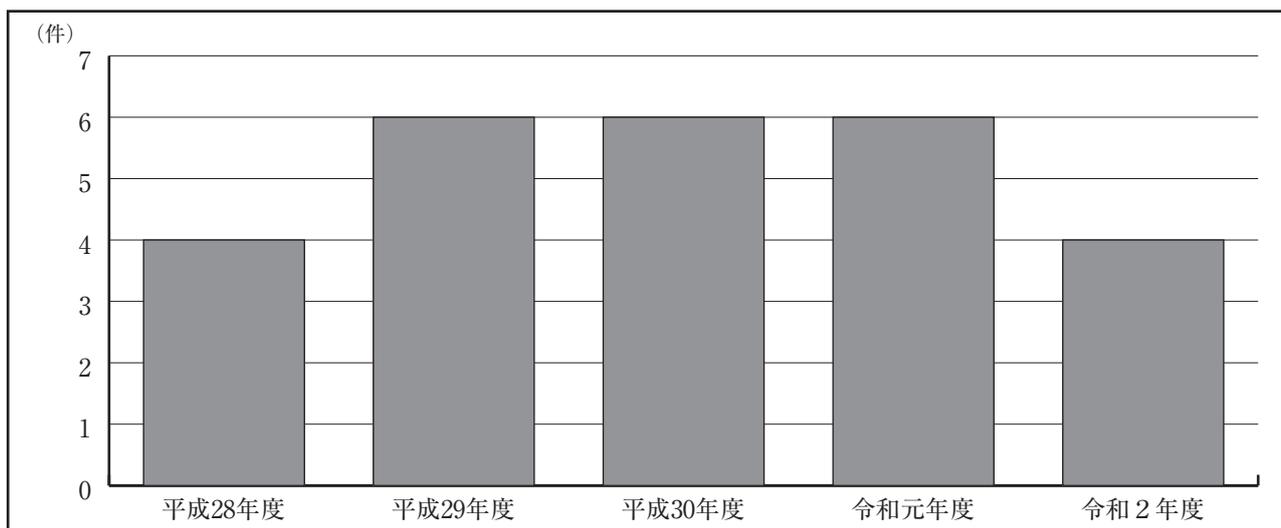
1日平均	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
放射線件数	5,779	6,332	5,498	4,509	5,063



## 解剖件数の推移

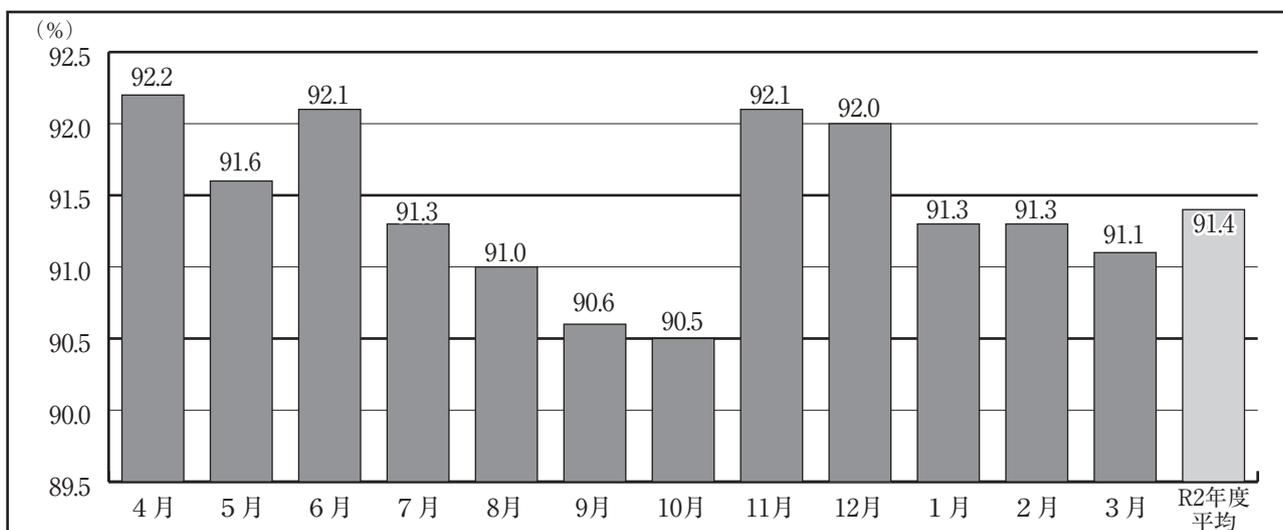
(単位：件)

1日平均	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
解剖件数	4	6	6	6	4



## 2020年度 後発医薬品指数

年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度平均
後発医薬品指数 (%)	92.2	91.6	92.1	91.3	91.0	90.6	90.5	92.1	92.0	91.3	91.3	91.1	91.4



## DPC14桁 診断群分類上位頻度表 (全科共通)

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者

(転科を含み、医療資源を最も投入した傷病の診療科で集計)

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	症例数 (件)
1	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	624
2	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 内視鏡的胆道ステント留置術等 処置2なし 副傷病なし	156
3	060100xxxxlos0	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)+DPC対象となる病棟に入院していない	148
4	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	124
5	060335xx02000x	胆嚢炎等 胆嚢摘出術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	117
6	010060xxCCPM04	脳梗塞(04) 手術なし 処置1なし ラジカット(4) 副傷病なし/水頭症等(1) 他	96
7	060060xx9710xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他手術あり 内視鏡的胆道ステント留置術等 処置2なし	95
8	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	95
9	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	86
10	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工関節置換術等	80
11	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	79
11	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術等	79
13	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	73
14	160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰椎損傷を含む) 手術なし	71
15	060335xx97x00x	胆嚢炎等 その他手術あり 処置2なし 副傷病なし	70
16	010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 処置2なし	68
17	060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍 結腸切除術等 処置1なし 副傷病なし	60
18	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他手術あり 処置2なし 副傷病なし	58
18	180030xxxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	58
18	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 脳脊髄腔造影剤使用撮影加算	58

## DPC MDC6桁 診療科別上位頻度表

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者  
(転科を含み、医療資源を最も投入した傷病の診療科で集計)

## 内科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	060100	小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む)	784
2	130030	非ホジキンリンパ腫	268
2	060020	胃の悪性腫瘍	267
4	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	214
5	060340	胆管 (肝内外) 結石、胆管炎	204
6	060035	結腸 (虫垂を含む) の悪性腫瘍	197
7	060040	直腸肛門 (直腸S状部から肛門) の悪性腫瘍	156
8	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	146
9	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 (続発性を含む)	121
10	060010	食道の悪性腫瘍 (頸部を含む)	112

## 神経内科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	010155	運動ニューロン疾患等	68
2	010160	パーキンソン病	25
3	010170	基底核等の変性疾患	24
4	010090	多発性硬化症	20
5	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	13
6	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	12
7	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	8
7	040081	誤嚥性肺炎	8
9	010140	筋疾患 (その他)	7
9	010230	てんかん	7

## 外科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	090010	乳房の悪性腫瘍	224
2	060335	胆嚢炎等	120
3	060035	結腸 (虫垂を含む) の悪性腫瘍	92
4	060160	鼠径ヘルニア	81
5	060020	胃の悪性腫瘍	70
6	060040	直腸肛門 (直腸S状部から肛門) の悪性腫瘍	68
7	060150	虫垂炎	51
8	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	25
9	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 (続発性を含む)	19
10	130030	非ホジキンリンパ腫	14

## 整形外科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	070343	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	116
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	95
3	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷 (胸・腰髄損傷を含む)	84
4	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	39
5	070230	膝関節症 (変形性を含む)	35
5	160760	前腕の骨折	35
7	070350	椎間板変性、ヘルニア	26
8	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	23
8	160620	肘、膝の外傷 (スポーツ障害等を含む)	23
10	160720	肩関節周辺の骨折・脱臼	22

## 脳神経外科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	010060	脳梗塞	197
2	010111	遺伝性ニューロパチー	72
3	010040	非外傷性頭蓋内血腫 (非外傷性硬膜下血腫以外)	62
3	010230	てんかん	46
5	070343	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	45
6	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	40
7	010010	脳腫瘍	32
8	010030	未破裂脳動脈瘤	31
9	070341	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む) 頸部	25
10	030400	前庭機能障害	23

## 泌尿器科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	133
2	110070	膀胱腫瘍	115
3	110310	腎臓又は尿路の感染症	23
4	11012x	上部尿路疾患	22
5	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	20
6	11001x	腎腫瘍	19
6	110200	前立腺肥大症等	19
8	110420	水腎症等	16
9	11013x	下部尿路疾患	14
9	11022x	男性生殖器疾患	14

## 眼科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	020110	白内障、水晶体の疾患	103
2	020250	結膜の障害	5
3	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	2
3	130010	急性白血病	2
5	160250	眼損傷	1
5	020340	虹彩・毛様体の障害	1
5	020280	角膜の障害	1

## 耳鼻咽喉科

順位	MDC6	MDC6名称	症例数 (件)
1	030400	前庭機能障害	102
2	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	57
3	03001x	頭頸部悪性腫瘍	34
4	030350	慢性副鼻腔炎	29
5	030428	突発性難聴	28
6	030250	睡眠時無呼吸	26
7	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	21
8	030390	顔面神経障害	17
9	130030	非ホジキンリンパ腫	16
9	030380	鼻出血	16

# Kcode 診療科別上位頻度表

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者

## 外科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	171
2	K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	81
3	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (両側)	62
4	K655-22	腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術)	35
5	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩部郭清を伴わない))	34
6	K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)	32
7	K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)	28
8	K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	27
9	K6335	鼠径ヘルニア手術	17
10	K740-21	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)	16

## 整形外科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K0461	骨折観血的手術 (肩甲骨、上腕、大腿)	64
2	K0821	人工関節置換術 (肩、股、膝)	63
2	K0593□	骨移植術 (軟骨移植術を含む、同種骨移植、非生体、その他) 他	51
4	K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (後方椎体固定)	46
5	K0462	骨折観血的手術 (前腕、下腿、手舟状骨)	41
6	K0483	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (前腕、下腿)	39
7	K0811	人工骨頭挿入術 (肩、股)	25
8	K0463	骨折観血的手術 (鎖骨、膝蓋骨、手 (舟状骨を除く)、足、指その他)	22
9	K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (椎弓形成)	17
10	K083	鋼線等による直達牽引	15

## 脳神経外科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (椎弓形成)	51
2	K1882	神経剥離術 (その他)	43
3	K164-2	慢性硬膜下血腫洗浄・除去術 (穿頭)、穿孔洗浄術	25
4	K1643	頭蓋内血腫除去術 (開頭) (脳内)	24
5	K1692	頭蓋内腫瘍摘出術 (その他)	23
5	K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング (1箇所)	23
7	K178-4	経皮的脳血栓回収術	16
8	K1421	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (前方椎体固定)	13
9	K1742	水頭症手術 (シャント手術)	12
10	K0593□	骨移植術 (軟骨移植術を含む、同種骨移植、非生体、その他) 他	11
10	K093	手根管開放手術	11

## 泌尿器科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K80364	膀胱悪性腫瘍手術 (経尿道的手術)(電解質溶液利用)	96
2	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	27
3	K773-2	腹腔鏡下腎 (尿管) 悪性腫瘍手術	15
4	K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)	13
5	K843	前立腺悪性腫瘍手術	12
6	K830	精巣摘出術	10
7	K7811	経尿道的尿路結石除去術 (レーザー)	8
8	K841-5	経尿道的前立腺核出術	7
8	K8412	経尿道的前立腺手術 (その他)	7
10	K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用)	5
10	K800-2	経尿道的電気凝固術	5

## 眼 科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K28210	水晶体再建術 (眼内レンズを挿入)(その他)	103
2	K224	翼状片手術 (弁の移植を要する)	5
3	K206	涙小管形成手術	1

## 耳鼻咽喉科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K3772	口蓋扁桃手術 (摘出)	14
2	K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型 (選択的 (複数洞)副鼻腔手術)	13
3	K340-4	内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型 (副鼻腔単洞手術)	10
4	K454	顎下腺摘出術	9
5	K4631	甲状腺悪性腫瘍手術 (切除)(頸部外側区域郭清を伴わない)	8
6	K4571	耳下腺腫瘍摘出術 (耳下腺浅葉摘出術)	7
7	K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 (片葉のみ)	6
8	K331	鼻腔粘膜焼灼術	5
9	K347-3	内視鏡下鼻中隔手術1型 (骨、軟骨手術)	4
9	K347-5	内視鏡下鼻腔手術1型 (下鼻甲介手術)	4

## 歯科口腔外科

順位	K code	手術名称	回数 (件)
1	K4044	抜歯手術 (1 歯につき) (埋伏歯)	450
2	K4043	抜歯手術 (1 歯につき) (臼歯)	194
3	K4042	抜歯手術 (1 歯につき) (前歯)	34
4	K4361	顎骨腫瘍摘出術 (長径 3 センチメートル未満)	18
5	K4362	顎骨腫瘍摘出術 (長径 3 センチメートル以上)	8
6	K437	下顎骨部分切除術	3
7	K4211	口唇腫瘍摘出術 (粘液嚢胞摘出術)	2
7	K4132	舌腫瘍摘出術 (その他のもの)	2
7	K411	頬粘膜腫瘍摘出術	2
7	K431	顎関節脱臼観血的手術	2
7	K4041	抜歯手術 (乳歯)	2
7	K4291	下顎骨折観血的手術 (片側)	2
7	K4292	下顎関節突起骨折観血的手術 (片側)	2
7	K4131	舌腫瘍摘出術 (粘液嚢胞摘出術)	2
7	K419	頬、口唇、舌小帯形成術	2

# V. 講演会等活動実績報告

## 講演活動報告

学術講演会	149
学術研究会	150





## 学術講演会

### 内科

原田 一顕

大腸癌化学療法レジメを使い切るためのコツ

Regorafenib Seminar in Hokkaido

2020.2.1

札幌市

宮城島 拓人

コロナの時代だからこそ、知ってもらいたいHIV/

AIDSのお話

日本新薬社内講演会

2020.10.1

釧路市

川岸 直樹

当院でのレンパチニブ使用経験

HCC Meet the Expert webセミナー in 道東

2020.10.9

釧路市

宮城島 拓人

コロナの時代だからこそ、知ってもらいたいHIV/

AIDSのお話

ノバルティス社内講演会

2020.10.23

釧路市

宮城島 拓人

コロナの時代だからこそ、知ってもらいたいHIV/

AIDSのお話

中外製薬社内講演会

2020.10.27

釧路市

澤田 憲太郎

当院におけるVulnerable症例に対する治療選択

Hokkaido CRC Expert meeting

～ reflect the times ～

2020.12.5

釧路市

### 脳神経外科

井須 豊彦

殿皮神経に由来する腰痛の診断と治療

Pain Live Symposium

2020.3.13

札幌市

井須 豊彦

教育研修講演－殿皮神経障害による腰痛－

日本脊椎脊髄病学会

2020.9.7

神戸市

井須 豊彦

神経外科医のつぶやき－コロナ禍でのしびれ痛み診療

で感じたこと－

医療講演会

2020.11.7

標津町

### 薬剤部

大森 健太郎

インフルエンザ ～薬のはなし～

感染対策研修会

2020.1.30

釧路市

重共 孝一

医薬品の取り扱い

～医薬品安全使用のための注意点～

新人看護師研修会

2020.4.21

釧路市

重共 孝一

病院薬剤師業務の変遷と求められる役割

北海道大学薬学部「先輩と語る」講演会

2020.6.8

札幌市

大森 健太郎

薬剤耐性（AMR）対策と内服抗菌薬適正使用

ICT・ASTセミナー

2020.7.16

釧路市

重共 孝一

薬事情勢

臨床研修総合講座

2020.10.19

釧路市

竹内 和沙  
薬物乱用防止講義  
釧路市学校薬剤師講義

2020.11.11

釧路市

小島 佑太  
せん妄の勉強会

病棟勉強会

2020.11.20

釧路市

森田 直幸  
不眠・不穏の勉強会

病棟勉強会

2020.11.27

釧路市

重共 孝一  
新型コロナウイルス感染症の治療薬について  
職員AST研修

2020.12.3-9

釧路市

小島 佑太  
薬物乱用防止講義  
釧路市学校薬剤師講義

2020.12.5

釧路市

## 看護部

中村 公子  
ストーマ周囲の皮膚への気づかい  
日本オストミー協会北海道支部  
オストメイトさろん釧路

2020.9.19

釧路市

## 学術研究会

### 内科

小田 総一郎、石川 麻倫、田中 崇倫、横山 大輔、  
横山 達也、吉田 苑永、吉河 歩、澤田 憲太郎、  
川岸 直樹、佐野 逸紀、小田 寿、宮城島 拓人  
内視鏡的粘膜切除術中に穿孔をきたした一例

第25回北海道レジデントカンファレンス

2020.9.26

札幌市

横山 慶人

症例提示（血栓症・下痢でVRdが継続困難になった  
MM症例）

Myeloma Expert Seminar on Remote

2020.9.28

釧路市

### 外科

海老沼 翔太、小笠原 和宏、村田 竜平、  
石黒 友唯、石川 隆壽、小林 清二

釧路労災病院における胃癌術後補助化学療法の現状と  
課題

令和元年度全国労災病院外科研究会

2020.1.31

川崎市

### 脳神経外科

坂本 王哉、井須 豊彦、金 景成、藤原 史明、  
東 登志夫

足根管症候群に対する新たな手術戦略－後脛骨動脈移  
行術

第10回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研究会

2020.7.3-4

福岡県

金 景成、國保 倫子、井須 豊彦、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

中殿皮神経障害と鑑別を要した仙腸関節障害の1例  
第11回日本仙腸関節研究会

2020.11.1

Web開催

藤原 史明、井須 豊彦

伏在神経障害の外科治療

第31回 脊髄疾患動画技術研究会

2020.11.14

滋賀県

## 泌尿器科

佐々木 芳浩、宮崎 将也

重症筋無力症を合併した有転移腎細胞癌の1例

第49回釧路地区泌尿器科研究会

2020.2.6

釧路市

## 歯科口腔外科

藤盛 真樹、角 伸博、北川 健、藤井 ふみ

釧路・根室三次医療圏における「NRホスピタル構想」

釧路地区3病院口腔外科研究会

2020.1.28

釧路市

藤盛 真樹、角 伸博、北川 健、藤井 ふみ

当科でインプラント埋入を検討している症例について  
インプラント研究会

2020.2.12

釧路市

角 伸博、北川 健、渡邊 泰崇、藤盛 真樹

がん支持療法としての周術期口腔機能管理

釧路労災病院 内科・外科カンファレンス

2020.5.8

釧路市

村田 亜耶佳

終末期患者にできる口腔ケア

釧路労災病院 緩和ケア勉強会

2020.9.17

釧路市

藤盛 真樹

がん患者におこる顎骨壊死

釧路労災病院 緩和ケア勉強会

2020.9.17

釧路市

## 中央リハビリテーション

八幡 恒平

緩和期のリハビリテーション 浮腫対応を中心に  
緩和ケア勉強会

2020.1.21

釧路労災病院

## 薬剤部

進藤 玲奈 荒井 宏人 工藤 優子

持参薬確認時に休薬となった周術期中止薬に対する当  
院の取り組み

第17回釧路病院薬剤師会 会員発表会

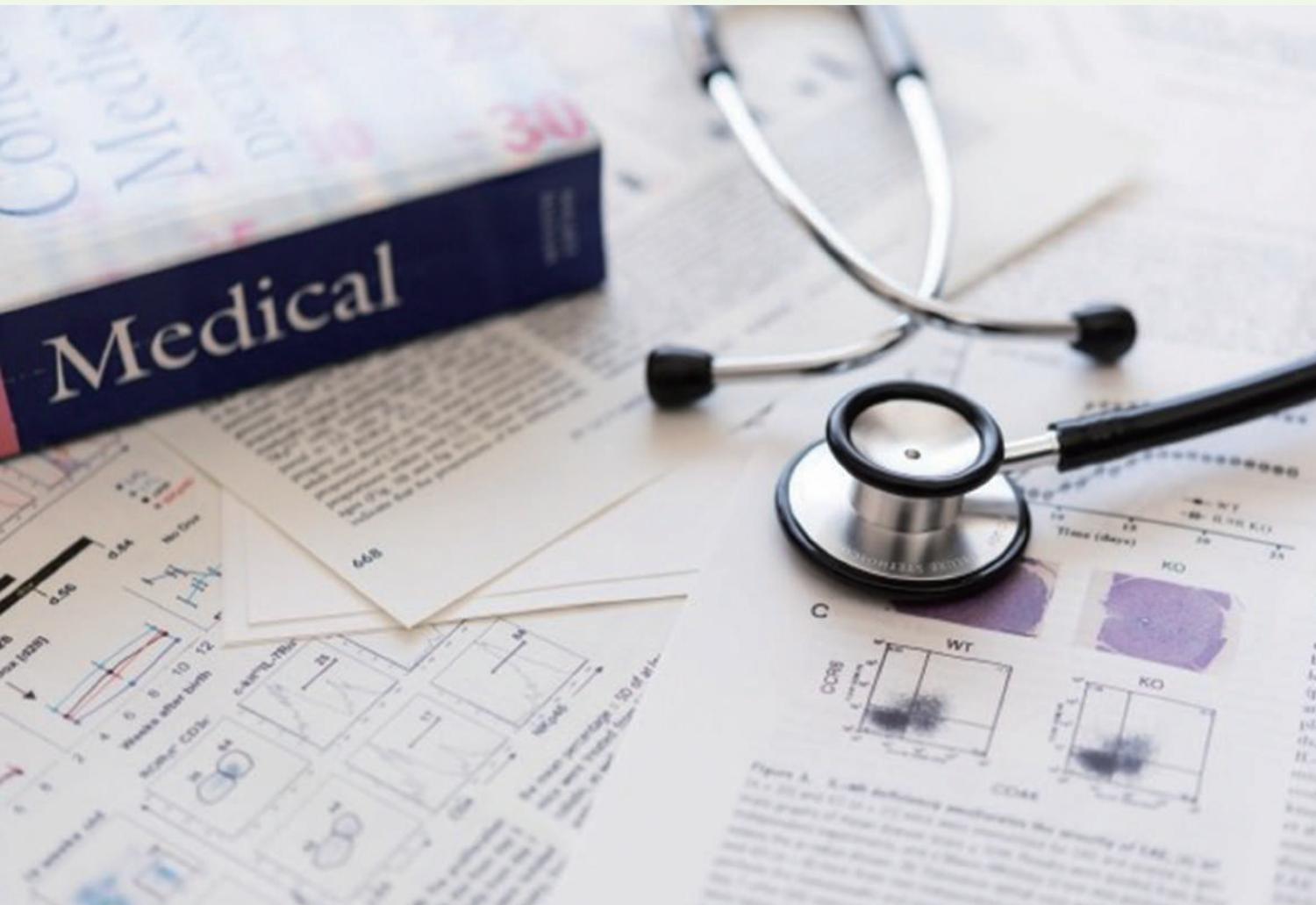
2020.2.14

釧路市



# VI. 業績目録

- (1) 原著・論文…………… 155
- (2) 学会報告…………… 157





## (1) 原著・論文

### 内 科

Kazuaki Harada, Makoto Ogasawara, Akane Shido, Akimitsu Meno, Soichiro Oda, Shota Yoshida, Sonoe Yoshida, Ayumu Yoshikawa, Ko Ebata, Satoshi Abiko, Naoki Kawagishi, Itsuki Sano, Hisashi Oda, Takuto Miyagishima.

Pericardial tamponade during pembrolizumab treatment in a patient with advanced lung adenocarcinoma: A case report and review of the literature.

Thoracic Cancer  
2020 11 1350-1353

Toshihiro Matsukawa, Katsuki Eguchi, Ichizo Nishino, Kohei Okada, Kazuo Oshimi and Takuto Miyagishima.

Light-chain amyloid myopathy isolated to skeletal muscles: A case report

Clin Case Rep.  
2020 8 2868-2872

Toshihiro Matsukawa, Keito Sudo, Minoru Kanaya, Koh Izumiyama, Koichiro Minauchi, Shota Yoshida, Hisashi Oda, Takuto Miyagishima, Akio Mori, Shuichi Ota, Daigo Hashimoto, Takanori Teshima, North Japan Hematology Study Group (NJHSG)

Validation and comparison of prognostic values of GNRI, PNI, and COUNT in newly diagnosed diffuse large B cell lymphoma.

Annals of Hematology  
2020 99 2859-2868

Kentaro Sawada, Yoshiaki Nakamura, Kohei Shitara. Development of HER2-targeted Therapies for Gastrointestinal Cancer: Review

European Oncology & Hematology  
2020 16 29-38

### 緩和ケア内科

小田 浩之、竹宮 健司

緩和ケア病棟の整備及び利用に関する変遷と現況  
日本建築学会技術報告集  
2020年 26巻64号 1078-1083

### 整形外科

横田 隼一、小野寺 智洋、亀田 敏明、林 晴久、加藤 琢磨、近藤 英司、岩崎 倫政

当科における血友病性膝関節症に対する人工膝関節置換術の臨床成績

北海道整形災害外科学会雑誌  
2020年 第61巻 101-104

Hiroki Shibayama, Yuichiro Matsui, Daisuke Kawamura, Atsushi Urita, Chikako Ishii, Tamotsu Kamishima, Mutsumi Nishida, Ai Shimizu, Norimasa Iwasaki.

Fibroma of tendon sheath of the hand in a 3-year-old boy: a case report

BMC Musculoskelet Disord.  
2020 21 732

深田 翔太郎、笹沢 史生、大浦 久典、大羽 文博、金山 雅弘、高橋 大介、岩崎 倫政

KT プレートによる人工股関節寛骨臼側再置換術後の早期成績不良因子の検討

日本人工関節学会誌  
2020年 第50巻 62-63

### 脳神経外科

Kim K, Nariai M, Kawauchi M, Morimoto D, Iwamoto N, Isu T, Morita A.

Is the Vertebral Posterior Line a Safety Landmark for Cervical Posterior Screw Insertion?

- Radiological Study of the Vertebral Artery in the Cervical Spine.

Neurol Med Chir  
2020 60 (4) 223-228

Kokubo R, Kim K, Isu T, Morimoto D, Iwamoto N, Morita A.

Quality of life effects of pain from para-lumbar spine disease and lower limb peripheral nerve entrapment neuropathy and carpal tunnel syndrome.

Acta Neurochir  
2020 162 (6) 1431-1437

Sakamoto K, Isu T, Kim K, Fujihara F, Matsumoto J, Miki K, Ito M, Isobe M.

Treatment of Coexisting Paralumbar Spine Diseases in Patients with Lumbar Disc Herniation.

Neurol Med Chir  
2020 60 (7) 368-372

Kim K, Isu T, Kokubo R, Iwamoto N, Morimoto D,  
Kawauchi M, Morita A.  
Therapeutic effect of mirogabalin on peripheral  
neuropathic pain due to lumbar spine disease.  
Asian Spine Journal  
2020 Sep 3 doi: 10.31616/asj.2020.0136

Fujihara F, Kim K, Kokubo R, Isu T, Miki K,  
Morimoto D, Iwamoto N, Inoue T, Morita A.  
High frequency thermal coagulation to treat middle  
cluneal nerve entrapment neuropathy.  
Acta Neurochir  
in press

Fujihara F, Isu T, Kim K, Sakamoto K, Matsumoto J,  
Miki K, Ito M, Isobe M, Inoue T.  
Artery transposition using Indocyanine Green for  
tarsal tunnel decompression: Technical note.  
World Neurosurgery  
2020 12 (6) 142-148

Fujihara F, Isu T, Kim K, Sakamoto K, Matsumoto J,  
Miki K, Ito M, Isobe M, Inoue T.  
Clinical features of middle cluneal nerve entrapment  
neuropathy.  
Acta Neurochir  
in press

Kim K, Isu T, Kokubo R, Morimoto D, Iwamoto N,  
Morita A.  
Less Invasive Combined Micro- and Endoscopic  
Neurolysis of Superficial Peroneal Nerve  
Entrapment - Technical note -  
Neurol Med Chir  
in press

金 景成、井須 豊彦  
上殿皮神経障害  
整形外科Surgical Technique  
2020 10 (3) 117-121

坂本 王哉、井須 豊彦、金 景成、藤原 史明、  
松本 順太郎、三木 浩一、伊東 雅基、磯部 正則  
Failed Back Surgery Syndromeへ関与する腰椎周辺

疾患治療  
脳神経外科速報  
2020 30 (7) 772-777

由井 奏子、森本 大二郎、金 景成、岩本 直高、  
井須 豊彦、森田 明夫  
肘部管症候群に合併したギオン管症候群の1例  
脳神経外科  
2020 Sep 48 (9) 849-854

藤原 史明、金 景成  
(特集プランナー) 脳神経外科専門医への道 末梢神  
経-手根管症候群  
脳神経外科速報  
2020 30 (5) 521-526

藤原 史明、金 景成  
(特集プランナー) 脳神経外科専門医への道 末梢神  
経-肘部管症候群  
脳神経外科速報  
2020 30 (5) 527-531

金 景成、井須 豊彦  
圧迫性脊髄障害；頸髄、腰部脊柱管狭窄症に対する低  
侵襲手術の現状と可能性  
ペインクリニック  
2020 41 S298-306

金 景成、井須 豊彦  
長引く腰痛はこうして治せ！ 上臀皮・中臀皮神経障害の治療  
医事新報社  
2020 193-199

井須 豊彦  
番茶の味 6回連載 (①新型コロナウイルス ②脳神  
経外科とは ③コロナ禍でのマスク  
④外科医を継続するこつ ⑤ステイホーム ⑥外科医  
の本音 ⑦時代遅れでは駄目なんですか  
釧路新聞  
2020.11

## 薬剤部

重共 孝一  
地域の病院薬剤師を考える  
薬事新報  
2020年 No.3176 P5-6

## (2) 学会報告

### 内科

江端 浩、吉田 匠汰、市原 真、押味 和夫、  
宮城島 拓人

再生不良性貧血に対して同種造血幹細胞移植後に認め  
た移植後リンパ増殖性疾患

第42回日本造血幹細胞移植学会

2020.3.5-7

東京都

吉田 匠汰、江端 浩、押味 和夫、宮城島 拓人  
自家末梢血幹細胞移植を施行した再発難治メトトレキ  
セート関連リンパ増殖性疾患

第42回日本造血幹細胞移植学会

2020.3.5-7

東京都

佐野 逸紀、目野 晃光、志藤 茜、小田 総一郎、  
吉田 苑永、川岸 直樹、吉河 歩、安孫子 怜史、  
原田 一顕、小田 寿、宮城島 拓人

当院における内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージの現状  
(シンポジウム)

第126回日本消化器病学会地方会

2020.3.7-8

札幌市

安孫子 怜史、佐野 逸紀、川岸 直樹、原田 一顕、  
小田 寿、宮城島 拓人

PCMのpocket開放時不安定性に対してのpaper  
cutting techniqueの有用性 -大腸ESD経験

100例未満の術者にハサミ型ナイフは有用か (シンポ  
ジウム)

第120回日本消化内視鏡学会地方会

2020.3.7-8

札幌市

川岸 直樹、須田 剛生、坂本 直哉

C型肝炎SVR後におけるTransient elastography によ  
る肝硬度変化と血清Angiopoietin-2の関連の検討 (ワ  
ークショップ)

第56回日本肝臓学会総会

2020.8.28

大阪府

石川 麻倫、小野 尚子、坂本 直哉

自己免疫性胃炎に合併した悪性腫瘍の臨床病理学的特

徴 (コアセッション)

第99回日本消化器内視鏡学会総会

2020.9.2

京都府

横山 達也、川岸 直樹、田中 崇倫、横山 大輔、  
小田 総一郎、吉田 苑永、吉河 歩、石川 麻倫、  
澤田 憲太郎、佐野 逸紀、小田 寿、宮城島 拓人、  
石川 隆尋、谷野 美智枝

診断に苦慮した肝外発育型中間型肝炎の一例

第127回日本消化器病学会地方会

2020.9.5-6

札幌市

田中 崇倫、澤田 憲太郎、岡田 宏美、横山 達也、  
横山 大輔、小田 総一郎、吉田 苑永、吉河 歩、  
石川 麻倫、川岸 直樹、佐野 逸紀、小田 寿、  
宮城島 拓人

直腸T1 (SM/Head Invasion) 癌の内視鏡的粘膜切除  
後の肝転移再発を来した一例

第127回日本消化器病学会地方会

2020.9.5-6

札幌市

横山 大輔、佐野 逸紀、田中 崇倫、横山 達也、  
小田 総一郎、吉田 苑永、吉河 歩、石川 麻倫、  
澤田 憲太郎、川岸 直樹、小田 寿、宮城島 拓人  
EUS-FNAによる再評価で診断が得られた胆嚢NECの  
一例

第127回日本消化器病学会地方会

2020.9.5-6

札幌市

安孫子 怜史、川岸 直樹、佐野 逸紀、小田 寿、  
宮城島 拓人

胃ESD後出血予防のためのmodified SCC法±PGAシ  
ート・ファイブリン糊併用法の実現可能性試験 - 後出血  
予防困難症例への挑戦 - シンポジウム

第121回日本消化器内視鏡学会地方会

2020.9.5-6

札幌市

川岸 直樹、須田 剛生、坂本 直哉

C型肝炎DAA s 治療後肝線維化変化・肝発癌と血清  
Angiopoietin-2値との関連の検討

JDDW2020

2020.11.5

神戸市

安孫子 怜史、川岸 直樹、佐野 逸紀、小田 寿、  
宮城島 拓人

接着剤を用いないdouble-loop clipsテクニックを用いた大腸ESD後潰瘍に対しての新しい縫縮法の実現可能性試験（ポスター優秀演題賞、若手奨励賞）

JDDW2020

2020.11.8

神戸市

野島 慎吾、佐野 逸紀、宮城島 拓人、小田 寿、  
重松 明男、川岸 直樹、澤田 憲太郎、石川 麻倫  
診断に苦慮した薬剤性過敏症候群（DIHS）の一例

第290回日本内科学会北海道地方会

2020.11.28

札幌市

迫田 賢人、横山 慶人、石川 麻倫、澤田 憲太郎、  
川岸 直樹、佐野 逸紀、重松 明男、小田 寿、  
宮城島 拓人

好酸球増多に伴う心窩部痛、心電図異常により好酸球性心筋炎と診断し、ステロイド投与が著効した一例

第290回日本内科学会北海道地方会

2020.11.28

札幌市

加藤 茜、佐野 逸紀、小田 総一郎、吉田 苑永、  
吉河 歩、安孫子 怜史、原田 一顕、川岸 直樹、  
小田 寿、宮城島 拓人

原発不明神経内分泌癌の一例

第290回日本内科学会北海道地方会

2020.11.28

札幌市

吉田 匠汰、江端 浩、横山 慶人、重松 明男、  
押味 和夫、宮城島 拓人、市原 真、武井 英博、  
大島 孝一

MTXの中止にて消退したMTX関連composite lymphoma

第290回日本内科学会北海道地方会

2020.11.28

札幌市

Kentaro Sawada, Riu Yamashita, Satoshi Horasawa,  
Shigenori Kadowaki, Ken Kato,

Makoto Ueno, Eiji Oki, Naoki Takahashi,

Taro Sato, Taito Esaki, Daisuke Aoki,

Kazuhiro Yoshid, Yoshiaki Nakamura,

Hiroya Taniguchi, Takayuki Yoshino

The gastrointestinal microbiota and clinical characteristics in patients with advanced solid tumor - SCRUM- Japan MONSTAR-SCREEN - (ポスター)

第43回日本分子生物学会年会

2020.12.4

東京都

## 神経内科

岩見 昂亮、野村 太一、江口 克紀、岡田 宏美、  
伊藤 雅基、津坂 和文

当科におけるリウマチ性髄膜炎2例の治療経験

第106回日本神経学会北海道地方会

2020.9.5

札幌市

野村 太一、岩見 昂亮、津坂 和文

眼筋腫大を伴う複視と眼瞼下垂で発症した抗ミトコンドリアM2抗体陽性筋炎の1例

第106回日本神経学会北海道地方会

2020.9.5

札幌市

## 緩和ケア内科

小田 浩之、小笠原 和宏

釧路・根室二次医療圏をモデルとした緩和ケア病棟の成立性の検討に関する考察

第25回日本緩和医療学会

2020.8.9-10

Web

## 外科

石黒 友唯、崎浜 秀康、吉田 雅、市川 伸樹、

本間 重紀、川村 秀樹、武富 紹信

胃癌患者における循環腫瘍細胞（CTC）の臨床的意義～特に上皮間葉転換と周術期動態に注目して～

第120回日本外科学会定期学術集会

2020.8.13

横浜市

山本 葉一、石黒 友唯、海老沼 翔太、村田 竜平、

石川 隆壽、小林 清二、小笠原 和宏、高橋 弘昌  
 保存的治療が可能であった大腸癌術後27日目の巨大腹腔内血腫（10cm）の1例  
 第120回日本外科学会定期学術集会  
 2020.8.14  
 横浜市

小笠原 和宏、小林 清二、石川 隆壽、石黒 友唯、  
 村田 竜平、海老沼 翔太、高橋 弘昌  
 最近20年間における乳腺葉状腫瘍35例の検討  
 第120回日本外科学会定期学術集会  
 2020.8.15  
 横浜市

石川 隆壽、小笠原 和宏、佐野 逸紀、  
 宮城島 拓人、武富 紹信  
 食道アカラシアに胃癌を合併した1例  
 第127回日本消化器病学会北海道支部例会  
 2020.9.5  
 札幌市

浜田 卓巳、小笠原 和宏、岡田 尚樹、石黒 友唯、  
 石川 隆壽、中川 隆公、小林 清二、高橋 弘昌  
 肺転移を切除したことにより悪性筋上皮腫と診断されたトリプルネガティブ乳癌の1例  
 第18回日本乳癌学会北海道地方会  
 2020.9.10  
 誌上開催

小笠原 和宏、小林 清二、石黒 友唯、高橋 弘昌  
 術前診断が困難であった乳腺Solid papillary carcinoma (SPC) の2例  
 第28回日本乳癌学会学術総会  
 2020.10.9  
 web開催

海老沼 翔太、小笠原 和宏、村田 竜平、  
 石黒 友唯、石川 隆壽、小林 清二、高橋 弘昌  
 高度肥満・病的骨折・皮膚潰瘍による感染を伴い診療に苦慮した乳癌の1例  
 第82回日本臨床外科学会総会  
 2020.10.28  
 web開催

## 整形外科

倉茂 秀星、瓜田 淳、太田 光俊、遠藤 健、  
 松井 雄一郎、河村 太介、岩崎 倫政  
 リバース型人工肩関節全置換術における血液動態についての検討

第138回北海道整形災害外科学会  
 2020.2.2  
 札幌市

石井 智佳子、岩田 玲、山田 勝久、遠藤 努、  
 辻本 武尊、須藤 秀毅、高畑 雅彦、岩崎 倫政  
 上咽頭癌第10胸椎棘突起孤発転移に対し根治的胸椎後方要素広範切除術を行った1例  
 第69回東日本整形災害外科学会  
 2020.9.18  
 WEB開催

倉茂 秀星、瓜田 淳、太田 光俊、遠藤 健、  
 松井 雄一郎、河村 太介、岩崎 倫政  
 リバース型人工肩関節全置換術における血液動態についての検討  
 第47回日本肩関節学会  
 2020.10.9  
 札幌市

## 脳神経外科

金 景成、國保 倫子、井須 豊彦、森本 大二郎、  
 岩本 直高、森田 明夫  
 内視鏡を併用した浅腓骨神経の低侵襲神経剥離術  
 第10回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研究会  
 2020.7.3-4  
 福岡県

金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、國保 倫子、  
 岩本 直高、森田 明夫  
 脳神経外科医からみた絞扼性末梢神経疾患  
 第40回日本脳神経外科コンgres総会 プレナリーセッション  
 2020.8.9-12  
 金沢市

森本 大二郎、金 景成、井須 豊彦、森田 明夫  
 末梢神経障害手術を安全に行うための工夫  
 第40回日本脳神経外科コンgres総会 モーニングセミナー  
 2020.8.9-12

金沢市

藤原 史明、井須 豊彦、金 景成、松本 順太郎、  
三木 浩一、坂本 王哉、伊東 雅基、磯部 正則、  
井上 亨

当院における腰痛を呈する腰椎周辺疾患の臨床と治療  
成績

第49回日本脊椎脊髄病学会学術集会

2020.9.7

神戸市

金 景成、清水 潤、井須 豊彦、井上 聖啓、  
千葉 泰弘、岩本 直高、森本 大二郎、森田 明夫  
上殿皮神経障害による腰痛の臨床病理学的検討

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

絞扼性総腓骨神経障害への動態因子の関与

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

青木 大征、國保 倫子、金 景成、森本 大二郎、  
岩本 直高、井須 豊彦、森田 明夫

解剖学的走行異常を有した外側大腿皮神経障害の1例

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、岩本 直高、  
森本 大二郎、三木 浩一、森田 明夫

中殿皮神経障害に対する高周波熱凝固療法

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

腰殿部と下肢の絞扼性末梢神経障害が患者QOLへ及  
ぼす影響

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

絞扼性腓骨神経障害への動態因子の関与

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

團 裕之、金 景成、國保 倫子、森本 大二郎、  
岩本 直高、井須 豊彦、森田 明夫

内視鏡併用により低侵襲に神経剥離を行えた絞扼性浅  
腓骨神経障害の1例

第31回日本末梢神経学会

2020.9.11-10.12

Web開催

金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、岩本 直高、  
國保 倫子、森田 明夫

手術創部感染と対策 - 脊椎脊髄外科領域の現状と最  
近の話題 -

第29回脳神経外科手術と機器学会

2020.9.29-30

横浜市

藤原 史明、井須 豊彦、金 景成、松本 順太郎、  
三木 浩一、坂本 王哉、山内 朋裕、伊東 雅基、  
磯部 正則、井上 亨

80才以上の高齢者腰痛の現状および当科での治療方針

第79回日本脳神経外科学会学術総会

2020.10.15-17

岡山県

金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、森本 大二郎、  
岩本 直高、藤原 史明、森田 明夫

難治性腰椎疾患治療における近い未来への提案 - 脳  
神経外科医がすべきこと -

第79回日本脳神経外科学会学術総会

2020.10.15-17

岡山県

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

腰殿部と下肢の絞扼性末梢神経障害が患者QOLへ及  
ぼす影響

第79回日本脳神経外科学会学術総会

2020.10.15-17

岡山県

尾関 友博、金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、  
岩本 直高、森本 大二郎、森田 明夫  
腰椎疾患に伴う下肢症状へのmirogabalinの治療効果  
第79回日本脳神経外科学会学術総会  
2020.10.15-17

岡山県

佐々木 和馬、金 景成、國保 倫子、井須 豊彦、  
岩本 直高、森本 大二郎、藤原 史明、森田 明夫  
高周波熱凝固療法による中殿皮神経障害への治療効果  
に関する検討  
第79回日本脳神経外科学会学術総会  
2020.10.15-17

岡山県

金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、岩本 直高、  
國保 倫子、藤原 史明、森田 明夫  
末梢神経疾患手術のはじめの一步  
第79回日本脳神経外科学会学術総会  
2020.10.15-17

岡山県

金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、岩本 直高、  
森本 大二郎、森田 明夫  
腰椎疾患による下肢症状に対するmirogabalinの治療  
効果  
第35回日本脊髄外科学会  
2020.11.12-13

Web開催

金 景成、井須 豊彦、國保 倫子、岩本 直高、  
森本 大二郎、森田 明夫  
外来診療と学生教育へのシフトチェンジ  
第35回日本脊髄外科学会  
2020.11.12-13

Web開催

岩本 直高、森本 大二郎、金 景成、國保 倫子、  
井須 豊彦、森田 明夫  
末梢神経腫瘍における術前拡散テンソル画像を用いた  
手術戦略の工夫  
第35回日本脊髄外科学会  
2020.11.12-13

Web開催

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、戸田 諭補、  
藤原 史明、森本 大二郎、岩本 直高、森田 明夫

足根管症候群とアミロイド沈着に関する検討  
第35回日本脊髄外科学会

2020.11.12-13

Web開催

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、森本 大二郎、  
岩本 直高、森田 明夫

腰椎術後の腰痛に対する腰椎周辺疾患の外科治療が  
QOLに及ぼす影響

第35回日本脊髄外科学会

2020.11.12-13

Web開催

坂本 王哉、井須 豊彦、金 景成、藤原 史明、  
松本 順太郎、三木 浩一、伊東 雅基、磯部 正則、  
東 登志夫

Failed Back Surgery Syndromeへ関与する腰椎周辺  
疾患治療

第35回日本脊髄外科学会

2020.11.12-13

Web開催

藤原 史明、井須 豊彦、金 景成、坂本 王哉、  
三木 浩一、松本 順太郎、伊東 雅基、磯部 正則、  
井上 亨

特発性足根管症候群に対する後脛骨動脈移行術の有効  
性に関する検討

第35回日本脊髄外科学会

2020.11.12-13

Web開催

藤原 史明、井須 豊彦、金 景成、松本 順太郎、  
三木 浩一、坂本 王哉、伊東 雅基、磯部 正則、  
井上 亨

当院における腰痛を呈する腰椎周辺疾患の臨床と治療  
成績

第35回日本脊髄外科学会

2020.11.12-13

Web開催

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、松元 秀次、  
森本 大二郎、岩本 直高、森田 明夫

特発性腓腹神経障害の1例

日本臨床神経生理学会学術集会第50会記念大会

2020.11.26-28

京都府

國保 倫子、金 景成、井須 豊彦、松元 秀次、  
森本 大二郎、岩本 直高、森田 明夫  
当院における絞扼性総腓骨神経障害の診断と治療  
日本臨床神経生理学会学術集会第50会記念大会  
2020.11.26-28  
京都府

## 泌尿器科

前田 啓介、大石 悠一郎、佐々木 芳浩  
Ipilimumab/Nivolumab併用療法後に発症した重症筋  
無力症の1例  
第410回日本泌尿器科学会北海道地方会  
2020.9.12  
札幌市

大石 悠一郎、前田 啓介、佐々木 芳浩、  
杉下 圭治、竹内 一郎  
経尿道的前立腺核出術（TUEB）における12時方向温  
存強化による術後尿禁制改善に関する検討  
第410回日本泌尿器科学会北海道地方会  
2020.9.12  
札幌市

前田 啓介、大石 悠一郎、佐々木 芳浩  
Ipilimumab/Nivolumab併用療法後に発症した重症筋  
無力症の1例  
第85回日本泌尿器科学会東部総会  
2020.9.25-10.16  
Web開催

## 耳鼻咽喉科

市川 晴之、石井 秀幸、北南 和彦、原渕 保明  
口内法により摘出が可能であった口腔底類皮嚢胞の2  
例  
第222回日本耳鼻咽喉科学会北海道地方部会  
2020.10.18  
旭川市

市川 晴之、石井 秀幸、北南 和彦、原渕 保明  
口内法により摘出が可能であった口腔底類皮嚢胞の2  
例  
第223回日本耳鼻咽喉科学会北海道地方部会  
2020.12.24  
京都府

## 歯科口腔外科

藤盛 真樹、角 伸博、北川 健、藤井 ふみ  
釧路・根室三次医療圏における「NRホスピタル構想」  
と歯科口腔外科間の病院間連携  
第28回釧路歯科医師会学術大会  
2020.2.1  
釧路市

藤盛 真樹  
シンポジウム「骨吸収薬関連顎骨壊死」  
ARONJの発生頻度と予防策  
第65回日本口腔外科学会総会・学術大会  
2020.11.14  
名古屋市

## 看護部

小野 紫穂、村山 由佳子、石黒 友唯、  
小笠原 和宏  
がん患者のアピアランスケアに対する相談窓口の実態  
調査  
がん治療学会学術集会  
2020.10.22-24  
京都府

## 編集後記

2021年11月吉日

平素より当院の事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「やちぼうず2020年年報」第25号が完成いたしました。編集に際してご多忙の中、関係各所のご協力のもと発行することが出来ましたことに、感謝申し上げます。

いまだ収まる気配のない新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大。ワクチン接種も進みつつあるようですが、緊急事態宣言の延長、新たな変異株の存在など、かつてのような平穏な日常を取り戻せるのは、まだ先になりそうな気配です。

マスクや手洗い、人混みはできるだけ避ける等、私たちにできる事を今まで通りもう少し頑張るしかありません。本当に心から安心して生活できる日が早くきて欲しいものです。

病院誌「やちぼうず」は当院の1年間の診療実績を中心に、各診療科、各部、各委員会の活動状況に経営統計を掲載しております。

当院の活動のすべてが凝縮されておりますので、ご一読いただき理解を深めるツールとしてご活用していただければ幸いです。

この業績集が業務の振り返り、課題を確認し、次年度の目標指標として用いることと、外部評価の資料としても重要な位置付けとされております。発行の意義は大きく、継続して発刊していくことが大切でありますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

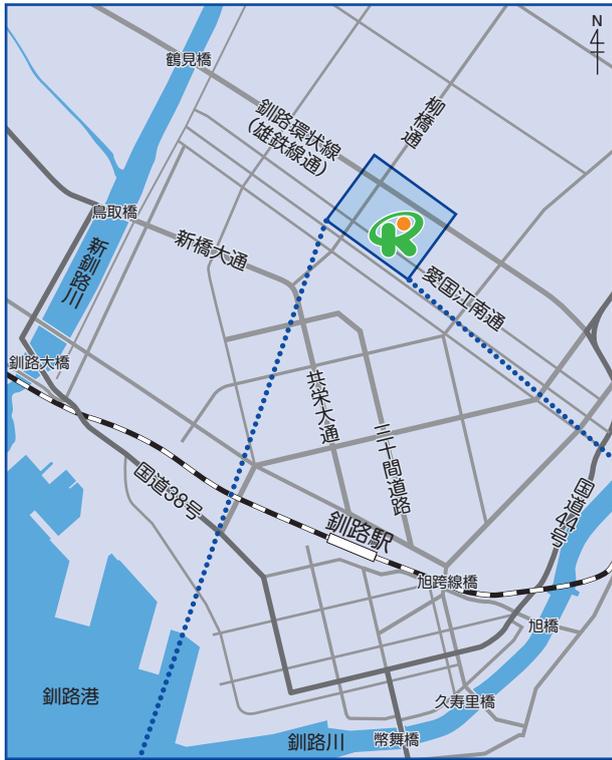
当院は今後も地域に根差した病院を目指し、良質な医療を提供していけるよう、職員一丸で努力を重ねて参ります。

病院誌「やちぼうず」編集委員会  
委員長 磯部 正 則

### 病院誌「やちぼうず」編集委員

磯部 正 則	西 井 淳
澤田 憲太郎	沢田 堯 史
佐々木 育 緒	日高 佳 与
及川 修 一	佐藤 大
水口 瑞 稀	





独立行政法人 労働者健康安全機構  
**釧路労災病院**

〒085-8533  
 北海道釧路市中園町13番23号  
 電話 (0154)22-7191(代表)  
 F A X (0154)25-7308  
<https://www.kushiroh.johas.go.jp>

交通アクセス

- JRで来院される場合  
 釧路駅より車で15分
- バスで来院される場合
  - くしろバス  
 南北線、労災病院正面玄関横下車
  - 阿寒バス  
 新橋大通大曲バス停にて下車  
 (徒歩10分)
- 飛行機で来院される場合  
 たんちょう釧路空港から  
 連絡バスにて30分  
 新橋大通大曲バス停下車  
 (徒歩10分)



最新の知識と技術に基づき、  
良質で信頼される医療を実践します。

